

は尚孫春枝(大、二、三、長男友一長女)同幸枝(昭二、八、生、同二女)同甲子郎(大、一、三、四、生、二男二女)同外夫(同、一、二、生、同二男)同三郎(昭二、一、〇、生、同三男)あり長女三枝(昭三、一、一、二、生、東京女子英學塾出身)は宮城縣人前川道治郎に嫁し二女玉枝(昭三、五、二、生、同志社女學校英文科出身)三女文枝(昭三、八、七、生、京都第一高女出身)は何れも他に嫁せり(京都府乙訓郡西向日町電二三)

參照 津吉澤尚の項

森 太三郎 山中商會取締役
兵庫縣在籍
妻 ともめ 明二五、一、二、生、石川、友田安清
男 太郎 大、三、六、生、甲南高女出身
君は大阪府人森太七の二男にして明治十年八月を以て生れ大正二年兄芳太郎方より分れて一家を創立す現時山中商會取締役たり家族は尙長女壽菜子(大、一、〇、一、生)二男茂(同、一、三、四、生)ありA六〇〇(兵庫縣武庫郡神戶村蘆屋西ノ口七一電蘆屋三〇七三)

森 太兵衛 金銀業
安政元、一、一、生、愛知、日比野徳
妻 ちよみ 明一、一、五、生、愛知、矢代嘉助三
男 逸太郎 明二八、八、生
女 はしを 明三三、一、一、生、長男逸太郎妻、愛知、長谷川辰次郎長女
男 誠二 明三五、一、〇、生
女 富子 明三八、一、一、生
男 專造 大元、七、生
君は愛知縣人森平左衛門の長男にして明治九年十一月を以て生れ同二十一年家督を相続す金銀業を營む家族は尙孫二(昭二、一、一、生、長男逸太郎二男)あり二女てる子(明四一、二、生)は愛知縣人河野重助長男重平に嫁し五男秀男(同四二、四、生)は同縣人矢代吉次郎に六男金吾(同四四、六、生)は同縣人瀧しやうに八男純治(大、四、五、生)は同縣人水谷繁太郎に各養子となれりA一五〇二B一一一(名古屋西區押切町三八八電西九三一一)

森 泰治 從五位勳五等、官内技師、内匠寮
勤務、東京府士族
妻 みわ 昭三五、一、一、生、靜岡、江藤林太
男 暢夫 昭三三、三、生
君は東京府士族森茂太郎の二男にして明治二十八年三月二十五日を以て生れ昭和七年家督を相続し大正九年東京帝國大學工科大学建築學科を卒業し臨時電信電話建設局技師及電信技師等に歴任次で同十五年官内技師に任ぜられ内匠寮勤務工務課建築係長を以て今日に至る家族は尙長女淳子(大、一、三、六、生)あり(東京市杉並區上荻窪四八八電荻窪三六七五)

森 竹之助 資産家
東京府在籍
妻 まさ 明二八、六、生、東京、木下邦昌三
男 隆 大五、一、〇、生
君は東京府人先代權次郎の長男にして明治十七年二月二十日を以て生れ同四十年家督を相続す資産家たり家族は尙長女節子(大、九、五、生)二女愛子(同、一、一、五、生)あり姉ウメ(明一四、四、生)は分家せりA五二七(兵庫縣武庫郡住吉村小阪山一五二三電御影三一九一)

森 忠雄 三井銀行藤原支店長
三重縣在籍
妻 みつ 明二三、一、一、生、東京、土、市原宏
男 忠一郎 大、四、一、二、生、慶應商工學校出身
君は三重縣人森忠の長男にして明治十九年五月を以て生れ大正十年家督を相続す明治四十二年慶應義塾理財科を卒業し夙に三井銀行に入り横濱下關等の支店に勤務其の間米國に出張を命ぜらる後經理課長に進み現に横濱支店長たり長女愛(大元、九、生)は福井縣人加賀山信三に嫁せりA一五三二(東京市四谷區内藤町一電四谷四三七九)

森 龍雄 資産家
東京府在籍
君は東京府人先代賢吾の長男にして明治三十六年十月四日を以て生れ昭和九年家督を相続す資産家たり亡父賢吾は佐賀縣士族森義勝の弟にして明治八年九月を以て生れ同三十年分家し同三十三年東京帝國大學法科大

森 長太郎 東京市蒲田區會議員、運送業
東京府在籍
妻 カメ 明一八、四、生、福岡、永島茂三郎
男 養子 春吉 明四三、二、生、東京、田中平次郎
君は東京府人森作次郎の三男にして明治十八年一月二十九日を以て生れ同四十年家督を相続す運送業を營み蒲田區會議員たりA五五一(東京市蒲田區矢口町三七四電蒲田二四〇)

森 俊成 正四位、子爵、東京市會議長
舊播州三日月藩
妻 鑑子 明二七、九、生、養父長祥二女
女 嘉代子 大、四、一、一、生、女子學醫院出身
當家は作州津山藩主侍從森長繼の男對馬守長俊の後なり長俊宗家より一萬五千石を分與せられ別一家を起し播州三日月の城主となる夫より八世を経て先代長祥に至り明治十七年子爵を授けらる君其後長く君實は子爵關長博の兄伯爵萬里小路通房男爵河邊博長の甥子爵藤堂高寛の從兄にして明治二十年一月四日を以て生れ同三十三年先代長祥の養子となり家督を相続し親爵仰付けられ同四十年舊名爵郎を改む大正四年京都帝國大學法科大學を卒業す昭和七年以來東京市會議員に當

森 民三郎 宮城縣多額納稅者、森民、酒造業
宮城縣在籍
妻 ちよめ 明七、二、生、宮城、佐々木美登理
男 清三郎 明二五、一、一、生
女 ことじ 明三〇、四、生、長男清三郎妻、宮城、野田コイト二女
養子 信吾 明三一、一、一、生、三女みき上夫、宮城、入野田武三郎五男
女 みきよ 明三六、三、生、養子信吾妻
女 たま子 明四一、一、〇、生
孫 たま子 大五、三、生、長男清三郎長女
君は宮城縣人森民藏の二男にして明治四年九月を以て生れ同二十四年兄民五郎方より分れて一家を創立す森民と稱し酒造業を營み直接國稅五千三百五十七圓を納め縣下の多額納稅者たり家族は尙孫一郎(大、六、一、二、生、長男清三郎長男)同修(同、一、一、二、生、同二男)同きよ子(同、一、四、六、生、同二女)同ゆき(同、九、九、生、養子信吾長女)同敬子(同、一、三、八、生、同二女)同康昭(同、一、一、生、同長男)同尚子(同、四、七、生、同三女)同陽(同、四、二、生、亡養子庄之助長女)あり(仙臺市同心町電三四一一)

森 爲三 正五位勳四等、京城帝國大學豫科
教授、兵庫縣在籍
妻 をしげ 明一九、一、二、生、山梨、上小澤松
男 靖國 明四〇、二、生
君は兵庫縣人森久之助の四男にして明治十七年六月一日を以て生れ大正六年分れて一家を創立す明治三十七年東京帝國大學理科大學内第一臨時教員養成所博物科

森 留藏 金物商
東京府在籍
妻 ハン 明一三、六、生、東京、森彦太郎長
男 貞三 明三四、一、一、生
女 富貴子 明四一、一、一、生、東京、江川かね私
君は新潟縣人井上芝平の三男にして明治十年十月七日を以て生れ同三十四年先代三男の入夫となり家督を相続す金物商を營む家族は尙三女文子(大、一、〇、九、生)四男弘三(同、一、三、二、生)孫宏子(昭四、七、生)長男貞三(長女)同啓一(同、六、一、一、生、同長男)同知子(同、七、九、生、同二女)あり長女テル(明三六、九、生)は岡山縣人藤木光雄に嫁せりA四一〇B七四(東京市本所區東兩國三ノ四ノ三電本所四一一三)

森 直卿 天親齋常務取締役、東洋紅門病
院長、神田橋病院主、醫師
東京府士族
妻 フミ 明一九、一、〇、生、福岡、土、長瀬
男 直文 明四二、三、生
男 林吉 大、二、二、生
君は福岡縣人森清太郎の長男にして明治六年二月を以て生れ同二十六年家督を相続す醫を業とし東洋紅門病院長として知られ傍ら神田橋病院を経営し前記會社の重役たり家族は尙四男龍兒(大、五、一、〇、生)五男三三(大、一、四、一、一、生)二女不三子(大、三、八、生)三女多佳子(大、一、〇、九、生)甥秀喜(大、七、四、生、弟喜次郎四男)ありA四七五(東京市神田區美土代町二ノ一電神田三六)

森 忠藏 從四位勳四等、東京帝國大學工學
部講師、臺灣總督府專使、東京電
信總局、東京府士族
妻 せん 明一九、一、一、生、宮城、中島鏡治
女 滋 大、二、二、生
男 淳 大、三、一、二、生
君は東京府士族森義植の長男にして明治十六年五月を以て生れ同三十六年家督を相続す同四十年東京帝國大學工科大学土木工學科を卒業し工科大学助教授に任ぜられしが幾許もなく選信省に入り水力電氣工事及水力調査事業に従事す其間水力電氣事業研究のため北米合衆國美領加奈陀瑞典西諸國に留學す歸朝後選信通信技術臨時發電力調査局技師兼選信局技師等に歴任せしも後之を辭し現時前記の職に在りA一三三(東京市本郷區上富士前町八三電大塚七四)

森 電三 從四位勳三等、海軍少將
東京府在籍
妻 玉枝 明二一、四、生、東京、山内一太郎
男 光雄 明三九、九、生、上智大學文學部哲
學科出身
女 良雄 明四二、六、生、東京醫學部在學
女 ひさ 大、八、五、生
君は東京府人森平左衛門の二男にして明治十四年三月十日を以て生れ同四十一年兄源三方より分れて一家を創立す義に海軍少將の榮職に在り家族は三女治子(大、一、二、三、生)あり長女富貴子(明四一、四、生)は東京府人山内英太郎長男大工科助教授恭彦に嫁し三男清府(同四四、五、生)は東京府人黒野義文に四男明(大、四、九、生)は外祖父山内一太郎の各養子となれりA三五一(東京市目黒區下目黒二ノ二〇四電高輪一九四八)

森 忠藏 從四位勳四等、東京帝國大學工學
部講師、臺灣總督府專使、東京電
信總局、東京府士族
妻 せん 明一九、一、一、生、宮城、中島鏡治
女 滋 大、二、二、生
男 淳 大、三、一、二、生
君は東京府士族森義植の長男にして明治十六年五月を以て生れ同三十六年家督を相続す同四十年東京帝國大學工科大学土木工學科を卒業し工科大学助教授に任ぜられしが幾許もなく選信省に入り水力電氣工事及水力調査事業に従事す其間水力電氣事業研究のため北米合衆國美領加奈陀瑞典西諸國に留學す歸朝後選信通信技術臨時發電力調査局技師兼選信局技師等に歴任せしも後之を辭し現時前記の職に在りA一三三(東京市本郷區上富士前町八三電大塚七四)

森 長三郎 森債券店、公社債電話買賣並金融
業、大阪府在籍
妻 ワカ 明二五、二、生、神奈川、鈴木春吉
男 宗一 明四二、一、〇、生
男 信成 大、三、六、生
君は徳島縣人後藤又四郎の長男にして明治三年八月二十五日を以て生れ森宗之助の養子となり同十年分れて一家を創立す森債券店と稱し公社債電話買賣並金融業を營む家族は尙三男三郎(大、六、三、生)四男四郎(同、〇、一、一、生)六男六郎(同、一、四、一、二、生)七男七郎(昭二、九、生)あり長女千代子(明三八、九、生)は五男博(大、一、二、八、生)は共に兵庫縣人南木マサに各養子となれりA八二八(大阪府此花區玉川町一ノ二九電福島三九三)

森 忠藏 從四位勳四等、東京帝國大學工學
部講師、臺灣總督府專使、東京電
信總局、東京府士族
妻 せん 明一九、一、一、生、宮城、中島鏡治
女 滋 大、二、二、生
男 淳 大、三、一、二、生
君は東京府士族森義植の長男にして明治十六年五月を以て生れ同三十六年家督を相続す同四十年東京帝國大學工科大学土木工學科を卒業し工科大学助教授に任ぜられしが幾許もなく選信省に入り水力電氣工事及水力調査事業に従事す其間水力電氣事業研究のため北米合衆國美領加奈陀瑞典西諸國に留學す歸朝後選信通信技術臨時發電力調査局技師兼選信局技師等に歴任せしも後之を辭し現時前記の職に在りA一三三(東京市本郷區上富士前町八三電大塚七四)

幸 明三五、七生、二男廣之妻、東京
女 惠美子 明四五、六生
女 美美子 大四、七生

君は福井縣人先代廣三郎の長男にして明治三年十一月を以て生れ同三十四年家を相續し前名廣三郎を改め眞名す地方の名望家にして前記銀行會社の重役に列し直接國稅千二百六圓を納め縣下の多額納稅者たり茲に貴族院議員に當選すること二回福井縣會議員同參事會議員に擧げられ福井貯蓄銀行大同肥料等會社の重役たりし事あり家族は尙孫京子(大一〇、二生)同節子(昭二、女)同節子(昭三、女)同節子(昭四、女)同節子(昭五、女)同節子(昭六、女)同節子(昭七、女)同節子(昭八、女)同節子(昭九、女)同節子(昭十、女)同節子(昭十一、女)同節子(昭十二、女)同節子(昭十三、女)同節子(昭十四、女)同節子(昭十五、女)同節子(昭十六、女)同節子(昭十七、女)同節子(昭十八、女)同節子(昭十九、女)同節子(昭二十、女)同節子(昭二十一、女)同節子(昭二十二、女)同節子(昭二十三、女)同節子(昭二十四、女)同節子(昭二十五、女)同節子(昭二十六、女)同節子(昭二十七、女)同節子(昭二十八、女)同節子(昭二十九、女)同節子(昭三十、女)同節子(昭三十一、女)同節子(昭三十二、女)同節子(昭三十三、女)同節子(昭三十四、女)同節子(昭三十五、女)同節子(昭三十六、女)同節子(昭三十七、女)同節子(昭三十八、女)同節子(昭三十九、女)同節子(昭四十、女)同節子(昭四十一、女)同節子(昭四十二、女)同節子(昭四十三、女)同節子(昭四十四、女)同節子(昭四十五、女)同節子(昭四十六、女)同節子(昭四十七、女)同節子(昭四十八、女)同節子(昭四十九、女)同節子(昭五十、女)同節子(昭五十一、女)同節子(昭五十二、女)同節子(昭五十三、女)同節子(昭五十四、女)同節子(昭五十五、女)同節子(昭五十六、女)同節子(昭五十七、女)同節子(昭五十八、女)同節子(昭五十九、女)同節子(昭六十、女)同節子(昭六十一、女)同節子(昭六十二、女)同節子(昭六十三、女)同節子(昭六十四、女)同節子(昭六十五、女)同節子(昭六十六、女)同節子(昭六十七、女)同節子(昭六十八、女)同節子(昭六十九、女)同節子(昭七十、女)同節子(昭七十一、女)同節子(昭七十二、女)同節子(昭七十三、女)同節子(昭七十四、女)同節子(昭七十五、女)同節子(昭七十六、女)同節子(昭七十七、女)同節子(昭七十八、女)同節子(昭七十九、女)同節子(昭八十、女)同節子(昭八十一、女)同節子(昭八十二、女)同節子(昭八十三、女)同節子(昭八十四、女)同節子(昭八十五、女)同節子(昭八十六、女)同節子(昭八十七、女)同節子(昭八十八、女)同節子(昭八十九、女)同節子(昭九十、女)同節子(昭九十一、女)同節子(昭九十二、女)同節子(昭九十三、女)同節子(昭九十四、女)同節子(昭九十五、女)同節子(昭九十六、女)同節子(昭九十七、女)同節子(昭九十八、女)同節子(昭九十九、女)同節子(昭百、女)

森 廣藏

安田銀行總務課長、安田信託、安田ビルヂング、三井信託各電氣各社役員、東京、大阪、神戶、名古屋、東京銀行集會所、東京手形交換所各理事、東京府在籍

君は鳥取縣人森勘十郎の四男にして明治六年二月を以て生れ同三十七年兄勝藏方より分れて一家を創立す同三十年東京高等商業學校を卒業し横濱正金銀行に入り倫敦支店副支店配人神戸支店配人本店支店配人を経て常務取締役になり大正十二年轉じて臺灣銀行副頭取を命ぜられ後頭取に進み昭和二年之を辭し現時安田銀行副頭取の外前記各銀行會社の重役たり長女春子(昭三、九生)一子は兄勝藏長男藤一に二女節子(昭四、二生)一子(昭三、九生)は東京府人寺尾鐵二長男一郎に嫁せりA七三二

森 平藏

君は佐賀縣人古川龍張の三男にして明治二十二年七月を以て生れ森松次郎の養子となり大正三年分れて一家を創立す同年東京帝國大學法科大學經濟學科を卒業し同五年長崎高等商業學校教授同十一年大分高等商業學校教授長崎高等商業學校教授となり同年英獨米各國に留學し同十四年歸朝兼官を免ぜられ今日に至る昭和六年フイリッピン及蘭領東インド(出張付)ける家族は尙二男紀基(大四、一一生)三男武彦(昭一〇、六生)四男文英(昭一一、一一生)四女女子(昭五、二生)あり(大分市大分高等商業學校内)

森 辨治郎

朝鮮郵船總社長、岐阜縣在籍

君は長野縣人林美射男の二男にして明治元年十月三日を以て生れ先代孫一の養子となり大正元年家を相續す明治二十一年早稲田大學英語科を卒業し後日本郵船會社に入り天津香港大阪支店支店長を経て日本郵船會社社長となり現時朝鮮郵船會社社長たり(東京市澁谷區惠比壽通一ノ七電報七七八)

森 孫太郎

蒲田信用組合長、地主、東京府在籍

君は東京府人森孫右衛門の長男にして明治十一年九月十六日を以て生れ大正六年家を相續す地主にして蒲田信用組合長たり兼小野運送店取締役たりし事あり家族は尙五男準之助(大六、四生)五女ユキ(昭九、一一生)あり三女ナヲ(昭四、一一生)は東京府人田中久四郎五男貞吉に嫁せりA四一〇七(東京市蒲田區御園町四電蒲田三二)

森 正則

北海道多額納稅者、北海道船、大正證券、昭和倉庫各取締役、共、房具商、北海道土族

三(東京市芝區高輪南町四七電高輪一〇三)
參照II寺尾鐵二、奥田操、藤野茂八の項

森 文三郎

正五位勳四等、大分高等商業學校教授、東京府在籍

君は佐賀縣人古川龍張の三男にして明治二十二年七月を以て生れ森松次郎の養子となり大正三年分れて一家を創立す同年東京帝國大學法科大學經濟學科を卒業し同五年長崎高等商業學校教授同十一年大分高等商業學校教授長崎高等商業學校教授となり同年英獨米各國に留學し同十四年歸朝兼官を免ぜられ今日に至る昭和六年フイリッピン及蘭領東インド(出張付)ける家族は尙二男紀基(大四、一一生)三男武彦(昭一〇、六生)四男文英(昭一一、一一生)四女女子(昭五、二生)あり(大分市大分高等商業學校内)

森 平藏

君は佐賀縣人古川龍張の三男にして明治二十二年七月を以て生れ森松次郎の養子となり大正三年分れて一家を創立す同年東京帝國大學法科大學經濟學科を卒業し同五年長崎高等商業學校教授同十一年大分高等商業學校教授長崎高等商業學校教授となり同年英獨米各國に留學し同十四年歸朝兼官を免ぜられ今日に至る昭和六年フイリッピン及蘭領東インド(出張付)ける家族は尙二男紀基(大四、一一生)三男武彦(昭一〇、六生)四男文英(昭一一、一一生)四女女子(昭五、二生)あり(大分市大分高等商業學校内)

森 松次郎

三重縣在籍

君は東京府人先代又四郎の三男にして明治二十一年五月を以て生れ同四十四年家を相續し前名源太郎を改め松次郎と稱し左官請負業を營むA三一九(東京市京橋區越前堀二ノ一ノ二三電京橋一〇四三)

森 又四郎

森又、左官請負業、東京府在籍

君は東京府人先代又四郎の三男にして明治二十一年五月を以て生れ同四十四年家を相續し前名源太郎を改め松次郎と稱し左官請負業を營むA三一九(東京市京橋區越前堀二ノ一ノ二三電京橋一〇四三)

森 松次郎

三重縣在籍

君は東京府人先代又四郎の三男にして明治二十一年五月を以て生れ同四十四年家を相續し前名源太郎を改め松次郎と稱し左官請負業を營むA三一九(東京市京橋區越前堀二ノ一ノ二三電京橋一〇四三)

森 三雄

大阪府在籍

君は滋賀縣人坂本キクの三男にして明治十七年十二月四日を以て生れ先代加瀬の養子となり大正七年分れて一家を創立す現に東京市四谷區會議員の職に在りA四〇四(東京市四谷區左門町七七電四谷三三〇九)

森井半兵衛 紋木細師
 妻 明一八、一、二生、愛知、岡谷鎮七
 女 要太郎 大三、九生
 女 ふみ 明四一、六生
 女 上 大六、一、二生

君は愛知縣人先代半兵衛の四男にして明治十一年六月十八日を以て生れ同四十年家督を継ぎ共に前名元三郎を改め名を紋木細師を替む妹を(明一五、三郎)は京都府人塚本親子郎に嫁し同千代(明二五、九生)は同府土族丹羽恒良の養子となりA三八〇B七〇(名古屋西區和泉町五電本局二二四八)

森居久藏 東京市杉並區會議員、賣藥商、地主
 妻 七 明二三、三、三、東京、宮寺龍五郎
 女 久次 明四三、一、一、生
 女 サク 明四五、九、生

君は大阪府人森井和助の長男にして明治二十三年六月十日を以て生れる浴場業を替む家族は尙弟章(明三九、六生)同妻貞子(同四一、七、生、大阪、松居徳兵衛二女)あり姉ヨネ(同二二、三、生)は大阪府人長谷川喜一郎に嫁し弟美雄(同三一、七、生)は分家し同茂(大二、四生)は同府人楠田小吉の養子となりA三九八(大阪市南區五軒町二番丁四〇一電番六三二七)

森泉三代太 佐久銀行常務取締役
 妻 一夫 明二、六、生、長野、大井直助長女
 妻 花枝 明四二、四、生、二男一夫妻、長野宮下辰三長女
 妻 誠 明三、四、生、長野、柳澤立助二男
 孫 誠一 明四四、五、生、亡養子常吉長女
 孫 誠二 明三、一、一、生、養子誠長男
 孫 誠三 明四七、三、生、養子誠長男

君は長野縣人森泉幸助の長男にして慶應三年九月を以て生れ明治二十五年家督を継ぎ現時佐久銀行常務取締役たり家族は尙孫貞貞(大、一、四、二、生、養子誠二男)同幸子(昭二、七、生、同二女)同博夫(同七、四、生、二男一夫妻)同長(同八、一、一、生、同長女)あり三女と(明二六、一〇、生)は長野縣人須江虎次郎二男利一郎に嫁し(同三三、一、一、生)は長野縣人大井正平に嫁し三男英三(同四二、一、一、生、京大出身)は分家せりA二九八〇B四五〇(長野縣北佐久郡岩村町電三三五)

森井隆一 家主
 妻 謀太郎 文久元、一、二、生、現戸主
 妻 シン 安政二、五、生、兵庫、牛尾秀政養
 妻 ミツ 明三六、一〇、生、奈良、西川寅太
 女 増子 大五、九、生
 女 茂子 大五、九、生

君は奈良縣人森井謀太郎の長男にして明治二十二年二月を以て生れる家主たり家族は尙二男寅夫(大、一、五、五、生)二女利子(昭四、一、一、生)ありA二〇三五(神戸市神戶區下山手通八、一九〇電元町二二五)

森居幸一郎 大阪府又商店社長、羅紗商
 妻 孝 明三二、三、三、大阪、田中又助長
 妻 マサノ 明一〇、一、一、生

君は大阪府人森居吉吉の長男にして明治三十年八月を以て生れ昭和三年家督を継ぎ羅紗商を替む森居又商店社長たり家族は尙長女貞子(大、一、七、生)二女喜美子(同三、七、生)二男幸和(昭二、一、一、生)三男貞(同五、六、生)弟幸温(大五、六、生)あり同幸三郎(明三二、二、二)

森内宗八 大阪府在籍
 妻 常 明二六、二、生、養母トミ女、御茶
 妻 常 明四四、二、生

君は福井縣人森内宗八の弟にして明治十四年二月を以て生れ先代トミの養子となり同四十四年家督を継ぎ同三十九年東京帝國大學文部科大學英文學科を卒業し愛知縣立第一中學校校長となり専ら山形縣立庄田中學校長に轉じ同九年佐賀高等學校教授に任ぜられ現在に至る家族は尙二男健二(大、六、六、生)あり(佐賀縣佐賀郡本庄村佐賀高等學校内)

森内童子 大阪府在籍
 母 明一、一、一、生、大阪、森内宗八伯

君は大阪府人森内六左衛門の五女にして大正十二年七月を以て生れ先代五郎右衛門の養子となり昭和三年家督を継ぎ地主たり家族は尙姉種子(明三九、七、生)同夫正雄(同三七、一、一、生、大阪、下村仁衛三男)及其一男姉多子(大、三、一、一、生)同雪子(同六、一、一、生)あり同榮子(明四三、二、一、生)は大阪府人松田定吉孫利衛に嫁せりA三一九五(大阪府住吉區住吉町四九六電元二二八一)參照||森内宗八(森内宗八)森内宗八(森内宗八)

森尾繁春 正八位、陸軍歩少尉、一宮商工會議所理事、山口縣在籍
 妻 ナミ 長女

君は山口縣人森尾熊太郎の長男にして明治二十六年六月を以て生れ昭和五年家督を継ぎ大正七年早稲田大學文學部英文科を卒業し同年一年志願兵として入隊し同十年陸軍歩少尉に任ぜられ先是山口縣興風中學校教諭として教鞭を執る大正二年京都府會議所外關係に就任し昭和二年前記一宮商工會議所理事に轉じ現在に至る讀書園基に趣味を有す(一宮市南柳町二電七二九)

森岡儀藏 大阪商業通信社取締役、片上鐵道監査役、大阪堂島米穀取引所取引員、岡山縣在籍
 妻 カメ 明一八、一、二、生、岡山、吉延丑太
 妻 康 大元、八、生

君は岡山縣人森岡平米の三男にして明治九年一月を以て生れ同三十四年兄忠三の廢家を相續す現に大阪堂島米穀取引所一般取引員にして傍ら前記會社の重役たり兼に大阪商業通信社長たりし事あり家族は尙三男道夫(大、七、一、一、生)三女笑子(同、一〇、八、生)あり長女芳子(明三三、七、三、生)は愛知縣人大久保勝に嫁せりA四五五B一〇一〇(大阪府北區堂島濱通一、九四電北二五五)

森江幸治郎 資産家
 妻 有一郎 大七、三、生

君は東京府人森江佐七の二男にして明治十四年八月を以て生れ昭和六年兄佐七の後を承け家督を相續す養産家を以て知らる家族は妹喜美子(大、三、一、一、生)弟源吉(同六、八、生)あり姉松枝(明四二、二、二、生)は岐阜縣人加藤正夫に嫁せりA八三二(東京市麻布區新町一、六九電赤坂一四六八)

森岡喜三郎 從四位勳四等、佐賀高等學校教授
 妻 トミ 文久二、三、三、生、福井、森岡徳三郎

君は高知縣人森岡壽龜の二男にして明治十八年九月を以て生れる同四十二年東京帝國大學農科大學化學科を卒業し大正元年同大學助教授となり同七年北海道帝國大學農科大學助教授に轉じ同十一年有機工業化學研究の爲め英獨米各國に留學す歸朝後濱松高等工業學校教授に任ぜられ昭和八年退官引續き講師として勤務す家族は尙弟正志(明四三、一、一、生、亡兄茂樹二男)あり妹猪壽(同二七、一、一、生)は高知縣人森田清に同春猪(同三一、八、生)は同縣人板原茂實に嫁せり(濱松市廣澤町九八ノ一七)

森岡銈一郎 從五位、男爵
 妻 とめ 明二、三、一、二、生、東京、林小兵衛

當家は先々代昌純より家名を揚ぐ昌純は舊鹿兒島藩士にして明治四年長崎縣知事大參事となり爾來歸國後令兵庫縣令農商務少輔等に歴任して野に下り共同運輸會社長日本郵船會社社長に擧げられ同三十一年勳功に依り華族に列し男爵を授けらる君は先代彦の長男にして明治十四年一月十六日を以て生れ大正十一年家督を継ぎ興隆仰付けらる趣味として野球映畫旅行讀書等あり

森江有三 泰平興業代表取締役、小島印刷
 妻 ハマ 明二五、六、生、東京、小島長藏長
 妻 有一郎 大七、三、生

君は東京府人森江佐七の三男にして明治十七年五月を以て生れ大正十一年兄佐七より分れて一家を創立す明治四十二年東京高等商業學校を卒業し東京瓦斯會社

森岡勇 正五位勳四等、濱松高等工業學校
 妻 梅 明二三、九、生、高知、深瀬寛雄妹
 妻 静子 大七、五、生

君は高知縣人森岡壽龜の二男にして明治十八年九月を以て生れる同四十二年東京帝國大學農科大學化學科を卒業し大正元年同大學助教授となり同七年北海道帝國大學農科大學助教授に轉じ同十一年有機工業化學研究の爲め英獨米各國に留學す歸朝後濱松高等工業學校教授に任ぜられ昭和八年退官引續き講師として勤務す家族は尙弟正志(明四三、一、一、生、亡兄茂樹二男)あり妹猪壽(同二七、一、一、生)は高知縣人森田清に同春猪(同三一、八、生)は同縣人板原茂實に嫁せり(濱松市廣澤町九八ノ一七)

森岡儀藏 大阪商業通信社取締役、片上鐵道監査役、大阪堂島米穀取引所取引員、岡山縣在籍
 妻 カメ 明一八、一、二、生、岡山、吉延丑太
 妻 康 大元、八、生

君は岡山縣人森岡平米の三男にして明治九年一月を以て生れ同三十四年兄忠三の廢家を相續す現に大阪堂島米穀取引所一般取引員にして傍ら前記會社の重役たり兼に大阪商業通信社長たりし事あり家族は尙三男道夫(大、七、一、一、生)三女笑子(同、一〇、八、生)あり長女芳子(明三三、七、三、生)は愛知縣人大久保勝に嫁せりA四五五B一〇一〇(大阪府北區堂島濱通一、九四電北二五五)

り家族は尙弟正次郎(大三、一生)同弟三郎(同八、七生)あり(東京市大森區山王一ノ二六三八電大森三〇五三)

森岡三郎

富倉殖産、富倉商會各取締役、森岡平右衛門商店業務執行社員、東京府在籍

森岡二郎

從四位勳三等、元警保局長、奈良縣在籍

森岡常藏

從三位勳三等、東京文理科大学長、東京高等師範學校長、福井縣在籍

森岡平右衛門

東京商工會議所議長、東京鋼鐵、富倉殖産、森岡商會各取締役、東京府在籍

森岡文三郎

東京鋼鐵專務取締役、富倉殖産、森岡商會各取締役、東京府在籍

森岡守成

正三位勳一等功三級、陸軍大將、山口縣在籍

森川嘉三郎

道員商、大阪府在籍

森川熊雄

森川産婦人科病院、醫師、愛知縣在籍

森川桑三郎

三共貿易社長、大日本金粉清工業、精製印刷各取締役、日本印刷、大阪府在籍

森川物助

東京織物用品取締役、東京量器製造社社員、東京府在籍

森川脩藏

廣島縣多額納税者、廣島縣在籍

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

君は福井縣人森岡實藏の長男同喜三郎の兄にして明治四年二月を以て生れ同二十三年家督を相続す同三十年東京高等師範學校を卒業し同校教授となり小學校教授法研究の爲獨逸に留學す歸朝後文部省編輯官兼東京高等師範學校教授等に歴任し昭和八年文部省教育調査部長となり同九年一月前記現職に任ぜらるる家族は尙三男英男(大六、八生)四男貞夫(同七、一〇生)五男貞雄(同二、一一生)六男達治(同五、一〇生)あり長女小石川區小日向臺町一ノ六六電小石川六七七七

森岡文三郎

東京鋼鐵專務取締役、富倉殖産、森岡商會各取締役、東京府在籍

森岡平右衛門

東京商工會議所議長、東京鋼鐵、富倉殖産、森岡商會各取締役、東京府在籍

森岡常藏

從三位勳三等、東京文理科大学長、東京高等師範學校長、福井縣在籍

森岡二郎

從四位勳三等、元警保局長、奈良縣在籍

森岡三郎

富倉殖産、富倉商會各取締役、森岡平右衛門商店業務執行社員、東京府在籍

森川熊雄

森川産婦人科病院、醫師、愛知縣在籍

森川桑三郎

三共貿易社長、大日本金粉清工業、精製印刷各取締役、日本印刷、大阪府在籍

森川物助

東京織物用品取締役、東京量器製造社社員、東京府在籍

森川脩藏

廣島縣多額納税者、廣島縣在籍

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

森川三郎

明三三、七生、富倉商會代表、取締役、東京丸瀨商會、森岡商會、日本鋼材各取締役、富倉殖産、監査役

男 邦三 明三二、六生、長男邦三妻、大阪
女 静子 改正源右衛門二女
女 愛子 明三六、二生、市岡高女及夕陽丘
女 富美子 明四一、八生

森下家は先代太左衛門滋賀縣より大阪に出で一家を創立して酒類商を営みしに創まる君は其長男にして慶應三年三月を以て生れ明治十七年家督を相続し父業を守りて手廣く酒類商を営む家族は尙孫清都子(昭五、七生、長男邦三二女)同泰雄(同八、三生、同長男)あり長女アサ(明二三、六生)は大坂府人吉村儀兵衛に二女テル(同二六、一一生)は同府人吉村安兵衛弟梅三郎に嫁さく(同九、一一生)は前記吉村安兵衛に嫁し三男榮治郎(同三九、一一生)は同府人同本清吉の養子となれりA九九六(大阪府西區北堀江町三ノ一二電新町二二一)

森下龜太郎 從六位、辯護士
 岡山縣土族

妻 奈良免 明一三、二生、大阪、杉野勝清叔
男 龜男 明三九、五生、辯護士
男 力 明四二、二生、滿洲國民政務總務
男 正 大元、一一生
女 律喜子 大三、三生

君は岡山縣土族森下良諒の三男にして明治二十一年十一月を以て生れ同二十一年兄龜太郎の家督を相続す同二十七年明治大學を卒業し辯護士を業とし人に知らるる業に選ばれ臨時法制審議會臨時委員に任ぜらるる家族は尙四男卓也(大五、一一生)五男清(同六、一一生)六男治六(同九、一一生)あり長女三保子(明三六、四生)は大坂府人藤井乙恵に三女惠美子(同四三、一一生)は山形縣人、平山常介に妹和喜(同五、八生)は岡山縣人遠藤節に嫁せりA一〇三(大阪府港區八幡屋元町三ノ一二電本局一電西三七七)事務所同市東區今橋五丁目電本局一

參照II 杉野勝清の項
森下作太郎 木綿太物卸商
 大阪府在籍
妻 アイ 明一九、七生、大阪、松本多吉五
男 作藏 大九、八生

君は大坂府人森下作次郎の長男にして明治八年十二月二日を以て生れ大正三年先代母登美の後を承け家督を相続す手堅く木綿太物等の卸商を営み九州沖繩地方に販路の擴張を爲し今日に至る家族は尙繼子弘子(大四、五生)ありA二四四五B一四四(大阪府東區安土町二ノ五五電本町二二九)

森下正三郎 森下傳藏商店役員
 森下傳藏商店在籍
妻 キヌ 明三、五生、栃木、藤山由兵衛二

君は東京府人森下傳藏の二男にして明治四十一年三月二十四日を以て生れ昭和五年家督を相続す現時合資會社森下傳藏商店の社員たり家族は尙弟紀良(大元、九生)ありA三三五(東京府市川區東森下町一一電本所四二二三)

森下忠恕 森下産婦人科病院院長、醫師
 高知縣在籍
父 忠治 高知縣、一一生
妻 免代 明一五、三生、高知、中島雅利二
男 忠顯 明四四、四生
女 茂子 大七、八生
女 和子 大七、八生

君は高知縣人森下忠治の長男にして明治五年一月を以て生れ昭和五年家督を相続す醫學を業とし森下産科婦人科病院長たり家族は尙三男公平(大六、三生)四男玄龍(同九、七生)五男且龍(同一一、一一生)あり弟直枝(明九、六生)同妻春衛(同六一、一一生)高知、永野親成(二女)は共に分家し妹多美(同一一、一一生)は高知縣人伊藤武次長男孝孝に嫁せりA二七四(福岡市上土居町三六電三二八)

森島庫太 正三位勳二等、醫學博士、帝國學
 京都府在籍
妻 マツ 明一五、一一生、京都、山中榮子
男 正夫 大五、一一生

君は岐阜縣人森島玄仙の長男にして明治元年四月を以て生れ同十八年家督を相続す同二十七年帝國大學醫學部大學を卒業し直ちに同大學助手となり同二十九年醫學部助教授に任じ同三十三年醫學博士の學位を受け教授に進み醫學部長同大學評議員及圖書館商會委員たりしが昭和三年同大學名譽教授となり同七年帝國學士院會員に任ぜらるる長女せつ(明三五、九生)京都府立第一高女出身)は群馬縣人荒木寅三郎長男新太郎に二女みち(同四〇、九生)は群馬縣人竹山純平長男初雄に嫁し弟三樹三(同一一、七生)は愛知縣人黒田乙平の養子となれり(京都市上京區御堂前通鞍馬口北入電西陣四〇七)

參照II 荒木寅三郎、黒田三樹三、竹山純平の項
森島才次 前千代田生命保險(互)秘書役
 熊本縣在籍
妻 ヤス 明二〇、六生、熊本、相良一治姉
男 達也 大七、七生
女 律 明四四、二生
女 敏 大二、五生

君は熊本縣人森島新藏の二男にして明治十九年四月を以て生れ同四十二年分れて一家を創立す大正二年慶應義塾理財科を卒業し業に千代田生命保險會社秘書役たり(東京府澁谷區伊達町二八)

森島米次 莫大小手袋製造業
 大阪府在籍
妻 りん 明二二、六生、岐阜、長谷川利喜
男 眞逸 大三、八生

森下虎吉 日本備後製造會社常務取締役
 和歌山縣在籍
妻 起美 明一四、八生、故東京興信所長森
男 諱三 大六、六生
女 縹子 大六、六生

君は和歌山縣人森下久治郎の二男にして明治六年五月を以て生れ大正五年森下起美の夫となる現時日本備後製造會社常務取締役たりA一二九(東京府芝區白金三光町五二電高輪六一三〇)

森下比三郎 大阪木材相互市場常務取締役
 大阪府在籍
妻 サキ 明一六、三生、大阪、爲井辰之助
男 辰郎 明三七、一一生
男 キヌ子 明四〇、七生、長男辰郎妻
男 震三 明四二、一一生
男 靜子 明四五、五生、三男震三妻

君は大坂府人森下喜兵衛の二男にして明治八年十二月十八日を以て生れ同二十七年分れて一家を創立す現時大阪木材相互市場常務取締役にして業に大阪府市會議員に擧げられ大阪印刷所監査役大阪木材同業組合議長大正信託冷蔵製豆腐各會社重役たりしことありA一六二(大阪府西區南吉田町七電天下茶屋二二九)

森下博 大阪府多額納税者、大江ビルヂング、赤線檢温器、仁丹ヘミガキ販賣、仁丹本舖森下營業所主
 大阪府在籍
妻 ハナ 明二六、三生、大阪、丸尾兼吉妹
男 次子 明一〇、一〇生、離縁養子長藏妻
女 和子 大七、一一生、離縁養子長藏長女
孫 和子 大七、一一生、離縁養子長藏長女
 君は大坂府人森下佐野右衛門の長男にして明治二十一年一月三日を以て生れ同十五年家督を相続す仁丹本舖として知られ其製造に係る懐中用藥仁丹丹は最も人口に膾炙す傍ら大江ビルヂングの相談役にして大阪府多額納税者に列し直接納税一萬六千三百三十二圓を納む大正九年多年實業に盡したる功に依り綠綬褒章を賜ふ(大阪府

君は大坂府人森島吉兵衛の二男にして明治十三年十二月を以て生れ大正五年兄吉三郎の後を受けて家督を相続す莫大小商を営む家族は尙二男吉明(大五、八生)三男幸治(同八、四生)二女美代子(同一一、二生)四男誠(同一一、七生)亡兄吉三郎妻は(慶應元、三生、愛知、横井善吉長女)ありA一六三〇(大阪府西區榎上通二ノ一五電土佐堀二四六六)

森田伊兵衛 地主
 大阪府在籍
妻 ミヨ 衛三女
男 伊佐夫 大一〇、一一生

君は大坂府人先代伊兵衛の長男にして明治十六年九月十八日を以て生れ大正十五年家督を相続し昭和六年前名寅次郎を改め名主地主たり家族は尙弟勝治(明三七、八生)同妻トミエ(同四二、五生、大阪、岩川岩吉四女)及其二男ありA二二六八(大阪府此花區玉川町三ノ二八電福島七四〇)

森田嘉太郎 森田商店、洋反物商
 大阪府在籍
妻 タネ 明三五、一一生
男 嘉種 明三六、七生、長男嘉種妻、大阪
女 わか 服部濱三郎四女

君は和歌山縣人森田嘉平太の長男同虎楠の兄にして明治六年一月十三日を以て生れ先代龜吉の養子となり同三十九年家督を相続す森田商店を經營し洋反物商を營む長女美代子(明四四、二生)は同府人神業義雄に嫁せりA五三八(大阪府南區末吉橋通二ノ一五電船場二五七)

森田一男 共立無盡事務取締役兼大牟田支
 店長、福岡縣在籍
妻 ヒサノ 明三四、四生、福岡、野田儀市七

君は福岡縣人森田善四郎の二男にして明治二十六年十一月を以て生れ同四十三年家督を相続す同四十五年福岡縣教員養成所を卒業して大牟田市役所に勤め原籍地

東區玉堀町五四三電東三)

森下政一 關西大學教授、大阪府會議員
 大阪府在籍
父 新造 明五、二生、現戶主
母 つね 明五、一〇生、京都、改森藤吉妹
妻 つるゑ 明三〇、一一生、京都、改森藤吉長女
男 一滋 昭二、三生

君は京都府人森下新造の長男にして明治二十八年三月を以て生れ大正五年早稲田大學商科を卒業し現時關西大學教授にして大阪府會議員に擧げらるる家族は尙長女建子(大一〇、三生)あり(大阪府東區御堂町四二ノ一電南七七七)

森下松衛 明治書院事務取締役
 群馬縣在籍
妻 ます 明一七、一〇生、千葉、三野三二
男 彬 明三九、三生、東大圖書館勤務
女 文三 明三九、三生、東大圖書館勤務

君は群馬縣人森下清治の長男にして明治九年五月を以て生れ同三十八年家督を相続す同三十二年國學院大學を卒業して現時明治書院事務取締役たり長女きよし(明三五、四生)は群馬縣人小菅敏郎に二女しづゑ(同三六、一一生)は廣島縣人島田千代鷹に三女八千代(同四一、一一生)は長崎縣人鶴殿龍雄に四女きみ代(同四四、六生)は東京府人宮本廣次に嫁せりA八四三(東京府本郷區元町二ノ二七電小石川一九二一)

森島淺五郎 砂糖製糖商
 東京府在籍
妻 そと 明七、一〇生、東京、指田半六二
男 敬三郎 明三二、一一生
男 せつ子 明三八、四生、三男敬三郎妻、茨城、坪井龜三郎四女
男 雄之助 明三六、二生
女 富貴 明四一、一〇生
男 省吾 明四三、七生

君は東京府人森島舜五郎の長男にして文久三年九月を以て生れ明治十四年家督を相続す砂糖製糖商を営み業に赤坂區會議員に推さるる家族は尙六男善五郎(大六、

森田 菊藏 妻 重夫、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 三郎右衛門 妻 左武郎、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 純一 妻 敬子、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 次吉 妻 石川縣多額納稅者、吳服商...

森田 菊藏 妻 重夫、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 金藏 妻 はつ、明三、三生、長男信義、東京...

森田 熊吉 妻 なべ、明三、三生、長男信義、東京...

森田 純一 妻 敬子、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 重彦 妻 敬子、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 五郎 妻 梅、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 源二 妻 幸、明三、三生、長男重夫、兵庫...

君は京都府人森田小四郎の五男同純一の弟にして明治二十八年五月八日を以て生る大正六年同志社大學經濟科を卒業し...

森田三郎右衛門 妻 敬子、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 純一 妻 敬子、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 次吉 妻 石川縣多額納稅者、吳服商...

森田 菊藏 妻 重夫、明三、三生、長男重夫、兵庫...

君は京都府人森田小四郎の長男にして明治二十二年八月六日を以て生れ大正七年家督を相続す...

森田 重彦 妻 敬子、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 純一 妻 敬子、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 次吉 妻 石川縣多額納稅者、吳服商...

森田 菊藏 妻 重夫、明三、三生、長男重夫、兵庫...

君は島根縣人森田善左衛門の長男にして明治二十八年十一月を以て生れ同四十五年家督を相続す...

森田 準一郎 妻 敬子、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 純一 妻 敬子、明三、三生、長男重夫、兵庫...

森田 次吉 妻 石川縣多額納稅者、吳服商...

森田 菊藏 妻 重夫、明三、三生、長男重夫、兵庫...

日を以て生れ先代三郎の養子となり同二十年家督を相...

森田正太郎

清水組整理事、住宅部長 東京府在籍...

君は東京府人森田兼吉の長男にして明治十年二月十五...

森田正馬

醫學博士、東京慈恵會醫科大學教授、根岸病院院長、醫師...

君は高知縣土族森田正文の長男にして明治七年一月十八...

森田九の

君は福井縣人豊田五郎兵衛の長女にして明治二年四月八...

森田種造

大阪府在籍 金銀業 大阪府在籍...

森田ツル

東京府在籍 資産家 東京府在籍...

君は神奈川縣人川上久吉の二女にして明治二十五年四月...

君は神奈川縣人川上久吉の二女にして明治二十五年四月...

森田庄三郎

津商工會議所常議員、津市物産協 會長、おぼろタル工業組合理事...

森田省三

正八位、陸軍歩兵少尉、三國郵便 局長、森田金庫部取締役...

森田資孝

醫學博士、森田病院院長、醫師 愛知縣土族...

森田常介

兩替商在籍 兵庫縣在籍 高永四、一〇生、兵庫、森田源七...

森田當吾

東京府在籍 君は東京府人森田六郎の長男にして明治三十八年三月...

森田時祐

筑後銀行、田主丸銀行各取締役 福岡縣在籍...

君は福岡縣人森田久次郎の二男にして明治二十年四月...

森田清助

愛知縣多額納稅者、江戸清、味噌 溜造業、愛知縣在籍...

森田清兵衛

味噌溜商 愛知縣在籍 君は愛知縣人森田義治の長男にして安政五年八月十五...

森田德松

正八位、陸軍工兵少尉、地主 大阪府在籍...

森田俊彦

美松溜取締役 東京府土族 君は大阪府人森田德松の長男にして明治三十四年四月...

森田友造

土木建築請負業 大阪府在籍 君は大阪府人先代友造の二男にして明治四十二年四月...

君は大阪府人先代友造の二男にして明治四十二年四月...

君は佐賀縣人森永常次郎の長男にして慶應元年六月を以て生れ明治二十一年...

森永 泰士 正七位勳六等、日本郵船參事 父 榮 德 嘉永六、六生、現戶主...

森永 友健 東京府在籍 妻 友 和 明三、一、二生、元森永醫院々長、...

森信 敬二 三和銀行常務取締役 父 敬一 廣島縣在籍...

森藤 壽吉 ハトメ商 大阪府在籍 妻 英子 明二、五生、田村正一長女...

女 信子 大八、三生 君は愛媛縣人森松貞市の長男にして明治十四年七月二十四日...

妻 義子 義行 明二、九、五生、子爵井上勝純養妹 當家は先代森村市左衛門より顯る市左衛門は江戸の人にて...

森村 茂樹 森村同族、東洋陶器各務取締役 妻 佑子 明三、八、一、生、東京、川田豊吉二...

森村 勇 森村同族取締役、森村組監査 妻 春 治二、九、三生、貴族院議員田所美...

森村 確男 利根運河、逗子埋立、森村土地各 妻 善光 昭二、二生、群馬、田沼定太...

森村 義行 正五位、森村組、南亞公司、日本 妻 美子 明三、六、一、生、現戶主...

森村市左衛門 正四位、男爵、森村同族、森村組、...

森村 謙三 森村同族監査役、第一銀行銀 妻 喜美 明二、五、一、〇生、東京、森村勇...

森村 義行 君は鹿兒島縣人川上左七郎の二男にして明治二十九年...

○生(二男準次(昭五、五生)ありA一四七五(東京市芝区高輪南町三三電高輪三三三))

森本厚吉

正四位勳三等、法學博士、東京女子經濟專門學校長、文化普及會理事、東京府士族、安政元、九生、現戸主

森本岩太郎

地主、兵庫縣在籍、弘化四、六生、兵庫、井上直治郎、明二、三、兵庫、中川次三郎

君は兵庫縣人森本芳松の二男にして明治十六年八月十八日を以て生れ大正五年家督を相続す地主たりA三〇

(二)神戸市港區梅元町四

森本角藏

正五位勳五等、東京高等師範學校教授、鳥取縣在籍、安政四、五生、鳥取、石橋徳三郎

森本寛三郎

新田兵衛商店、大五製藥、小西武田兵衛商店各監査役、大正二、九、八、八、武田長兵衛

君は大阪府人森本専助の三男にして明治二十五年十二月を以て生れ大正八年分れて一家を創立す同三年大阪高等商業學校を同七年京都帝國大學法科大學を卒業し

君は東京府人神保貞三の二男にして明治二十二年七月十日を以て生れ大正五年先代きの、入夫となり家督を

森本喜太郎

大軌土地、城東電氣鐵道、尼崎或内土地、六麓莊苦樂園自動車各監査役、今里土地、六麓莊

森本銀治郎

森本倉庫監査役、森本商店監査役、兵庫縣在籍、明二〇、一、二、生、大阪、龜岡清太

君は兵庫縣人森本慶明の三男にして明治十六年一月六日を以て生れ同四十二年兄六兵衛方より分れて一家を

森本邦治郎

正四位勳三等、中央火災傷害保險株式會社、具島、同山縣在籍、明一、二、四、生、岡山、佐藤賢一妹

森本啓太郎

鴻池信託監査役、加州銀行監査役、東京府士族、明一、五、七、生、東京、土、三木源

君は東京府士族森本銀義の長男にして明治九年一月十日を以て生れ同十九年家督を相続す同三十三年東京高等商業學校を卒業し

君は同山縣人横山俊治郎の長男にして應慶二年十一月を以て生れ明治十九年先代ゆきの養子となり家督を相

森本準一

神戸製鋼所監査役、幡房造、明二、九、九、生、山口、村重十一郎

森本信次郎

東京寫眞時報社代表取締役、昭和中學會主、皇徳奉賛會主、出版、明三、一、五、生、兵庫、小島徳三郎

君は三重縣人森本善五郎の二男にして明治十八年九月を以て生れ大正五年分れて一家を創立す出版業を營み

君は大阪府人細井重右衛門の四男にして明治二十三年四月二十日を以て生れ大正三年兵庫縣人先代其兵衛の

森本清

森本商店監査役、森本倉庫、光村印刷各監査役、兵庫縣在籍、明二〇、一、生、兵庫、森本六兵衛

森本千吉

奈良縣多額納税者、大和鐵道監査役、浪速製米、南和電氣鐵道各監査役、奈良縣新田監査役、森本組、土木建築請負業、明二、一、二、生、長女一榮夫、奈

君は兵庫縣人森本嘉平次の長男にして元治元年九月を以て生れ明治十六年家督を相続す凡に建築請負業に従

君は兵庫縣人森本嘉平次の長男にして元治元年九月を以て生れ明治十六年家督を相続す凡に建築請負業に従

森本善七

愛知縣多額納稅者、名古屋銀行、東陽倉庫取締役、帝國糖業株式會社取締役、小間物卸商、愛知縣在籍

妻 倭文子 明三、六生、愛知、勅使河原欽也二女

森本藤兵衛

運送業、大阪府在籍

妻 藤 一 明三、七、一、生、滋賀、小山龜次郎二女

森本豊治郎

從四位勳四等、高等法院上告部判官、兵庫縣在籍

妻 喜美惠 明一、一、生、熊本、士、松島恒次郎二女

森本まつゑ

家主、兵庫縣在籍

君は京都府人森本吉郎兵衛の長女にして明治十六年一月三日を以て生れ明治三十七年分れて一家を創立す家主たりA三三八(神戸市兵庫區松本町三ノ一三)

森本元造

森本倉庫取締役、森本商店監査役、兵庫縣在籍

妻 英子 明三、七、二、生、和歌山、和中金助長女

森本安三郎

森本倉庫取締役、兵庫縣在籍

妻 のぶ 明四、一、八、生、大阪、本林平三郎二女

森本安松

機寸小商、兵庫縣在籍

妻 つる 明五、四、生、兵庫、大西松五郎長女

森本靖吉

大阪堂島米穀取引所引員、米穀商、大阪府在籍

妻 ノブ 明一、八、九、生、大阪、沖津庄吉長女

森本幸雄

森本兄弟洋服商會、洋服商、兵庫縣在籍

妻 たつ 明六、一、〇、生、三重、鈴木清右衛門長女

町四一七

森本力三

大木屋、諸油商、東京府在籍

妻 キク 嘉永五、一、一、生、神奈川、平野熊次郎二女

森谷三太郎

東京府在籍

妻 つね 明二、五、八、生、東京、栗山金七姉

森谷久雄

精肉商、岡山縣在籍

父 定次郎 文久元、一、一、生、現戸主

森谷秀三郎

從四位勳四等、辯護士、三重縣在籍

妻 しゅう 明三、二、生、三重、小崎利英四女

森安連吉

正四位勳四等、醫學博士、富士生命保險株式會社理事、森安病院、醫師、東京府在籍

妻 テイ 明一、七、五、生、男爵佐野智勝養妹、東京、野田時敏二女

森山慶三郎

正四位勳一等功三級、海軍中將、日露協會會長、漁船技術員養成所長、日本國粹會副會長、東京府在籍

妻 ワカ 明一、二、一、〇、生、鹿兒島、士、五代西一郎長女

森山勝二郎

安田銀行金澤支店長、鳥根縣在籍

妻 英作 安政六、八、生、現戸主

森山實五郎

泉州紋羽、補助商、大阪計量器各種取締役、補助足袋製造查役、大阪府在籍

妻 スエ 慶應元、六、生、大阪、天澤徳平姉

妻 恒松 明二、六、八、生、長女キヨ夫、奈良、岩田龜吉三男

男(大五、四生)あり兄精太(明一八、一〇生)は分家し姉つね(同七、一一生)は愛知縣人精谷縫右衛門弟貞吉に妹ひさ(同二二、七生)は愛知人高橋次郎二男正彦に同とむ(同二三、七生)は三重縣人木村敬義に嫁せり(東京市麹町區元園町一ノ四一電九段七三〇)

諸戸 北郎

正三位勳二等、林學博士、東京帝國大學名譽教授、三重縣在籍
養母 みつ 女 嘉永元、三生、三重、伊藤半七二
妻 ちせ 衛門妹 明一七、一一生、愛知、早川久右
男 元 一 明三五、一一生

君は三重縣人諸戸清三の長男にして明治六年九月を以て生れ先代清吉の養子となり同三十一年家督を相繼ぎ同年東京帝國大學農科大學林學科を卒業し更に大學院に入り研究す翌年同大學助教となり後清三兩國に差遣せられ私費を以て塊佛に留學し次で同四十三年獨逸洪各國(留學を命ぜらる歸朝後同大學教授に任ぜられ大正二年林學博士の學位を受く同四年事務技師を兼任し土木局勤務となり後同大學農學部長たりしが昭和九年辭職し同年名譽教授の稱號を授けらる長女敏子(明三八、一〇生、女子學習院出身)は長野縣人櫻井國平弟莊三に嫁せり(東京市赤坂區青山南町五ノ四五電青山一三五二)

諸戸 精文

諸戸タオ(代表社員、農業林業養魚業並織布工業、三重縣在籍)母とき 明二六、一一生、愛知、森榮七妹
當家の先代精太は明治年間立志傳中人故諸戸清六翁の長子にして分れて一家を創立す君は精太の長男にして宗家諸戸清六の甥に當る明治四十五年二月六日を以て生れ昭和六年家督を相繼ぎ農業林業養魚業並織布工業を營み傍ら諸戸タオの代表社員たり父精太は同地の名望家にして桑名郡勳力組合長同郡水産會長等に擧げらる(三重縣桑名郡桑名町電三五・二〇〇) 參照 諸戸清六の項

諸富鹿四郎

南滿洲鐵道參事、鐵路總局運輸處貨物課長、福岡縣在籍
妻 津留 明三一、一一生、愛知、菊地良武妹

あり(福島縣相馬郡原町)

水振 左内

大阪堂島米穀取引所取引員
妻 ヨウ 明二一、一一生、和歌山、堀江虎太郎二女

男 三代治 大四、一一生
女 澤子 明四二、一一生
君は奈良縣人水振岩太郎の長男にして明治二十二年八月を以て生れ後家督を相繼ぎ現に大阪米穀取引所取引員たり叔母ケイ(明七、六生)は奈良縣人森本保太郎に同マツノ(同二〇、三生)は和歌山縣人前田廣吉に嫁し叔父武二郎(同二一、五生)は奈良縣人辻本林藏に同主税(同二五、一一生)は同縣人新城八十吉に各養子となり同規矩四郎(同二八、五生)は分家せりA四八二一B一〇四三(大阪市北區堂島濱通一ノ二八電北三三四) 參照 林龍太郎の項

君は福岡縣土族諸富十藏の五男にして明治二十三年十二月一日を以て生る大正三年長崎高等商業學校を卒業し現時南滿洲鐵道株式會社參事にして鐵路總局運輸處貨物課長たり家族は尙明勝(明三九、七生、亡兄虎雄長男、現戸主)姉ムメ(同四五、六生)亡兄龍太妻ヤエ(同四五、三生、福岡、平田榮二女)あり(大連市東公園町滿鐵々路總局内)

諸橋 金三郎

日比谷商店總務課係長
妻 エイ子 明三一、八生、神奈川、南徳三郎
女 美代子 大八、三生

君は新潟縣人諸橋又三郎の三男にして明治十九年一月九日を以て生れ同四十五年分れて一家を創立す現時日比谷商店總務課係長たり家族は尙二男和男(昭元、一一生)ありA七八二東京市澁谷區橋ヶ谷本町二ノ七五九

諸橋 轍次

從四位勳四等、文學博士、東京文理科大學教授兼東京高等師範學校教授、新潟縣在籍
妻 キン 慶應元、六生、新潟、神田善助母
男 隆 明四一、一一生、新潟、山本庄左衛門二女
女 フサ 大六、七生

君は新潟縣人諸橋安平の二男にして明治十六年六月を以て生れ大正七年家督を相繼ぎ明治四十一年東京高等師範學校本科國語漢文部を卒業し同四十三年更に同校研究科漢文科を卒業す同年同校助教となり爾來同校教諭同校教授を経て昭和四年文學博士の學位を受け東京文理科大學教授兼東京高等師範學校教授に任ぜられ又大學附屬圖書館長に補せられ以て今日に至る大正七年支那に留學す「新語語話」「詩經研究」「經史八論」等の著書あり家族は尙四男晋六(大一一、七生)三女齊子(昭三、八生)第十郎(同三二、九生)同妻節子(同三九、一一生、小野喜徳治三女)あり(東京市豊島區雜司ヶ谷一ノ三三八電牛込三三九三)

諸橋 宏

横濱正金銀行彦布味支店支配人
妻 東京府在籍

妻 銚 明二七、三生、東京、元判事諸橋一義長女、三輪田高女出身
男 洋一 大六、六生、府立一中在學
女 智子 大四、一一生、佛英和高女出身
君は新潟縣新發田藩士諸橋松次郎の四男にして明治十八年一月七日を以て生れ同三十七年分れて一家を創立す現に東京外國語學校を卒業しサンチャコ高等商業學校を卒業し横濱正金銀行に入り同行留學生として南洋各地に滞在す後同行ブエノスアイレス支店支配人東京支店支配人代理等を歴任し現に同行布味支店支配人たり家族は尙二男武二(大一一、三生)二女南都子(同二三、一一生)三男昭三(昭三、八生)ありA一八七布味横濱正金銀行支店內(留守宅)東京市牛込區藥王寺町七四

門前 弘多

正五位勳五等、農學博士、盛岡高等農林學校教授、岩手縣在籍
妻 操 明二二、二生、岩手、中野正志二女
男 弘 大七、五生

門馬 直記

福島縣多額納稅者、吳服商
妻 トヨ 明一六、五生、福島、佐藤鐵藏從妹
男 直次郎 明三七、九生
女 キヨ 明四〇、一一生

君は福島縣人門馬直記の長男にして明治十年三月を以て生れ大正十年家督を相繼ぎ前名昌藏を改め襲名す吳服商を營み直接國稅千二百四十七圓を納め福島縣多額納稅者たり家族は尙四男直人(大八、八生)弟直衛(明三〇、三生、音樂評論家)同妻利子(同三六、三生、宮城、堀川治兵衛妹)及其三子の外弟孝吉(同三二、四生)

ニラフアイエツト



製社會ユシツナ

第六號
軸距百三十寸

お望み通りの

素敵な經濟車

營業用に使つても
立派に算盤のとれる程
丈夫で維持費が掛らず
廣い車室 乗心地
すべて 高級車なみて
それで價格が安い！

型錄
呈覽

直輪入元
葵自動車株式會社

東京市赤坂區池田町九

東京 日本橋 矢の倉

割烹

福井樓

電話浪花 (67)

〇	四	三	九	番
一	五	三	〇	番
二	〇	八	〇	番
二	〇	九	二	番
二	〇	九	三	番

ヤ之部

八百町子

地主 大阪府在籍
 夫 榮 明三三、一生、大阪、中野徳成弟
 男 惣 一 大、一〇、七生
 君は大阪府八百町兵衛の長女にして明治三十八年十月二十六日を以て生れ同四十五年弟愛夫の後を承け家督を相続し中野榮を夫に迎ふ家族は尙二男利宗(大、一、一〇生)三男榮之介(同、一、五、二生)長女泰子(昭三、七生)ありA四九一(堺市中之町東一、二二)

八尾清松

川魚商 大阪府在籍
 父 房 吉 明元、一、二生、現戸主
 母 ハ マ 明六、八生、大阪、河原庄助長女
 妻 マ ス 明二九、八生、大阪、八尾松原子鶴
 男 樂 榮 大五、七生
 君は大阪府八尾房吉の長男にして明治二十八年六月を以て生れる川魚商を營む家族は尙二女房枝(大九、二生)三女米子(同、一、五、七生)ありA五八三B一九四(大阪市西區土佐堀通五ノ四二電土佐堀1111111)

八尾新太郎

東洋石油社社長 東京府在籍
 妻 ミ ッ 明二七、一、二生、東京、眞壁清八郎長女
 男 一太郎 昭四、三、三生
 君は東京府八尾新助の長男にして明治二十八年十一月を以て生れ大正十五年家督を相続す現時東洋石油會社社長にして兼に金尾商會と稱し機械金物及び石炭商を營みしことあり姉きた(明一八、一〇生)弟正家(同三六、一〇生)養兄安平(同六、五生、福井、矢尾佐一郎)弟は各分家し姉うた(同二二、一〇生)は埼玉縣人金子義之吉長男善一に妹ためは東京府人渡邊善教に同つ

たは神奈川縣人田中清治に嫁し第八郎(同四〇、三生)は分家姉きたの養子となれり(東京市日本橋區通三ノ八上横ビル電日本橋四七八)

八尾村忠紀

從四位勳五等、阪和電氣鐵道顧問 支那人、奈良縣在籍
 妻 八代子 明二九、一〇生、東京、野村兼吉長女
 男 忠 憲 大九、五生
 男 忠 憲 大九、五生
 君は奈良縣人八尾村忠次郎の五男にして明治二十二年二月を以て生れ大正九年家督を相続す同三年東京帝國大學法科大學經濟學科を卒業し文官高等試験に合格す鐵道院書記となり爾來同參事補鐵道局副參事仙臺鐵道局倉庫購買調度掛長神戸鐵道局庶務課文書掛長兼鐵道掛長同局德島出張所長金澤鐵道局庶務課長神戸鐵道局運輸課貨物掛長等に歷補し昭和三年歐米各國に出張す歸朝後鐵道局參事兼運輸課事務所長に補せられ次で鐵道院參事官に任ぜられ昭和八年退官す現時阪和電氣鐵道會社副支那人たり家族は尙三男忠芳(大、一、八生)あり(大阪府住吉區昭和町中五ノ六電天王寺四九四六)

八神幸助

愛知縣多額納稅者、井筒幸、醫務器械商、愛知縣在籍
 妻 幸 文久二、六生、愛知、細橋半七長女
 男 淺治郎 明三四、一、二生
 女 幸 明三五、六生、長男淺治郎妻、愛知、中北伊助長女
 君は愛知縣人坂倉久次郎の弟にして中北伊助の養兄なり明治三年八月を以て生れ後先代幸助の養子となり大正五年家督を相続し尙名竹三郎を改め養名す醫務器械商を營み井筒幸と稱す愛知縣多額納稅者たり家族は尙孫富美子(大、一、二、八生、長男淺治郎長女)同幸一(同、一、四、一、一、生、同長男)同保二(生年月同上、同二男)あり二女わくり(明三三、一、一、生)は愛知縣人三輪鳳に嫁せりA七〇五九(名古屋市東區京町二ノ四電東六三三七)參照中北伊助の項

八木逸郎

勳三等、衆議院議員(奈良縣選出) 昭和生命保險(五)社長、醫師 奈良縣在籍
 妻 なつ 明七、四生、兵庫、士、石川季道
 男 一男 明四四、六生
 養子 高次 明二五、七生、長女節夫、奈良、金居橋太郎二男
 女 智 節 明三四、二生、養子高次妻
 女 節 明四一、八生
 男 大 三、五生
 君は奈良縣人八木重義の長男にして文久三年九月を以て生れ明治二十一年家督を相続す夙に東京大學醫學部別科を卒業し後ち獨逸に遊びロストツク大學に入りドクトルの稱號を受く醫を業とし會て奈良縣醫學會頭奈良縣市醫師會長等に擧げらる明治四十一年以來推されて衆議院議員に當選すること八回立憲民政黨所屬にして昭和生命保險相互會社社長たり家族は尙孫初穂(大、六、一、一、生、養子高次長女)同高生(同九、七生、同長男)同憲(同、一、一、二、生、同二女)あり二女操(明三七七生)は大阪府人大江吉兵衛五男徳五郎に妹テイ(慶應元、三、三、生)は山梨縣人鳴澤貞治に同順(明元、五、五、生)は奈良縣人喜多野文夫に同ノブ(同六、一、一、生)は愛媛縣人水本要太郎に嫁ユン(同二、二、二、生)は奈良縣人久保井定治に嫁し弟俊吉(同、一、八、三、生)は同縣人廣岡半四郎に同三郎(同二九、七、七、生)は同縣土族下河邊昌俊に各養子となれり(東京市牛込區市谷仲町四一電牛込七〇二)

八木龜三郎

今治商業銀行頭取、八木本店移社社長、伊豫相互貯蓄銀行取締役 船業並漁業、愛媛縣在籍
 妻 シエ 慶應三、一、一、生、愛媛、八木通保叔母
 男 松 枝 明二八、一〇生、亡長男實通妻、愛媛、内田友政二女
 君は愛媛縣人八木友藏の長男にして文久三年十二月を以て生れ明治十年分れて一家を創立す船業並漁業を營み傍ら前記銀行會社の重役たり兼に今治瓦斯今治製氷各會社取締役たりし事あり亡長女フサノ夫通重(明一六、一、一、生、愛媛、矢野實一郎)は分家し愛媛縣土族深馬之助長女コトを迎へ養子千菊(同四〇、九生、

ヤ之部 八百、尾、神、木

(※印は姻族關係)

二六二五

八木田九一郎 正四位勳三等、醫學博士、岡山醫科大學教授、大阪府在籍...

八木橋本太郎

慶應元、九生、埼玉、八木橋惣五郎長女、慶應元、九生、埼玉、八木橋惣五郎長女...

八坂淺太郎 弘文堂書房、書籍出版印刷業、京都府在籍...

八坂甚二 八坂運輸社長、佐賀縣在籍...

三、一生、同志社女學校專門部英文科出身、廣島縣人文學士山本鶴に嫁せり...

八坂三治

大分縣會議長、大分縣農工銀行常務取締役、大分縣在籍...

八坂甚二

八坂運輸社長、佐賀縣在籍...

八坂雅二 八坂商事、エホライト販賣各務社長、對馬輸出組理事...

八島茂 從五位勳六等、朝鮮總督府技術師、道後北道兄山江治水事務所長...

基那島栖町大字島栖六三三、參照八坂甚兵衛の項...

八坂甚兵衛

佐賀縣多額納稅者、農業、明三、四生、佐賀、士、大石...

八坂雅二

八坂商事、エホライト販賣各務社長、對馬輸出組理事...

八坂豐雄 從四位勳三等、醫學博士、侍醫、山梨縣在籍...

八代則彦 從六位、住友銀行取締役會會長、日本銀行理事、大阪商工會議所...

八代敬之助 大坂府在籍、元二郎、大五、三生...

八代五郎造

正五位、男爵、東電電氣取締役、兼工場長、東京府華族...

八代武次 東洋帆布、福島紡績、船場土地建物、滿洲福紡各取締役、大阪府在籍...

八代常夫

正五位勳五等、警務局長、東京警務局長、東京府士族...

八代則彦 從六位、住友銀行取締役會會長、日本銀行理事、大阪商工會議所...

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢澤久右衛門

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

君は大阪府人矢柴眞子の長男にして明治十年六月を以て...

矢柴眞子

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島榮助

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島喜一郎

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島五平次

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島善七

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島清治郎

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島專平

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島富造

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島健夫

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島富造

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

矢島富造

君は山梨縣人矢崎重郎の長男にして明治六年四月二十八日...

生)姉妹(明元、三生)あり(京城市南山町二ノ一九電本局八四六)

矢沼伊三郎

矢沼商店 新宿地下街、平野ダイブライター各種社長、帝都産物出資社員、埼玉縣在籍

矢野イヲノ

阪神アパルト経営主 大阪府在籍 君は徳島縣人島田彦太郎の長女にして明治十五年三月を以て生れ先代藤太郎に嫁し大正十四年夫の没後承けて家督を相続す阪神アパルト經營主たり弟彦藏(明二、九生)同妻ヒサ(同二四、五生、徳島、眞田喜一郎姉)は分家せりA五二三八(大阪府大正區鶴町四ノ一八)(電報川四九六三)

矢野丑乙

日本防水布社社長 大阪府在籍 君は徳島縣人島田彦太郎の長女にして明治十五年三月を以て生れ先代藤太郎に嫁し大正十四年夫の没後承けて家督を相続す阪神アパルト經營主たり弟彦藏(明二、九生)同妻ヒサ(同二四、五生、徳島、眞田喜一郎姉)は分家せりA五二三八(大阪府大正區鶴町四ノ一八)(電報川四九六三)

矢野

正五位勳四等、陸軍少將、歩兵第八旅團長 八族團長 妻 政子 明二六、九生、東京、伊崎良照長女、和歌山縣立高女出身

矢野慶太郎

爪哇貿易、豊國土地、日華紡績、東神火災保險各取締役、大阪日青、日本電力、帝國人造肥料、日電證券各取締役、矢野商店代表社員、大阪府在籍

矢野小十郎

矢野永徳社長、辨理士 愛媛縣在籍 君は愛媛縣人矢野好太郎の二男にして明治四十年八月六日を以て生れ愛媛縣指の舊家にして君の本家たる先代小十郎の養子となり昭和三年家督を相続し同時に矢野永徳合名會社社長に就任し家業に基き前名三郎を改め三代目小十郎を襲名せり元來矢野家は初代小十郎の時代より代々鐵業に従事し多數鐵山を経営し來りたるが當主小十郎に至り鐵山經營を爲すと同時に辨理士をも開業し今日及びベリスポーツ音樂讀書に興味あり庭球劍道には殊に興味を有し劍道は中學時代より大學

養子 翠 明二八、一一生、養子嘉子夫、伯爵飛鳥井雅信弟 養子 嘉子 明三五、九生、養子翠妻、愛媛、高原雅子妹

矢野丑太郎

武田長兵衛商店、廣榮各種取締役 兵庫縣在籍 君は兵庫縣人矢野文次の子にして明治十六年六月二十八日を以て生れ同四十年家督を相続す現時前記會社の重役たり養兄龜三郎(明八、一一生、亡姉千代夫、兵庫北村佐治三男)及其二女弟捨藏(同八、五生)は各分家し妹はつ(同二〇、九生)は兵庫縣人小松駒造長男宇三郎に嫁せりA一九一七(大阪府泉北郡尾上野芝向ヶ丘電業井二〇)

矢野嘉右衛門

岐阜縣多額納税者、岐阜貯蓄銀行 取締役、岐阜縣在籍 君は岐阜縣人矢野嘉十郎の長男にして慶應元年四月二十二日を以て生れ明治十二年家督を相続す現時前記銀行の重役にして直接國稅八百五十四圓を納め岐阜縣多額納税者たり養兄十六銀行取締役たりし事滿五拾年昭和八年辭任す二女しな(明二七、五生、岐阜縣立高女出身)は愛知縣人安達千太郎弟房治郎に三女貞(同三二、九生、出身校同上)は滋賀縣人山中利右衛門に妹たま(同五、六生)は愛媛縣人仙波太郎に同みつ(同七、一

矢野仁一

三位勳三等、文學博士、京都帝國大學名譽教授、山形縣士族 君は山形縣士族矢野正英の長男にして明治五年五月を以て生れ同十二年家督を相続し前名熊吉を改む同十二年東京帝國大學文學部助教授に任ず同年滿洲國政府の招聘により教育通士館歴史與地教官として渡支大正元年歸朝京都帝國大學文科大學助教授となり同六年歐米に留學歸朝後同九年同大學教授に任ぜられ昭和七年之を辭す現に同大學名譽教授たり先は大正九年文學博士の學位を授けらる昭和五年再度歐洲各國並印度支那及支那(出張せり)は同二男幸(大一一、二二生)長女喜美子(同四、六生)あり養子周子(明三八、一一生、東京、高杉周一長女)は山形縣人井内金太郎長男清雄に嫁せり(同四二、七生、弟榮長女)は同縣人下條英四郎二男武に嫁し弟榮(同二〇、九生)同妻なか(同二〇、二二生、山形、種村忠四郎養子)は共に其子女を伴ひ分家せり(京都市左京區田中飛鳥井町四三電上三五三)

矢野庄太郎

從六位、衆議院議員(香川縣選出) 從六位、衆議院議員(香川縣選出) 父 又治 安政六、三生、現戶主 母 キ 慶應三、一〇生、香川、合田兵太郎長女 妻 久美 明三八、二生、香川、向井徳太郎長女 男 庄巳 大八、二生

矢野貫城

從四位勳三等、彦根高等商業學校 長、高知縣士族 君は高知縣士族矢野勢吉郎の長男にして明治十九年七月四日を以て生れ同三十八年家督を相続す同四十二年山口高等商業學校を卒業し同校助教授となり大正二年同校教授に任ぜられ同四年商業學及商業地理研究の爲米國に留學しコロンビア大學に於てマスター・オブ・アーツの學位を得同八年文部事務官兼文部省督學官となり同十年實業學務局第三課長を命ぜられ同十年同商業教育課長に補せられ現時彦根高等商業學校長たり昭和七年十月教育視察の爲歐米各國(出張を命ぜられ)同八年六月歸朝家族は尙三女壽美子(大一一、二生)四女眞喜子(同二二、一〇生)二男昭(昭三、一〇生)二弟俊雄(明二二、一〇生)は高知縣人矢野於鹿の養子となり妹巴(同二七、八生)は三重縣人森龍一に嫁せり(滋賀縣犬上郡彦根町電四七一)

矢野新吉

淺草自動車會社主、油商 東京府在籍 妻 せい 明二三、九生、東京、石原鐵之助四女 女 喜美 大二、八生

矢野眞

正五位勳三等、特命全權公使、智利國駐劄兼ボリワイア國駐劄 利國駐劄兼ボリワイア國駐劄 妻 かつ 明二七、一一生、子爵石井菊次郎二女 男 晴男 大一一、三生

矢野新吉

淺草自動車會社主、油商 東京府在籍 妻 せい 明二三、九生、東京、石原鐵之助四女 女 喜美 大二、八生

女 麗子 大八、三三
君は東京府人矢野彦兵衛の三男にして先代矢野ハナの甥なり明治三十二年家督を相続す油商を營み淺草自動車商會主たりA一七八二B四二(東京市向島區隅田町一ノ一五二七電墨田一四七五)

矢野 慎治
從四位勳三等、判事、宇都宮地方裁判所長、愛媛縣在籍
男 治 大六、一三
養子 忠志 明二九、一三、愛媛、矢野研造二男
妻 テイ 長女
婦 雪子 明四一、六三、養子忠志妻、長野小澤發治長女

矢野 成人
熊本縣多額納稅者、農業
妻 イツ 明一五、一〇、熊本、士、坂本元巳長女
男 寛 明三八、六三、早大政治科出身
女 チヨメ 明四四、六三、熊本縣立第一高女出身

矢野 静一
福岡縣多額納稅者、農業
妻 敏子 明二三、五三、愛媛、矢野肇二女
男 通秋 大五、一三
女 千秋 明四四、一〇、生

矢野 千恵子
大阪府在籍
君は大阪府人吉川光信の長女にして大正八年五月一日を以て生れ同十三年祖父矢野定七の家督を相続す家主たりA八五二(大阪府北區堂島上ノ一ノ九)

矢野 鐵夫
從五位、鐵道局技師、門司鐵道局船務管理掛長、東京府在籍
妻 榮 明三八、一三
長女 百 合 大一一、四三
二女 妙子 大一一、四三

矢野 道也
正四位勳二等、工學博士、内閣印刷局長、宮城縣在籍
君は宮城縣人矢野惟理の長男にして明治九年一月を以て生れ大正五年家督を相続す同三十三年東京帝國大學工學部應用化學科を卒業し同三十七年印刷局長に任ぜられ大正八年工學博士の學位を受く現時印刷局長にして研究所長兼任たり昭和九年歐米各國に出張す家族は尙二男武雄(大六、一三)六女時子(同一、一三)弟信(明二、一三)同妻なつ(同二九、六三)宮城、高橋銀七長女(其子女子あり)二女正子(同三六、一三)九段精華高女出身(其子女子あり)同府人山本正男に嫁し弟直(同一、一八)同妻ふみ(同一、二五)二女、宮城、佐伯永實(二女)は其子女を伴ひ分家せり(東京市澁野川區澁野川九七官舎小石川二二七〇)参照||藤澤越之輔(後藤城四郎)の項

矢野 宗幹
正五位勳四等、林業試験場技師、福岡縣在籍
君は福岡縣人矢野宗美の長男にして明治十六年三月十五日を以て生れ昭和三年家督を相続す明治四十二年東京帝國大學理學部動物學科を卒業し山林技師手林務技師試験場技師に任ぜられ現在に至る尙東京帝國大學農學部講師を兼ねる妹シヅメ(明二〇、一三)は妻の實家庄司家を相続せり(東京市日黒區下目黒三ノ六五七)

矢野 義弓
帝國生命保險、三生製菓各社取締役、東京府士族
君は故海軍大監矢野義徹の長男にして明治元年八月十三日を以て生れ大正六年家督を相続す明治二十六年東京高等商業學校を卒業し大日本人造肥料會社理事北海道電氣工業會社常務取締役横濱理立會社理事等を経て現時各會社の重役たり諸曲に趣味を有す家族は尙孫節子(明七、一〇)生、長男義男(長女)あり長女富美(明二、一〇)生、雙葉高女出身(其子女子あり)同府人山本正男に嫁し弟直(同一、一八)同妻ふみ(同一、二五)二女、宮城、佐伯永實(二女)は其子女を伴ひ分家せり(東京市澁野川區澁野川九七官舎小石川二二七〇)参照||藤澤越之輔(後藤城四郎)の項

矢野 美章
安治川鐵工所社長、戸畑鐵物社常務取締役、香川縣在籍
君は香川縣人矢野英憲の長男にして明治十三年一月を以て生れ昭和二年家督を相続す先是明治三十八年京都帝國大學理學部機械工學科を卒業し戸畑鐵物會社技師を経て常務取締役たり尙安治川鐵工所社長を兼ねる家族は尙弟爲章(明一九、七三)同妻フジエ(同二〇、八三)香川、杉村林治長女(弟英雄(同二七、一一

矢野 安治
藥品商
君は兵庫縣人矢野德治の四男にして明治五年六月十六日を以て生れ同二十八年家督を相続す藥品商を營む家族は尙孫賀英子(昭八、六三)二男利春長女あり二女菊枝(明三五、一一)生、妹とら(同一、一六)は各分家せりA五六一(神戸市湊東區橋通四ノ一八電元町二二五)

矢野 目孫一
正四位勳二等功三級、陸軍中將、東京府士族
君は大分縣士族矢野目小四郎の長男にして明治三年五月十一日を以て生れ同二十年家督を相続す凡に陸軍士官學校を卒業し同二十五年陸軍士官學校教習第十二師團參謀本部員大本營陸軍參謀本部第四軍參謀本部員官參謀本部員陸軍大學校教官兼陸軍技術審査部員兼海軍々令部參謀工兵第十四大隊第七師團參謀長陸地測量部長東京海軍審査司令官等に歴補し現時後備役たり

安川昇一 前三菱礦業(株)監査役
千葉縣在籍
妻 明二六、一〇生、東京、士、大野
女 明四、七、七生、

安川清三郎 福岡縣多額納税者、安川電機製作所
九州製鋼製鋼取締役、黒崎製鋼社長
妻 明一七、九生、東京、士、阿部圭
女 明四〇、四生、

安川第五郎 安川電機製作所常務取締役
福岡縣在籍
妻 明二五、九生、東京、鶴原定吉三女
女 明三、二生、自由學園在學

安川彦夫 大阪堂島米穀取引所常務理事
大阪府土族
妻 能達 安政三、一〇生、現戶主、大阪回生
女 ユリ 元治元、一〇生、東京、入江元助

安川雄之助 東京レヨン、日本製粉各務取締役
社長、東洋棉花、日本電氣、
妻 明一五、三、三、三、三、山、山口俊
女 明四、一、五、五、三、三、井物産社社員、

安川隆太 東京府在籍
妻 朝子 明一九、六、六、生、祖父新七郎二女、
女 明二〇、一〇生、

安國幸左衛門 地家主
兵庫縣在籍
妻 吉枝 明二一、一〇生、大阪、辻元松五郎
女 幸衛 明四、一、三、生

安田伊左衛門 正七位勳四等、陸軍騎兵大尉
岐阜縣在籍
妻 定子 明三、二、二、生、東京、士、三上
女 文子 明四、四、五、生

安田新 安田保善社(株)無限責任社員、横濱
正金銀行員、東京府在籍
妻 妙子 明四五、六生、伯爵林博太郎四女
女 文子 明四、五、五、生

安田嘉一 日本燃料株式社長
京都府在籍
妻 和子 明三二、三、三、生、現戶主
女 明三、三、三、三、三、生、高木源次郎

安田寛太 安田銀行(株)山形支店長
鳥取縣在籍
妻 ヒサ 明二四、五、五、生、北海道、大橋ヒサ
女 明四、〇、七、七、生

安田岩次郎 美術家、東京高等工芸學校講師
東京府在籍
妻 恭子 明三九、五、五、生、伯爵寺島宗從姉、
女 明三、三、三、三、三、生

安田 事あり妹夏(明二二、七、七)は岡山縣入宮原正雄に嫁せ
り(津山市田町八六三三三三)

安田 君は東京府人安田善三郎の二男にして同善次郎同善五
郎伊賀眞の甥なり明治三十四年七月を以て生れ昭和五
年家督を相続す先代善三郎の養子となる明治二十五年帝
國大學法科大學獨法科を卒業し居父を扶けて事業の發

安田 君は東京府人安田善三郎の二男にして明治二十一年
月五日を以て生れ慶安田家再興昭和四年東北帝國
大學經濟部を卒業し現時安田保善社(株)無限責任

安田 君は大阪府人安田幸右衛門の長男にして明治十四年十
一月を以て生れ大正十四年家督を相続す地家主たり其
に推されて神戸市會議員たりし事あり家族は向三男謙
(大五、六生)あり姉と(明八、二生)は兵庫縣人

安黒 一 枝 日高銀行、岡南商事、美作木村酒
造各務取締役、岡山製氷務監査役
父 盛人 弘化四、二、二、生、岡山、白神幸五郎
母 ちよう 嘉永二、一、一、生、岡山、安黒六郎右
妻 いし 明二〇、一、一、生、岡山、川口藤十郎

安黒 一 枝 日高銀行、岡南商事、美作木村酒
造各務取締役、岡山製氷務監査役
父 盛人 弘化四、二、二、生、岡山、白神幸五郎
母 ちよう 嘉永二、一、一、生、岡山、安黒六郎右
妻 いし 明二〇、一、一、生、岡山、川口藤十郎

十日を以て生れ同二十七年家督を相続す同三十三年第...

安田 久藏 東京銀行藤生支店長

安田 久藏 妻 明二八、一一生、青森、畑井又橋...

安田 久之助

君は岐阜縣人先代彦兵衛の長男にして明治九年一月を...

安田 楠雄

日本銀行調査局長

妻 幸子 明四二、一一生、男爵岩佐新六女...

安田 孝一郎

君は東京府人安田善助の長男にして明治三十二年十一...

安田 孝次郎

君は岐阜縣人安田初太郎の二男にして明治十八年一月...

安田 耕之助

從四位勳四等、京都府多額納税者

安田 庄吉

君は大正元年安田福松の二男にして明治二十三年九月...

安田 千太郎

君は大阪府人安田半兵衛の三男にして明治五年七月を...

安田 善衛

君は東京府人安田忠兵衛の長男にして明治九年二月を...

安田 善五郎

家し弟貞四郎(同二二、七生)同妻まさ(同一九、八生、...

安田 善五郎

君は東京府人安田善次郎の弟にして同善兵衛の從弟同...

君は京都府人安田善助の二男にして明治十六年七月を以て生れ同三十二年家督を相続す...

安田善四郎

君は京都府人安田善助の長男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の次男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の三男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田善次郎

君は京都府人安田善助の四男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の五男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田善助

君は京都府人安田善助の六男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の七男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の八男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田成隆

君は京都府人安田善助の九男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の十男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田善八郎

君は京都府人安田善助の十一男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の十二男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の十三男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田善彦

君は京都府人安田善助の十四男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の十五男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田善兵衛

君は京都府人安田善助の十六男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の十七男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の十八男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田善吉

君は京都府人安田善助の十九男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の二十男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田莊兵衛

君は京都府人安田善助の二十一男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の二十二男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の二十三男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田忠七

君は京都府人安田善助の二十四男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の二十五男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田彦太郎

君は京都府人安田善助の二十六男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の二十七男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の二十八男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田正義

君は京都府人安田善助の二十九男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の三十男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田正義

君は京都府人安田善助の三十一男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の三十二男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

君は京都府人安田善助の三十三男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田正義

君は京都府人安田善助の三十四男にして明治十年六月十八日を以て生れ同三十年家督を相続す...

安田 弘毅 明四一、八生
 男 香 明四四、二生
 女 淑 大六、六生

君は新潟縣土佐安田修藏の長男にして明治四年一月を以て生れ後家督を相続す同二十九年商船學校機務科を卒業し日本郵船會社に入り監督助役調度課助役横濱支店副長機務課長海務部長等を經て同社取締役になり大正十三年之を辭し爾來海軍關係の諸團體に力を注ぎ推されて大連商工會議所議員に擧げられ日滿倉庫會社取締役たりし事あり家族は尙四男又一(大四、九生)五男又二(生年月同上)弟三木(明一一、三三)長女敏(同三五、八生)は滋賀縣人北村市太郎に嫁せり(東京二六、七生)は大坂府人山中政吉四男政三に嫁せり(東京市淀橋區東大久保二ノ八電四谷一三六八)

以て生れ同二十一年家督を相続す現時洋品雜貨商を營み傍ら前記各會社の重役にして推されて高松商工會議所副會頭たり家族は尙男三(明三八、一二)生あり弟三郎(同二一、八)生あり妹三(同二四、三三)は各分家弟男起(同二〇、一)生あり妹三(同二〇、一)生あり七生、香川、同部ヤス(長女)及其子女を伴ひ分家し姉フミ(同四、三)生は香川縣人平尾喜太郎に同マツ(同九、一)生は同縣人淡久吉に嫁せり(同四〇、五)生は同縣人久保井信夫に嫁せり(高松市南新町電一一)

君は兵庫縣人安田三平の二男にして明治十二年五月を以て生れ大正三年家督を相続す現時前記會社の重役たり義に卓爾業會社々長たりし事あり家族は尙四男高(同五、九)生五男廣(同九、一)生あり妹しげ(明二一、七)生) 同夫信太郎(同二一、六)生、兵庫、安田次二男は其三女を伴ひ分家し姉三(同八、七)生)も亦分家せりA六五三(兵庫縣武庫郡精道村廣前田五七)

安田 松慶 安田松慶商店代表社員、佛具商
 東京府在籍
 妻 松之助 明三九、一、生、東京、土、水春雄雄
 男 君 明四二、九、生、長男松之助妻、東
 女 春子 明三三、三、生、三、生

安田 元保 農業
 岐阜縣在籍
 妻 博 明二二、三、三、生、大阪、原井龜藏庶子
 女 久子 明二二、三、三、生、大阪、原井龜藏庶子
 女 妙子 明二二、三、三、生、大阪、原井龜藏庶子

安田 安之助 桔梗屋、染吳服商
 京都府在籍
 妻 富美 明三九、一〇、生、京都、小野村録
 之助長女

安田 美代造 高松商工會議所副會頭、八栗登山
 鐵道取締役、讀電氣電氣監督
 妻 フ子 明一七、五、生、香川、織田三郎長女
 妻 ツ子 明三三、三、生、安田眞一長男
 妻 シ子 明四二、二、生

安田 安太 臺灣運送社社長、臺灣運送社
 常務取締役、兵庫縣在籍
 妻 龍一 明四一、一、生、長男龍三郎長男
 孫 静子 明四四、一〇、生、長男龍三郎長女
 孫 歌子 明三三、一〇、生、長男龍三郎長女

安田 與一 伊勢丹衣取取締役、安田本店、牛島
 刺業、東京府在籍
 妻 善一 明二六、七、生、東京、大石彌太郎
 女 善子 明三三、三、生

安田 良吉 東京銀行員
 父 善兵衛 明八一〇、生、現戸主
 君は東京府人安田善兵衛の二男にして明治四十二年七月二十九日を以て生れ昭和八年明治大學經濟學部を卒業し現に安田銀行員にして資産家たりA一四七五(東京市杉並區和田本町八〇三電四谷四六六)

安田 和重 滿洲興業取締役、安田貯蓄銀行
 妻 桂 明三二、九、生、養父善衛二女
 男 謙一 明一四、九、生

安富 彌太郎 正五位勳五等、檢事、高山區裁判
 所檢事兼支部檢事、佐賀縣在籍
 父 巳之吉 弘化四、一、生、現戸主
 母 カツ 慶應元、五、生、佐賀、太田尾登吉長女

安田 柳子 安田保善社(無責任社員)
 東京府在籍
 君は安田同族會會長安田善次郎の二女にして同善五郎の姪同一の妹明治四十五年五月七日を以て生れ大正十二年叔父善雄の死跡を相続す現に同族の水高等女學校を卒業し安田保善社無責任社員たりA四九五六(東京市麹町區平河町六ノ一二電九段一五七五)

安田 直夫 正五位勳四等、臺灣總督府文教局
 長、福岡縣在籍
 妻 一 明三三、一、生、現戸主
 女 雅子 明四三、一、生
 女 恭子 明四五、三、生

安野 郁太郎 福知山銀行取締役、醫師
 京都府在籍
 妻 吉郎 明二九、七、生、醫師
 男 千代子 明三七、三、生、長男吉郎妻、京都
 女 千代子 明四一、九、生

安田 祿造 從四位勳三等、東京高等工藝學校
 長、東京府在籍
 妻 鶴 明四四、一〇、生、慶大出身
 女 政子 明四二、一〇、生、慶大出身
 女 仁子 明四一、一〇、生、フレンド女學校出身

安武 直夫 正五位勳四等、臺灣總督府文教局
 長、福岡縣在籍
 妻 一 明三三、一、生、現戸主
 女 雅子 明四三、一、生
 女 恭子 明四五、三、生

安田 三郎 日本燃料株式會社主任監査役、糖業商
 京都府在籍
 妻 龍三郎 明七一、一、生、京都、河原林直七妹
 男 千代 明一六、九、生、長男龍三郎妻、京
 女 千代 明一六、九、生、長男龍三郎妻、京

安野 郁太郎 福知山銀行取締役、醫師
 京都府在籍
 妻 吉郎 明二九、七、生、醫師
 男 千代子 明三七、三、生、長男吉郎妻、京都
 女 千代子 明四一、九、生

安野 郁太郎 福知山銀行取締役、醫師
 京都府在籍
 妻 吉郎 明二九、七、生、醫師
 男 千代子 明三七、三、生、長男吉郎妻、京都
 女 千代子 明四一、九、生

安田 三郎 日本燃料株式會社主任監査役、糖業商
 京都府在籍
 妻 龍三郎 明七一、一、生、京都、河原林直七妹
 男 千代 明一六、九、生、長男龍三郎妻、京
 女 千代 明一六、九、生、長男龍三郎妻、京

安野 郁太郎 福知山銀行取締役、醫師
 京都府在籍
 妻 吉郎 明二九、七、生、醫師
 男 千代子 明三七、三、生、長男吉郎妻、京都
 女 千代子 明四一、九、生

安野 郁太郎 福知山銀行取締役、醫師
 京都府在籍
 妻 吉郎 明二九、七、生、醫師
 男 千代子 明三七、三、生、長男吉郎妻、京都
 女 千代子 明四一、九、生

君は京都府人安野治の長男にして慶應二年四月を以て生れ明治三十八年家督を相続す...

安野傳治郎

大阪三品取引所取引員

妻 美母 せい 明八、一生、兵庫、光山道之助妹...

君は京都府人廣瀬基助の三男にして明治十九年六月十一日を以て生れ...

安野守一

三和銀行藤道支店支店長

妻 澄江 大八、八生

君は埼玉縣の豪農安野大助の二男にして明治十八年四月を以て生れ...

安野謙

安野毛織紡績社社長

妻 次郎 明四〇、九生

安延郁太郎

從四位勳三等、内閣印刷局技師

君は岡山縣人安延竹二の長男にして明治八年四月を以て生れ...

安場保健

從四位男爵、貴族院議員、芝浦運

君は岡山縣人安延竹二の長男にして明治八年四月を以て生れ...

安原富三郎

黒田藥品商會取締役、テマリ商

君は大阪府人安原新蔵の三男にして明治九年六月を以て生れ...

安廣伴一郎

正三位勳一等、元南滿洲鐵道總

君は福岡縣人安廣一郎の長男にして安政三年三月を以て生れ...

安福武之助

酒造業、兵庫縣多額納稅者

君は兵庫縣人先代武之助の長男にして明治十五年十二月を以て生れ...

安見和三郎

金絲商

君は京都府土族安見滿野の養子にして慶應三年七月二十日を以て生れ...

安原善次郎

安原商店代表取締役、縮編商

君は岡山縣人安原地平の二男にして明治二十年一月を以て生れ...

安原善太郎

滋賀縣多額納稅者、農業

先代善蔵は高島縮編製造生絲販賣及金織商を営み縣下多額納稅者たり...

分家セリA四四三B一五八(京都市上京區油小路通橋木町下ル米屋町二八一電上一九四〇)

安光 元一 正四位勳四等、日本放送協會理事 山口縣在籍

安満 欽一 從三位勳一等功五級、陸軍中將 東京府在籍

安村 介一 從四位勳三等、海軍少將 東京府在籍

安室省 一郎 安室組、土木建築請負業 東京府在籍

安元 詠 礪 沖繩縣多額納稅者、金融業 沖繩縣在籍

安本利之助 帝皇、醬油醸造業 京都府在籍

保井 淳二 從五位、滋賀縣書記官、警察部長 滋賀縣在籍

保井 虎彦 金銀業、家主 東京府在籍

保田 次郎 元日本興業銀行副總裁 岡山縣在籍

保田 宗治郎 正七位勳六等、日本産業(船務)取締役 兵庫縣在籍

保原 元二 正五位勳四等、北海道建設技師、札幌第二治水事務所長、宮城縣在籍

保井 萬次郎 森永製菓第一販賣部部長、森永製菓品販賣部部長、小島印刷、硫磺品販賣部部長、東京府在籍

保田 七兵衛 廣島縣多額納稅者、醬油醸造業 廣島縣在籍

保井 淳二 從五位、滋賀縣書記官、警察部長 滋賀縣在籍

保井 虎彦 金銀業、家主 東京府在籍

保田 次郎 元日本興業銀行副總裁 岡山縣在籍

保田 宗治郎 正七位勳六等、日本産業(船務)取締役 兵庫縣在籍

保原 元二 正五位勳四等、北海道建設技師、札幌第二治水事務所長、宮城縣在籍

保井 萬次郎 森永製菓第一販賣部部長、森永製菓品販賣部部長、小島印刷、硫磺品販賣部部長、東京府在籍

保田 七兵衛 廣島縣多額納稅者、醬油醸造業 廣島縣在籍

ヤ之部 保(井、田、原) 梁(井)

(※印は姻族関係)

ヤ四一

安光 元一 正四位勳四等、日本放送協會理事 山口縣在籍

安満 欽一 從三位勳一等功五級、陸軍中將 東京府在籍

安村 介一 從四位勳三等、海軍少將 東京府在籍

安室省 一郎 安室組、土木建築請負業 東京府在籍

安元 詠 礪 沖繩縣多額納稅者、金融業 沖繩縣在籍

安本利之助 帝皇、醬油醸造業 京都府在籍

保井 淳二 從五位、滋賀縣書記官、警察部長 滋賀縣在籍

保井 虎彦 金銀業、家主 東京府在籍

保田 次郎 元日本興業銀行副總裁 岡山縣在籍

保田 宗治郎 正七位勳六等、日本産業(船務)取締役 兵庫縣在籍

保原 元二 正五位勳四等、北海道建設技師、札幌第二治水事務所長、宮城縣在籍

保井 萬次郎 森永製菓第一販賣部部長、森永製菓品販賣部部長、小島印刷、硫磺品販賣部部長、東京府在籍

保田 七兵衛 廣島縣多額納稅者、醬油醸造業 廣島縣在籍

保井 淳二 從五位、滋賀縣書記官、警察部長 滋賀縣在籍

保井 虎彦 金銀業、家主 東京府在籍

保田 次郎 元日本興業銀行副總裁 岡山縣在籍

保田 宗治郎 正七位勳六等、日本産業(船務)取締役 兵庫縣在籍

保原 元二 正五位勳四等、北海道建設技師、札幌第二治水事務所長、宮城縣在籍

保井 萬次郎 森永製菓第一販賣部部長、森永製菓品販賣部部長、小島印刷、硫磺品販賣部部長、東京府在籍

保田 七兵衛 廣島縣多額納稅者、醬油醸造業 廣島縣在籍

保井 淳二 從五位、滋賀縣書記官、警察部長 滋賀縣在籍

ヤ之部 保(井、田、原) 梁(井)

(※印は姻族関係)

ヤ四一

君は神奈川縣人... 正三位勳二等、早稻田大學教授

柳川 勝二

東京府土族... 東京府地方裁判所判事

君は東京府土族... 東京府地方裁判所判事

君は東京府土族... 東京府地方裁判所判事

柳川 精四郎

若松市會... 日本農工務部事務次長

君は新潟縣人... 新潟縣農工部事務次長

君は現時若松市會... 若松市會議長

柳川 宗左衛門

英城縣多額納稅者... 英城縣信用組合會理事

君は英城縣人... 英城縣信用組合會理事

君は英城縣人... 英城縣信用組合會理事

柳川 平助

正四位勳二等功五級... 陸軍中將

君は長崎縣人... 陸軍中將

任じ昭和六年... 陸軍中將

柳川 昌勝

從五位勳六等... 東京府在籍

君は前大審院... 東京府在籍

君は前大審院... 東京府在籍

柳澤 祐冬

從四位勳三等... 海軍少將

君は山口縣... 海軍少將

三、六生(三男... 東京市本郷區丸山新町三一)

柳澤 清春... 新川村長

君は千葉縣人... 千葉縣農工部事務次長

君は長野縣人... 長野縣農工部事務次長

君は長野縣人... 長野縣農工部事務次長

君は長野縣人... 長野縣農工部事務次長

君は長野縣人... 長野縣農工部事務次長

君は長野縣人... 長野縣農工部事務次長

君は長野縣人... 長野縣農工部事務次長

君は長野縣人... 長野縣農工部事務次長

君は長野縣人... 長野縣農工部事務次長

君は長野縣人... 長野縣農工部事務次長

柳原喜兵衛

正七位勳七等、大阪府北久太郎町... 柳原家は舊くより大阪に住し河内屋と稱して代々書籍...

妻 喜 明三、四生、法學士... 男 順三、明四、九生、文學士

柳原吉兵衛

堺商工會議所顧問、堺工業協會... 大和川染工所社長、染色業

妻 セイ 明一、二生、大阪、高山保次... 男 豊三郎、明一、二生

柳原三郎

伊藤製糖製造場、福徳曹、國光製... 大阪府在籍

妻 イト 明二、三、九生、大阪、山本東作姉... 男 良平、大五、一〇生

柳原茂

正五位勳五等、朝鮮總督府檢察... 全州地方法院檢察事務官

妻 かね 明一、三、七生、茨城、栗原深造養子... 男 啓 大四、一〇生

柳原富五郎

科學器械製作業... 京都府在籍

妻 はな 明一、三、二生、京都、柳本茂助長... 男 茂 昭七、四生

柳本平兵衛

京都府在籍... 京都府人北尾喜三郎の二男にして明治八年二月十一日...

妻 ふさ 明四、二、八生、京都、澤渡源兵衛... 男 茂 昭七、四生

柳谷卯三郎

正六位勳六等、産業調査協合理事... 長崎縣士族

妻 武夫 明三、七、七生、文學士... 男 武夫 明三、七、七生、文學士

柳原義光

從四位勳三等、伯爵、貴族院議員... 慶應義塾、日本教育生命保險、東...

妻 初子 安政元、二生、侯爵伊達宗義大尉... 男 初子 安政元、二生、侯爵伊達宗義大尉

柳原博光

從四位勳三等、海軍機關大佐、海... 軍省軍需局長第二課長、東京府華族

妻 義子 明三、二、二生、養父義光長女、學... 女 式子 大八、二生

柳原庄左衛門

平庄、賣藥製造業、藥劑師... 大阪府在籍

妻 貞 明一、五、八生、養父庄左衛門長女... 男 貞 明四、四、五生、商學士

柳原常次郎

大阪府在籍... 大阪府人加藤三郎の二男にして明治八年三月十二日...

妻 カネ 明一、二、二生、奈良、船井男太郎姉... 男 常一 明三、六、一〇生

柳原三郎

正五位勳五等、朝鮮總督府檢察... 全州地方法院檢察事務官

妻 かね 明一、三、七生、茨城、栗原深造養子... 男 啓 大四、一〇生

柳原豐三郎

堺商工會議所顧問、大和川染工... 所無責任社員、大阪府在籍

妻 トミ 明一、七、一〇生、奈良、平山登治妹... 男 悦郎 大五、六生

柳原吉兵衛

大阪府人柳原吉平の長男にして安政五年十月を以... て生れ明治十一年家を相續す染色業を營み大和川染...

妻 敏子 明四、二、二生、七男謙三妻、大阪... 男 謙三 明三、四、一〇生

柳原博光

從四位勳三等、海軍機關大佐、海... 軍省軍需局長第二課長、東京府華族

妻 義子 明三、二、二生、養父義光長女、學... 女 式子 大八、二生

柳本富五郎

科學器械製作業... 京都府在籍

妻 はな 明一、三、二生、京都、柳本茂助長... 男 茂 昭七、四生

柳本平兵衛

京都府在籍... 京都府人北尾喜三郎の二男にして明治八年二月十一日...

妻 ふさ 明四、二、八生、京都、澤渡源兵衛... 男 茂 昭七、四生

柳谷卯三郎

正六位勳六等、産業調査協合理事... 長崎縣士族

妻 武夫 明三、七、七生、文學士... 男 武夫 明三、七、七生、文學士

柳原義光

從四位勳三等、伯爵、貴族院議員... 慶應義塾、日本教育生命保險、東...

妻 初子 安政元、二生、侯爵伊達宗義大尉... 男 初子 安政元、二生、侯爵伊達宗義大尉

柳原博光

從四位勳三等、海軍機關大佐、海... 軍省軍需局長第二課長、東京府華族

妻 義子 明三、二、二生、養父義光長女、學... 女 式子 大八、二生

柳谷巳之吉

安田ビルディング、安田生命保険各取締役、安田保善堂理事
長崎縣士族
男 俊郎 明二、八生、東京、井上護三女
女 千枝 大八、七生

楊井 孫八

山口縣士族
安政三、一一生、山口、大多和茂
母 カ 助長女
妻 ナミ 明一、九、七生、山口、梨羽親
女 清太郎 大六、一、生
男 栗子 大六、一、生

藪 篤

從三位勳三等、子爵、貴族院議員
舊公卿家
妻 篤子 明一、三、〇生、公爵三條公輝姉
跡見女学校出身

藪 重雄

日本アルミニウム製造所専務取締役、京府在籍
元治元、一一生、大阪、中西芳居
妻 清 明一、九、四生、養父清右衛門長女
男 一 明四、三、二生
女 綾 大六、一、〇生

藪 秀二

藪商事社長
妻 キヲ 明一、五、九生、養父鶴祐二女
男 秀一郎 明四、〇、一、二生
男 俊雄 明四、五、五生

藪 内政七

大阪府在籍
妻 よね 嘉永六、七生、滋賀、和田善四郎
母 七 明一、七、九生、亡長男長藏妻、奈良、西島伊一郎四女
孫 正信 明三、八、五生、亡長男長藏長男
孫 千代 明四、二、一、〇生、亡長男長藏長女
孫 好 明三、一、一、〇生、亡長男長藏長女

藪 越増太郎

材木商、土木建築請負業
北海道在籍
妻 マン 明二、〇、八生、北海道、飯塚モト
男 甲 越 明四、三、三、日本鋼材會社員、早大理工學部建築科出身
男 甲 平 大三年生、早大在學
女 梅子 大七、九生

藪 田勘兵衛

五十一銀行常務取締役、江州鎌倉土地地籍調査役、滋賀縣在籍
妻 サク 明二、六、七生、大阪、山本東作姉
男 東三 大五、六生
女 壽子 大八、三、四生

藪 田貞治郎

正五位勳四等、農學博士、東京帝國大學教授、滋賀縣在籍
妻 安子 明三五、一、生、大阪、松井吉郎妹
男 洋一 大四、一、生

藪 内富三郎

大阪府在籍
妻 伊市 明三五、二、生、長男伊市妻、大阪關元治郎妹
男 コウ 明三五、二、生、長男伊市妻、大阪關元治郎妹

山井 兼武

從四位、子爵
妻 文子 明三七、一、生、伯母香川櫻男姉
母 田鶴子 明長女

山井 三七

從五位、醫學博士、醫師
妻 加壽 安政六、一〇生、福井、士、齋藤恒二女
母 明二、四、五、五、生、靜岡、士、三浦理明四、五、四生
男 通 弘 大八、八生
男 徹 明四、五、四生

山井 兼武

從四位、子爵
妻 文子 明三七、一、生、伯母香川櫻男姉
母 田鶴子 明長女

山井 三七

從五位、醫學博士、醫師
妻 加壽 安政六、一〇生、福井、士、齋藤恒二女
母 明二、四、五、五、生、靜岡、士、三浦理明四、五、四生
男 通 弘 大八、八生
男 徹 明四、五、四生

藤外科教室に入り大いに學び同大學助手を経て大正元年南滿洲鐵道會社に轉じ長春醫院長南滿醫學堂教授等に歴任し其間歐米に留學すること二年に及ぶ同十四年長春醫院大學講師となり昭和二年鐵道醫に任じ名古屋鐵道病院副院長兼外科部長たりし時現地に在り大正十五年醫學博士の學位を受く家族は尙四男三女(大六、一、二、三)五男秀典(同一二、二)六男和典(同一二、八)兄弟計九、一〇(現男)同妻まつ(同一二、四)同妻富子あり(同一四、三)弟浩(同一二、四、八)は山口縣人石毛省三に嫁せり(東京市世田谷區三宿町一、一)

山井 浩 從五位勳五等、検事、東京控訴院 檢事、福井縣在籍

山井 富子 東京音樂學校器樂科出身

山内 顯 倉敷織機、倉敷紡績各務取締役 役、神奈川縣在籍

山内 伊平 朝鮮送電、北陸電力、三陸水電、鳥田製作所各務取締役、東京府在籍

山内 伊平 君は東京府土族山内嘉貞の二男にして明治二十五年二月を以て生れ大正十一年先代兄嘉徳の跡を承け家督を相續す先是同二年東京農大學を卒業し直に帝國製糖會社に入り後大に手腕を發揮して業績の向上を計り同社の進展に力を致し大信銀行に轉じ現時同行取締役たり家族は尙長女節子(昭五、一)あり(東京市澁橋區柏木一、一六)

山内 確三郎 正四位勳三等、法學博士、日本大學教授、辯護士、東京府在籍

山内 兼太郎 山内商店 無限責任社員

山内 喜之助 從四位勳五等、内務技師、神戸土木出張所長、福井縣在籍

山内 謙吉 播磨電氣鐵道監査役

山内 宇三郎 京都府多額納税者、京都取引所取引員、京都府在籍

山内 卯之助 神戸海上運送火災保險監査役、大阪株式取引所取引員、大阪府在籍

山内 榮次郎 松陽汽船取締役

山内 榮吉 熊本縣多額納税者、熊本無盡、日本カネラ各務取締役、熊本電氣鐵道監査役、金融業

山内 榮次郎 大阪府在籍

山内 嘉郎 大信銀行取締役

山内 金三郎 主婦之女社監査役

山内 謙吉 播磨電氣鐵道監査役

山内 謙吉 兵庫縣土族

山内 謙吉 長久二、一、生、兵庫、芳賀良輔

山内 榮吉 熊本縣多額納税者、熊本無盡、日本カネラ各務取締役、熊本電氣鐵道監査役、金融業

山内 榮次郎 大阪府在籍

山内 榮吉 熊本縣在籍

山内 榮次郎 大阪府在籍

山内 榮吉 熊本縣在籍

山内 榮次郎 大阪府在籍

山内 榮吉 熊本縣在籍

山内 榮次郎 大阪府在籍

山内 榮吉 熊本縣在籍

山内 榮次郎 大阪府在籍

山内 謙吉 播磨電氣鐵道監査役

山内 謙吉 兵庫縣土族

山内 謙吉 長久二、一、生、兵庫、芳賀良輔

山内 謙吉 長久二、一、生、兵庫、芳賀良輔

山内 謙吉 長久二、一、生、兵庫、芳賀良輔

山内 謙吉 長久二、一、生、兵庫、芳賀良輔

山内 謙吉 長久二、一、生、兵庫、芳賀良輔

山内 謙吉 長久二、一、生、兵庫、芳賀良輔

君は愛知縣人山内茂右衛門の四男にして明治二十六年七月一日を以て生る大正七年帝國大學法政科大學政

山内良太郎

品川土地廳取締役、タイリ商 東京府在籍 安政六、一、生、東京、須藤直妹

山内亮

從七位、上長苗代村長、五戸電氣鐵道取締役、帝國馬馬協會理事

山浦市三

從七位、高崎市長 安政四、七、生 安政二、一、生、長野、池田廣太

山浦護

愛知銀行常務取締役 佐賀縣在籍 文久二、五、生、現戶主

山尾三郎

正四位勳五等、子爵、武部官、澄宮御用掛、東京府華族 庶子 信一 大一一、二、生、生母、東京、岡田せき

山岡嘉兵衛

東京府在籍 資産家 妻 かの 明一〇、三、生、養父嘉兵衛二女

山岡勝三郎

金礦業 大阪府在籍

山岡重厚

正五位勳三等功五級、陸軍少將、陸軍省整備局長兼軍事参議院幹事 妻 ちか 明一三、九、生、兵庫、吉積廣吉妹

山岡祐章

正五位勳四等、鐵道書記官、經理 妻 ノブ 明一、二、生、工學博士、武田五一妹

山岡恒

廣島縣多額納税者、備前銀行取締役

山川百太郎

参照川會通達... 藤本ビルブローカー... 妻 健一郎 明四、一二生

山川 洵

正四位勳三等、男爵、農學博士... 妻 貞吉 明二、一〇生

山川庸之助

参照川會通達... 宇部セメント製造取締役... 妻 健一郎 明一、三〇生

山木甚右衛門

實商... 妻 喜一郎 明三、一〇生

山岸 喜助

山岸商會、國產瓦斯器具陳列所長... 妻 喜一郎 明三、一〇生

山岸 喜久之助

明二七、八生... 妻 喜一郎 明三、一〇生

山岸 喜之助

明三二、一〇生... 妻 喜一郎 明三、一〇生

山岸 吉五郎

浴場主... 妻 喜一郎 明四、一〇生

山岸慶之助

從七位勳六等、横濱商工會議所... 妻 成一郎 明四、一二生

山岸 光宣

文學博士、早稲田大學教授... 妻 隆一郎 明一、三〇生

山岸 治朗

山岸製材専務取締役... 妻 隆一郎 明一、三〇生

山岸 宗次

愛知縣多額納税者... 妻 隆一郎 明一、三〇生

山岸 靖一

荏原製作所専務取締役... 妻 隆一郎 明一、三〇生

山岸 輝雄

從四位勳三等、鐵道局長... 妻 隆一郎 明一、三〇生

山岸 藤三郎

山岸製材新代表社員... 妻 隆一郎 明一、三〇生

山岸 安二

正五位勳五等、内務技師... 妻 隆一郎 明一、三〇生

ヤ之部 山(岸、際、口)

(※印は姻族関係)

山岸 良雄 山岸商會社長、新潟瓦斯、長岡天竺瓦斯、東京清浦工業各社取締

山際 平藏 大阪府在籍 母、シケ、明二、四生、大阪、白井安兵衛長女

山口 伊之介 兵庫縣多額納税者、製米業 妻、とく、慶應二、九生、兵庫、岸本源之助姉

山口 榮吉 神奈川縣多額納税者、横濱取引所取引員、神奈川縣在籍

山口 鏡 正四位勳二等功四級、海軍中將 妻、やほ、明一、一、中出哲三女

山口 榮吉 妻、しん、明二、五、九生、三重、高林安吉三女

山口 鏡 妻、桂二、明四〇、三、生、國際汽船會社汽船機關士、東京高等商學校出身

山口 鏡之助 正三位勳一等、理學博士、宮中顧問官、東京府在籍

山口 鏡之助 妻、進六、明三八、七、生、陸軍航空兵中尉

山口 鏡之助 妻、進六、明三八、七、生、陸軍航空兵中尉

山口 一良 神戸農務局取締役、青果問屋業 妻、つま、明二、五、五、生、岡山、大前豊藏三女

山口 市之助 大府府在籍 妻、ゆくえ、明二、七、一、生、兵庫、西宮榮一三

山口 市郎 山形、味野製油商 妻、文枝、大、二、一、生、徳島、神田彌三郎妹

山口 市郎 妻、文枝、大、二、一、生、徳島、神田彌三郎妹

山口 衛 東京府士族 妻、イチ、明三、三、五、生、新潟、長谷川照長女

山口 嘉三 山口炭礦取締役、上總屋、石炭商、埼玉縣在籍

山口 嘉三 妻、ます、明一、一、五、生、埼玉、畑淵甲子司

山口 衛 妻、イチ、明三、三、五、生、新潟、長谷川照長女

山口 嘉三 妻、ます、明一、一、五、生、埼玉、畑淵甲子司

山口 衛 妻、イチ、明三、三、五、生、新潟、長谷川照長女

山口 岩次郎 京都府在籍 妻、明二、三、一、生、東京、山口徳四郎二男

山口 宇多 東京府在籍 妻、敬次郎、大、三、一、生、東京、山口徳四郎二男

山口 英九郎 松原鐵道、銚子鐵道各社社長、百十七銀行、伊那電氣鐵道、東北電氣鐵道各社取締役

山口 英九郎 妻、賢、明一、一、二、生、東京府士族

山口 英九郎 妻、賢、明一、一、二、生、東京府士族

山口 覺二 阪神電氣鐵道取締役、六甲越有馬鐵道、那珂津鐵道各社取締役、大阪乗合自動車取締役

山口 覺二 妻、久、明二、一、一、生、千葉、原田茂姉

山口 覺二 妻、久、明二、一、一、生、千葉、原田茂姉

山口 固 横濱正金銀行秘書、電信信長 妻、たい、明三、〇、一、生、舊唐津藩士友當典

山口 固 妻、たい、明三、〇、一、生、舊唐津藩士友當典

ヤ之部 山(口)

(※印は姻族関係)

山口 榮吉 神奈川縣多額納税者、横濱取引所取引員、神奈川縣在籍

山口 鏡 正四位勳二等功四級、海軍中將 妻、やほ、明一、一、中出哲三女

山口 榮吉 妻、しん、明二、五、九生、三重、高林安吉三女

山口 鏡 妻、桂二、明四〇、三、生、國際汽船會社汽船機關士、東京高等商學校出身

山口 鏡之助 正三位勳一等、理學博士、宮中顧問官、東京府在籍

山口 鏡之助 妻、進六、明三八、七、生、陸軍航空兵中尉

山口 鏡之助 妻、進六、明三八、七、生、陸軍航空兵中尉

山口 鏡之助 妻、進六、明三八、七、生、陸軍航空兵中尉

山口 鏡之助 妻、進六、明三八、七、生、陸軍航空兵中尉

山口 鏡之助 妻、進六、明三八、七、生、陸軍航空兵中尉

山口 衛 東京府士族 妻、イチ、明三、三、五、生、新潟、長谷川照長女

山口 嘉三 山口炭礦取締役、上總屋、石炭商、埼玉縣在籍

山口 衛 妻、イチ、明三、三、五、生、新潟、長谷川照長女

山口 嘉三 妻、ます、明一、一、五、生、埼玉、畑淵甲子司

山口 衛 妻、イチ、明三、三、五、生、新潟、長谷川照長女

山口 嘉三 妻、ます、明一、一、五、生、埼玉、畑淵甲子司

山口 衛 妻、イチ、明三、三、五、生、新潟、長谷川照長女

山口 嘉三 妻、ます、明一、一、五、生、埼玉、畑淵甲子司

山口 衛 妻、イチ、明三、三、五、生、新潟、長谷川照長女

山口 嘉三 妻、ます、明一、一、五、生、埼玉、畑淵甲子司

山口 岩次郎 京都府在籍 妻、明二、三、一、生、東京、山口徳四郎二男

山口 宇多 東京府在籍 妻、敬次郎、大、三、一、生、東京、山口徳四郎二男

山口 英九郎 松原鐵道、銚子鐵道各社社長、百十七銀行、伊那電氣鐵道、東北電氣鐵道各社取締役

山口 英九郎 妻、賢、明一、一、二、生、東京府士族

山口 英九郎 妻、賢、明一、一、二、生、東京府士族

山口 覺二 阪神電氣鐵道取締役、六甲越有馬鐵道、那珂津鐵道各社取締役、大阪乗合自動車取締役

山口 覺二 妻、久、明二、一、一、生、千葉、原田茂姉

山口 覺二 妻、久、明二、一、一、生、千葉、原田茂姉

山口 固 横濱正金銀行秘書、電信信長 妻、たい、明三、〇、一、生、舊唐津藩士友當典

山口 固 妻、たい、明三、〇、一、生、舊唐津藩士友當典

ヤ之部 山(口)

山口千代吉

静岡市會副議長、静岡商工會議所
議員、東洋肥料取締役、糖穀乾
物商並製糖業、静岡縣在籍

妻 幸 明三〇、四生、静岡、士、近藤弘二女
男 雄 明三三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口忠一郎

山口同族を無限責任社員、西陣織
物商、京都府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口忠五郎

西陣織、業、院議員(静岡縣選出)、
西陣織村長、藤枝合同運送社長、
遠州銀行、志太酒造各取締役、
土木請負業、静岡縣在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口哲次郎

東京山崎銀行清算人
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口德三郎

五位勳四等、女子學堂教授兼
學生監、愛知縣在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口徳四郎

地主
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口長南

正五位勳三等、海軍少將、横須賀
警備隊司令官、鹿兒島縣士族
山口長女

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口富吉

白米商
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口富次郎

東京株式取引所取引員
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口篤三郎

三越本店呉服販賣係長兼仕入係
長、東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口恒太郎

タクシー自動車社長、ホワイト
ダック、九州土地、九州博覧會
取組役、大船工業、九州商工
各監督、朝鮮京南鐵道、九州
各監督在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口貞亮

山口炭礦常務取締役
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口經治

安田ビルディング支配人
岡山縣在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口豊三郎

長崎株式取引所理事、大正興
業信託事務取締役、長崎縣士族
彼電氣各務監督、長崎縣士族

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口虎太郎

横濱ゴム社社長、精衛衛生組合長、
家主、大阪府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

ヤ之部 山(口)

山口千代吉

静岡市會副議長、静岡商工會議所
議員、東洋肥料取締役、糖穀乾
物商並製糖業、静岡縣在籍

妻 幸 明三〇、四生、静岡、士、近藤弘二女
男 雄 明三三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口忠一郎

山口同族を無限責任社員、西陣織
物商、京都府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口忠五郎

西陣織、業、院議員(静岡縣選出)、
西陣織村長、藤枝合同運送社長、
遠州銀行、志太酒造各取締役、
土木請負業、静岡縣在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口哲次郎

東京山崎銀行清算人
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口德三郎

五位勳四等、女子學堂教授兼
學生監、愛知縣在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口徳四郎

地主
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口長南

正五位勳三等、海軍少將、横須賀
警備隊司令官、鹿兒島縣士族
山口長女

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口富吉

白米商
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口富次郎

東京株式取引所取引員
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口篤三郎

三越本店呉服販賣係長兼仕入係
長、東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口恒太郎

タクシー自動車社長、ホワイト
ダック、九州土地、九州博覧會
取組役、大船工業、九州商工
各監督、朝鮮京南鐵道、九州
各監督在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口貞亮

山口炭礦常務取締役
東京府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口經治

安田ビルディング支配人
岡山縣在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口豊三郎

長崎株式取引所理事、大正興
業信託事務取締役、長崎縣士族
彼電氣各務監督、長崎縣士族

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

山口虎太郎

横濱ゴム社社長、精衛衛生組合長、
家主、大阪府在籍

妻 幸 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 雄 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡
男 吉 明四三、一、生、長男雄吉妻、静岡

ヤ之部 山(口)

(※印は姻族關係)

山口 尚章 正五位勳五等、沖繩縣書記官、内務省長、長崎縣知事、
 君は大阪府人山口馬吉の長男にして元治元年八月を以て生れ慶應三年家督を相続し後前名虎吉を改む家主にして横綱ゴム會社社長たる傍ら推されて精華衛生組合長たり義に大阪府會議員に擧げられし事あり家族は尙孫芳治(六七、一〇生、養子奈良吉四男)あり長女ひろ(明一六、一〇生)は大阪府人木下幸三郎に庶子直枝(同三五、一〇生、生母、大阪、石村ハツ)は大阪府人山口漫吉に各養子となれり(大阪府南區坂町二電南五三)

山口 直吉 伊丹屋、呉服商
 君は長崎縣士族富永新作の長男にして明治十九年五月六日を以て生れ先代シカの養子となり大正三年家督を相続す明治四十四年早稲田大學政治科を卒業し大正元年文官高等試験に合格す同年愛媛縣廳となり留來同縣文字和部長同縣理事官福島佐賀各縣理事官岩手縣警察部長島取滋賀各縣内務部長島取滋賀各縣長等を経て現時沖繩縣書記官にして内務省長たり家族は尙二男前昌(四四、四生)三男勇摩(同二二、二生)二女ヤスエ(同二五、二生)あり(那覇市天妃町二、四電一四三)

山口 登 京都府立醫科大學助産、地主
 君は京都府人山口虎次郎の二男にして明治四十一年十月一日を以て生れ昭和三年家督を相続す地主にして京都府立醫科大學に勤務す家族は尙弟治(四五、三生)妹壽美子(同四、二生)ありA一五八(京都市下京區西河原松原上電下三四五四)

山口 はつ 山口藥局、藥種商並撞球業
 君は京都府人山口漫吉の長女にして明治三十八年二月一日を以て生る山口藥局と稱して藥種商を営み傍ら撞球場を經營す家族は尙長女房子(大一一、六生)二女静子(同二五、一〇生)三女節子(昭七、一〇生)ありA四〇九(京都市品川區大井寺下町一四三三電大森一四〇八)

山口 八左右 神戸商工會議所常務議員、鐘淵紡績
 君は舊姫路藩士山口善三郎の長男にして明治元年十月を以て生れ同三十五年家督を相続す同二十一年慶應義塾正科を卒業し山陽鐵道會社に入り上海紡績會社に轉じたるが同社の鐘淵紡績と合併するや鐘淵紡績となり現時同會社副社長兼常務取締役たる傍ら推されて神戸商工會議所常務議員たり家族は尙孫哲(昭五、三三、長男義男長男)あり長女せつ子(昭三二、一〇生)は兵庫縣人小田吉太郎三男醫學博士美穂に三女きぬ子(同四四、三三)は鐘淵紡績經濟學士橋爪幸太に嫁せりA八七三

山口 直三郎 從三位勳三等、公證人
 君は兵庫縣人山口嘉八の二男にして明治三年二月を以て生れ同二十四年分れて一家を創立す同二十三年法政大學を卒業し同年文官高等試験に合格し大阪府長崎名古屋各控訴院檢察事たり退職後公證人たり二男茂雄(明三三、六生、報知新聞政治部部長)は同野家に入り長女三千子は岡山地方裁判所檢察事兒玉庄藏に嫁せり(京都市品川區大井寺下町一四四七電大森一四一七)參照見玉庄藏、山口嘉夫の項

山口 仲次郎 東洋紡績取締役兼紡績課長、大阪合同紡績、同興紡績各取締役
 君は香川縣士族山口能敬の二男にして明治十年十二月を以て生る同三十四年京都帝國大學工學科機械工學科を卒業し現時記諸會社の重役たり家族は尙姉チチ(明七、二生)亡兄茂次妻チヨウ(同四、一〇生、香川士、尾池彌九次郎長女)甥房太郎(同三一、一〇生、亡兄茂次長男、現戶主)二女妙子(同三九、八生、甥房太郎妻)及其二女ありA二二七(大阪府西區西區粉濱東三町三ノ五電住吉三三七八)

山口 延勝 上野銀行取締役、都留電燈社
 君は香川縣士族山口能敬の二男にして明治十年十二月を以て生る同三十四年京都帝國大學工學科機械工學科を卒業し現時記諸會社の重役たり家族は尙姉チチ(明七、二生)亡兄茂次妻チヨウ(同四、一〇生、香川士、尾池彌九次郎長女)甥房太郎(同三一、一〇生、亡兄茂次長男、現戶主)二女妙子(同三九、八生、甥房太郎妻)及其二女ありA二二七(大阪府西區西區粉濱東三町三ノ五電住吉三三七八)

山口 光 モリヤス製造業
 君は大阪府人山口エイの妹にして明治十八年十二月二日を以て生る同四十年家督を相続し後退隱すモリヤス製造業を營む家族は尙二男清(六一、二生)長女弘子(同四、二生)三男博三(昭三、八生)二女智世子(同六、七生)あり妹留子(昭三三、三三)は分家せりA七九二(大阪府北區東梅田町三電北一三三六)

山口 彦太郎 群馬縣多額納税者、農業
 君は群馬縣人山口彦太郎の長男にして明治二十年二月二日を以て生れ同二十七年家督を相続す同二十七年慶應義塾正科を卒業し山陽鐵道會社に入り上海紡績會社に轉じたるが同社の鐘淵紡績と合併するや鐘淵紡績となり現時同會社副社長兼常務取締役たる傍ら推されて神戸商工會議所常務議員たり家族は尙孫哲(昭五、三三、長男義男長男)あり長女せつ子(昭三二、一〇生)は兵庫縣人小田吉太郎三男醫學博士美穂に三女きぬ子(同四四、三三)は鐘淵紡績經濟學士橋爪幸太に嫁せりA八七三

山口 昇 從四位勳四等、檢察、高崎縣裁判
 君は山梨縣人山口嘉平の長男にして明治六年一月を以て生れ同四十三年家督を相続す現時前記銀行會社の重役にして山梨縣會議員たり家族は尙七女かづ(大一一、二生)孫創生(昭二六、六生、長男義藏二男)同千賀子(同四、一〇生、同長女)叔父良平(嘉永元、六生)及其子女あり長女節子(昭三一、一〇生)は山梨縣人降矢三雄に二女道子(同三四、二生)は同縣人山口歌老長男洪基に三女慈子(同四〇、七生)は同縣人酒井孝治長男兵彌に嫁せりA二二七(山梨縣北都留郡上野原町羽佐間電一一)

山口 昇 從五位勳四等、工學博士、東京帝
 君は静岡縣人山口久次郎の二男にして明治二十四年三月を以て生れ大正六年分れて一家を創立す同三年東京帝國大學工學科土木工學科を卒業し内務省技師を経て同七年東京帝國大學工學科助教授に任じ同十二年佛獨米各國へ留學を命ぜらるる同十五年歸朝し同教授に進み現時工學部に勤務す昭和三年工學博士の學位を授けらる(京都市世田谷區大原町一一二七)

山口 昇 從五位勳四等、工學博士、東京帝
 君は静岡縣人山口久次郎の二男にして明治二十四年三月を以て生れ大正六年分れて一家を創立す同三年東京帝國大學工學科土木工學科を卒業し内務省技師を経て同七年東京帝國大學工學科助教授に任じ同十二年佛獨米各國へ留學を命ぜらるる同十五年歸朝し同教授に進み現時工學部に勤務す昭和三年工學博士の學位を授けらる(京都市世田谷區大原町一一二七)

山口 弘一 正四位勳三等、法學博士、東京商
 君は東京府士族山口弘一の長男にして慶應二年十二月を以て生れ明治二十七年家督を相続す夙に外國語學校獨逸協會學校等に學び義に陸軍教授東京外國語學校教授習院教授東京商科大學教授等に歷任し國際法研究の爲獨逸各國に留學す現時東京商科大學名譽教授にして慶應義塾大學法學部講師を囑託せらる同四十二年法學博士の學位を受く(京都市世田谷區太子堂町一六八電世田谷三三三)

山口 弘行 從五位、子爵
 君は東京府士族山口弘一の長男にして慶應二年十二月を以て生れ明治二十七年家督を相続す夙に外國語學校獨逸協會學校等に學び義に陸軍教授東京外國語學校教授習院教授東京商科大學教授等に歷任し國際法研究の爲獨逸各國に留學す現時東京商科大學名譽教授にして慶應義塾大學法學部講師を囑託せらる同四十二年法學博士の學位を受く(京都市世田谷區太子堂町一六八電世田谷三三三)

祖母 谷子 慶應二、二生、子爵土井利美大尉母

當家は多々良朝臣大内正恒の裔盛幸の後なり盛幸尾州愛知郡に住し其父任世周防山口より移りしを以て採りて姓とす其曾孫但馬守重政徳川氏に仕へ大阪の役に功あり常陸國牛久一萬五千石を領す夫より十二代にして先代弘達に至る弘達筑前守弘政の長男にして文久二年封を継ぎ明治二年藩督を奉還して牛久藩知事に任じ同十七年藩族に列し子爵を授けらる嘗て學習院教授貴族院議員たり君は弘達の子爵土井米倉昌幸の甥なり明治四十一年一月四日を以て生れ昭和七年子爵を叙す父重虎(明二三、八生、東京府立園藝學校出身)は長野縣人諏訪熊雄の養子となり同重政(同二四、九生、早大商科出身)は大坂府人西村政子の入夫となりA一四四(東京市日黒區上日黒三ノ一七六〇電番山七七八七)の項

山 口 曠 京都府左衛門尉取引員

君は京都府人片岡九十郎の三男にして明治二十九年十一月を以て生れ先代富吉の養子となり大正十四年家督を相続す現時京都府取引所取引員たり家族は尙長女富子(大一一、一〇生)二女道子(同一五、六生)三女良子(明三、一〇生)ありA二九二B三二五二(京都市中京區東洞院四條上ル電本局二六七)の項

山 口 平吉 從四位勳三等功三級、陸軍少將、薩摩興業總取締役、鹿兒島縣士族

君は鹿兒島縣士族山口平右衛門の三男にして慶應三年十一月を以て生れ明治八年先代重利の養子となり家督を相続す同二十二年陸軍歩兵少尉に任じ尙來累進して大正五年陸軍少將に陞任し歩兵第十旅團長に補せられ同八年豫備隊少將に任じ同歩兵第十一聯隊大隊長第五師團副官鹿兒島縣隊司令官歩兵第十三聯隊隊長第五師團副官鹿兒島縣隊司令官歩兵第十三聯隊隊長第五師團副官鹿兒島縣隊司令官歩兵第十三聯隊隊長等

日露戰役の功により勳四等旭日小綬章功三級金鷄勳章を賜はる(鹿兒島縣鹿兒島郡中津子村)

山 口 マサ 山口支養有限責任社員

君は京都府人岩室五郎長衛の長女にして明治三十一年一月一日を以て生れる現時山口支養會社有限責任社員たりA二六五六(京都市上京區河原町通廣小路上ル電上一九九九)の項

山 口 正男 從五位、男爵

君は先代正定より家名を揚ぐ正定は舊水戸藩士にして維新の際國事に奔走して功あり明治五年侍從に任じ爾來宮内省に勤続する事三十年侍從長宮内大書記官主務局長官主務頭官中顧問官等に歴任し同二十九年勳功に依り華族に列し男爵を授けらる先代豊男は其長男にして軍醫に入り陸軍歩兵少佐に累進し後主務官に任ぜらる君は豊男の長男にして明治四十年八月二十七日を以て生れ大正十一年家督を相続し學費被仰付家族は尙弟定男(明四二、九生)養妹清子(大一一、一〇生)東京、鈴木清藏長女あり叔父次郎(明一〇、一一生)同妻ヨシ(同二〇、七生、男爵川崎武之助長女)は共に分家せり(東京市牛込區河田町一九)の項

山 口 正照 正五位勳三等、陸軍少將、第八師團司令官部附、東京府在籍

君は大坂府士族山口正五郎の長男にして明治十八年十一月三十日を以て生れる同三十八年陸軍士官學校を卒業陸軍歩兵少尉に任じ昭和三年同大佐に同八年八月陸軍少將に累進す其間和歌山縣隊司令官歩兵第四十二聯隊長神戶縣隊司令官等に歴任し陸軍要務司司令官を経て昭和九年第八師團司令官部附に補せらる家族は尙二男正照(大八、一二生)三男正一(同一、一二生)二女和(昭

五、五生)あり(弘前市下白銀町第八師團司令部内)

山 口 政治 北越製紙、北越水力電気各取締役

君は新潟縣人山口平三郎の七男にして大塚益郎野本泰八郎山口十一郎の弟山口誠太郎の大兄父たり萬延元年八月を以て生れ明治十一年分れて一家を創立す夙に實業界に入り現時前記各會社の重役たり兼に日本水力電氣會社專務取締役に擧げられ又長岡市會議員同商會會議所議員に推さる大正十三年歐米を漫遊す家族は尙孫レイ(六一〇、二生、長男得三郎長女)同(同一三、九生、同二女)同(同一五、八生、同三女)同(同一、九生、同二女)同(同一、八生)は東京府人渡邊吉吉に二女アヤ(同三〇、八生)は鳥取縣人榊原假に三女テル(同三八、三生)は東京府人湯淺二郎に嫁せりA三九九五(神奈川縣足柄下郡小田原町藤町四電小田原七七)の項

山 口 萬吉 新設縣在籍

君は新潟縣人山口爲治の長男にして明治三十年十月を以て生れ同四十二年祖父萬吉の後を承け家督を相続し親名して前名誠造を改む養家たり家族は尙長女福子(昭二、一〇生)二男勇(同六、四生)あり叔父健造(明一三、二生)は其妻と共に分家せりA三六九二(東京市麹町區九段二ノ二ノ四電九段三三〇一)の項

山 口 萬五郎 地主

君は島根縣人山口與三郎の三男にして明治五年九月を以て生れ同三十七年分れて一家を創立す明治二十八年農商務省農務局監査試験場を卒業し島根縣監査員同縣技術手同縣農事講習所技術師同縣農事試験場技術師同縣技術師大分茨城徳島各縣技術師に歴任し地方技術師となり滋賀群馬各縣勤務を経て昭和三年現職に轉す家族は尙孫喬男(昭二、五生、長男喬長男)同(同一五、二生、同長女)同(同一七、五生、同二女)あり(津市三重縣廳内務部内)の項

山 口 道太郎 山喜屋、白米商

君は東京府人先代萬五郎の長男にして明治十年一月十日を以て生れ大正十年家督を相続し前名長兵衛を改め親名す地主たり家族は尙四男利時(大九、五生)五女静子(同九、五生)孫節子(同四、四生、長男萬一長女)同裕子(昭三、一〇生、同二女)姉ます(明七、九生)あり二女イト(同四、一〇生)は東京府人石山正隆に三女トシ(同四二、六生)は同府人飯田高央に嫁せりA二五二六(東京市豊島區東馬場六ノ一三七電大塚一九五五)參照飯田高央、吉澤恒也の項

山 口 求馬 正五位勳五等、專賣局技師、大坂

君は群馬縣人山口彦太郎の三男にして明治二十三年一月を以て生れる大正三年東京帝國大學農科大學を卒業し同年大藏省專賣局技師に任じ同八年技師に進み爾來見

付專賣局製造課長仙臺各地方專賣局製造課長等に歴補し昭和三年米國に出張同年事業部勤務となり同六年五月大坂地方專賣局勤務に轉じ同八年六月同局製造課長を命ぜらる(大坂市大坂地方專賣局製造課内)參照山口彦太郎、今井善兵衛の項

山 口 森清 沖繩縣多額納稅者

君は沖繩縣士族山口義四郎の長男にして明治二十一年六月十日を以て生れ大正八年家督を相続す沖繩縣多額納稅者にして直接國稅二百二十三圓を納む家族は尙二男清(大五、一〇生)三男文夫(同八、一一生)三女ミチ子(同一〇、一一生)弟榮藏(明二三、八生)同妻トメ(同二五、五生、鹿兒島、二宮新之丞三女)及其子女同盛義(同三四、五生)同妻フミ(同三九、一〇生、鹿兒島、窪田戸左衛門二女)及其子女同國隆(同三八、一〇生)同妻シツ(同四四、一〇生、鹿兒島、宮下喜藤次三女)及其子女あり(那覇市旭町二六)の項

山 口 八十八 神奈川縣多額納稅者、帝國社機器

君は栃木縣人同部富藏の二男にして明治七年八月を以て生れ神奈川縣人山口寅吉の養子となり同三十五年男保平方より分れて一家を創立し後前名清吉を改む現時山口八十八商店と稱し洋酒食料品輸入商を営み尙前記會社の社長にして縣下の多額納稅者たり諸曲書畫骨

山 口 彌太郎 天龍堂、洋品雜貨商

君は東京府人先代彌太郎の三男にして明治三十三年十一月二十八日を以て生れ昭和二年家督を相続し前名彌三郎を改め親名す天龍堂と稱し洋品雜貨商を営むA一四四九(東京市下谷區上野廣小路町六電下谷一五二四)の項

山 口 安憲 正四位勳三等、財團法人三井報恩

君は德島縣士族山口源三郎の長男にして明治二十年十月を以て生れ大正十五年家督を相続し明治四十四年文官高等試験に合格し翌年東京帝國大學法科大學獨法科を卒業す同年香川縣補となり爾來香川兵庫各縣及び朝鮮總督府兼關東廳各事務官に歴任大正十二年歐米を視察し十三年歸朝後復興局書記官經理部部長官長官々房勤務復興局各部長を経て昭和四年鹿兒島縣知事に

任ぜらるる後石川縣知事に轉じ同九年退官し現に在財團法人三井報恩會常務理事たり家族は尙長女輝子(大九、八生)二女敦子(同一二、九生)三女和子(昭四、二生)あり(徳島市富田浦町)塚七)

山口 興吉

正六位、生魚商 大阪府在籍

妻 カネ 女 明三、二生、大阪、山口宗吉二子
養子 幸次郎 明三、三子、長女重野夫、和歌山、北風タキ私生子
女 重野 明四、三子、養子幸次郎妻
女 コウ 明三、四生
女 多喜子 大六、八生
女 敏子 大八、九生

君は大阪府人村田左衛門の五男にして明治十八年一月を以て生れ同四十二年先代カネの入夫となり家督を相続す前妻と稱し生魚商を營み其を知らるる家産は尙六女廣(大、三、八生)七女隆子(昭二、四生)孫隆資(同四、三子、養子幸次郎長男)同房子(同六、一〇生、同長女、あり)A五六一(大阪府市南區日本橋筋二ノ一〇電簿三三〇七)

山口 嘉夫

從五位、行政裁判所評定官 兵庫縣在籍

父 直三郎 明三、二生、現戸主
妻 ツル 明三五、八生、大阪、三好昇妹、京都市立第一高女出身
男 勝弘 昭三、四生

君は兵庫縣人山口直三郎の長男にして明治二十九年十月三十一日を以て生れ大正十年東京帝國大學法學部獨法科を卒業し同年司法官試補同十二年判事に任ぜらるる横濱地方東京區同地方各裁判所判事に歴補昭和五年行政裁判所評定官に補官し今日に至る讀書散步ゴルフ等に趣味あり家族は尙二女瑠璃子(昭五、三子)三女萬里子(同六、二生)あり(東京市品川區大井倉町三三三八電簿一五四九) 參照山口直三郎の項

山口 米三郎

地主 東京府在籍

妻 くにへ 明二、四、一、生、岐阜、高折彌一郎
女 治子 大七、三生
君は東京府人山口藤治郎の二男にして明治十九年三月十七日を以て生れ昭和六年家督を相続す地主たり家族は尙三女寛子(大一一、一、一、生)四女仁子(昭三、三生)ありA一七三八(東京市豊島區巢鴨六ノ一二八七)

山口 龍作

正五位勳四等、検事、大阪控訴院 石川縣在籍

君は石川縣人山口留吉の長男にして明治十六年三月を以て生れ同三十二年家督を相続す同四十二年東京帝國大學法科大學法律科を卒業し同四十五年判事に任じ中津裁判所判事を經て大正二年判事に轉じ爾來横濱區同地方東京區同地方各裁判所判事に歴補昭和四年大阪控訴院検事に轉じ今日に至る家族は尙亡弟妻チヨ(明二、四、九生、石川、八田六兵衛二女)及其一子あり姉ゆき(同一二、二生)同夫猶吉(同一〇、一、二生、石川、東出數吉)は其子女を伴ひ分家し従妹きつ(同一三、九生)は石川縣人北出萬次郎養子久太郎に同とよ(同三、九、二生)は同縣人中村常吉長男亮に嫁せり(大阪控訴院検事局内)

山口 龍之助

從四位勳四等、元仙臺市長 宮城縣在籍

妻 まつゝ 郎姉
男 光雄 大八、八生
女 春江 明四、三子
女 美江 大五、七生

君は宮城縣人山口其之助の長男にして明治七年二月を以て生れ大正六年家督を相続す義に仙臺商工會議所顧問仙臺市長たり事あり家族は尙四男秀雄(大一一、七生)五男五郎(同一五、六生)あり長女徳(明三、六、一、二生)は東京府人門田實に二女潤(同三、七、一、二生)は宮城縣人熊谷謙三に四女あき(同四、二、二生)は石川縣人宮田瑛一に嫁りやう(同一九、二生)は鳥取縣人奥田龜造に嫁せり(仙臺市東四番丁三五電簿二五三) 參照山口其之助の項

貴族院議員、熊本市長、熊本商工會議所顧問、熊本縣多額納稅者 熊本縣土族
妻 ヨシ 明一、八、八生、山口、兒島誠治妹
男 豊次 明四、二、三生
養子 豊次 明三、二、一、生、東京、松本英澄弟
君は熊本縣土族山隈丸の長男にして明治二年五月を以て生れ同三十六年家督を相続す先是同三十二年明治法律學校を卒業實業界に入り義に熊本海産九州製菓の重役並に熊本米穀取引所理事たり事あり直接國稅千十二圓を納め熊本縣多額納稅者に列し現に互選せられて貴族院議員たるの外熊本市長熊本商工會議所顧問たり家族は尙二男康人(大七、一、一、生)三男由人(同九、一、二生)四男共人(同一四、三、生)あり二女トシヨ(明三、七、一、二生)は熊本縣人河野浩に三女アキ(同三、九、九生)は同縣人島田管に嫁せり(熊本市練兵町三九ノ二電簿四七一)

山隈 康

貴族院議員、熊本市長、熊本商工會議所顧問、熊本縣多額納稅者 熊本縣土族

妻 ヨシ 明一、八、八生、山口、兒島誠治妹
男 豊次 明四、二、三生
養子 豊次 明三、二、一、生、東京、松本英澄弟
君は熊本縣土族山隈丸の長男にして明治二年五月を以て生れ同三十六年家督を相続す先是同三十二年明治法律學校を卒業實業界に入り義に熊本海産九州製菓の重役並に熊本米穀取引所理事たり事あり直接國稅千十二圓を納め熊本縣多額納稅者に列し現に互選せられて貴族院議員たるの外熊本市長熊本商工會議所顧問たり家族は尙二男康人(大七、一、一、生)三男由人(同九、一、二生)四男共人(同一四、三、生)あり二女トシヨ(明三、七、一、二生)は熊本縣人河野浩に三女アキ(同三、九、九生)は同縣人島田管に嫁せり(熊本市練兵町三九ノ二電簿四七一)

山坂 幸子

資産家 東京府在籍

母 ハナ 明一、二、生、東京、出雲與吉長女
君は東京府人山坂米三郎の長女にして大正七年四月五日を以て生れ昭和九年家督を相続す家族は尙妹喜久子(大九、七、生、山崎高女在籍)同富美子(同一二、一、二生、同上)あり(東京市淺草區千束町三ノ一八電簿六六三四)

山崎 伊兵衛

山崎商店、米穀問屋業 京都府在籍

妻 つね 明一、四、生、京都、中村万兵衛長女
男 正三 大二、一、二、生、縣立鐵路中學出身
女 和子 大五、一、二、生、明治高女出身
君は兵庫縣人山崎伊太郎の長男にして明治三十三年四月十二日を以て生れ大正十五年家督を相続し前名伊一郎を改む山崎商店と稱し米穀問屋業を營む家族は尙三女加津子(昭二、一、生)四女みさを(同三、六、生)五女キミ(同五、七、生)あり妹美代(明三、八、九、生)は京都府人淺田源次郎長男正造に同千代(同四、四、一、生)は同府人川邊増太郎長男泰吉に嫁せりA五五四(京都市下京區大宮通り四條下ル電簿一五九六)

君は兵庫縣人山崎伊太郎の長男にして明治三十三年四月十二日を以て生れ大正十五年家督を相続し前名伊一郎を改む山崎商店と稱し米穀問屋業を營む家族は尙三女加津子(昭二、一、生)四女みさを(同三、六、生)五女キミ(同五、七、生)あり妹美代(明三、八、九、生)は京都府人淺田源次郎長男正造に同千代(同四、四、一、生)は同府人川邊増太郎長男泰吉に嫁せりA五五四(京都市下京區大宮通り四條下ル電簿一五九六)

山崎 巖

從五位、内務書記官、大臣官房會計課長、福岡縣土族

君は福岡縣土族にして明治二十七年九月十六日を以て生れ大正八年東京帝國大學法科大學獨法科を卒業其前年文官高等試験に合格長崎縣工場監督官補となり爾來長崎縣同縣警務部工務課長同縣警務部同縣理事官大阪府理事官同縣警務部工務課長等官に歴任し昭和三年歐米各國に出張を命ぜられ歸朝後内務省警務會事務局書記官同省警務課長となり同六年十二月内務書記官に任じ大臣官房文書課長を命ぜられ同七年六月現職に轉ず(東京市麹町區外櫻田町一官舎電簿三三〇一一)

山崎 英喆

山崎組代表社員、土木建築請負 和歌山縣在籍

妻 富美子 長女
男 保 大一一、一〇生
女 惠美子 大八、九生、雙葉高女在學
君は和歌山縣人山崎四郎の二男にして明治二十四年十二月を以て生れ同六年京都帝國大學理工科大學探査冶金科を卒業し同年久原鑛業會社に入りしが八年之を辭して松村組社長に就任す現時山崎組代表社員にして曩に日本鑛水器會社社長見商會各重役たりしことありA三一五(神奈川縣高座郡茅ヶ崎町上高砂)

山崎 英次郎

正六位、廣島縣三原女子師範學校 長、岡山縣在籍

妻 小菊 文久三年生
妻 庸子 明二、九、生、岡山、醫師小西恭平君は岡山縣人にして明治二十四年四月を以て生れ後家督を相続す大正十年京都帝國大學文學部社會學科を卒業し岡山縣立津山中學校教諭長崎高等女學校岡山高等女學校各教諭岡山縣師範學校教諭岡山縣立津山中學校長等に歴任し昭和五年廣島縣三原女子師範學校長に任ぜられ今日に及ぶ家族は尙三男三女あり(廣島縣御調郡三原町女子師範學校長住宅電二三九)

山崎 英太郎

昭和事業總取締役、大日本製糖株式會社 文書課長、東京府在籍

父 鶴之助 萬延元、四生、現戸主

山崎 益洲

臨濟宗佛通寺派管長、同派專門道場師家、佛通寺住持 京都府人 中川治助の二男にして明治十五年十一月三日を以て生れ七才にして出家し臨濟宗天龍寺派大圓寺住持佛通寺に就きて得度す後兵庫縣常光般若林に學び禪を天龍寺派專門道場に於て高木臺居禪師に就きて修すること二十餘年に及ぶ後天龍寺派執事となり次で同派專門道場師家に進む昭和四年佛通寺派管長に特許爾來前記現職に在り(廣島縣豊田郡高坂村佛通寺)

山崎 音吉

伊勢音、醬油食料品商 東京府在籍

妻 ヨネ 伯母
妻 よし 明二〇、一、一、生、養父音吉長女
養子 康 大一一、一、一、生、東京、箕輪平長女
君は三重縣人森田與吉の五男にして明治十九年五月二十九日を以て生れ先代よしの入夫となり大正五年家督を相続し前名芳藏を改む伊勢音と稱し醬油食料品商を營むA五六二B一九一(東京市日本橋區室町一ノ四ノ一電簿日本橋一八九五・四五八九)

山崎 嘉吉

姫路製糖社長 兵庫縣在籍

妻 ふさ 嘉永六、五生、兵庫、岡文右衛門二女
妻 りう 明一九、七生、兵庫、堀吉吉姉
男 英雄 明四二、五生、法政大學出身
女 英美 明四四、一〇生、家政學院家政科出身

山崎 嘉七

川越商工會議所常議員、埼玉縣多額納稅者、第八十五銀行川越貯蓄銀行各課頭取、西武鐵道會社取締役、東洋製糖會社役員、龜屋、菓子商、埼玉縣在籍

妻 はる 明一、一、一、生、東京、川鍋留次郎長女
男 正三 大二、一、二、生、縣立鐵路中學出身
女 和子 大五、一、二、生、明治高女出身
君は埼玉縣人先代嘉七の長男にして岩出惣兵衛の甥なり明治二十五年七月を以て生れ昭和二年家督を相続し前名堅治を改め義名す龜屋と稱し菓子商を營み傍に川越貯蓄第八十五銀行頭取たる外前掲諸會社の重役に推せらるる家族は尙二男豊弘(大九、一、一、生)二女康代(同一一、九、一、生)三男兼司(同一三、六、生)三女智子(昭二、八、一、生)弟米次郎(明三、一、六、生)ありA三二二五B一〇〇(川越市志義町四電四五)

山崎 嘉太郎

山崎帝國堂總代表取締役、賣藥及貿易商、東京府在籍

妻 勝司 明二六、八生
妻 サト 明三二、三、生、二男勝司妻、東京府人 嘉四郎 明三四、四生
君は東京府人山崎林平の長男にして慶應二年十二月を以て生れ明治十七年家督を相続す賣藥業及貿易商を營み山崎帝國堂として知られ現に同社代表取締役にして曩に日本賣藥會社長たりし事あり家族は尙孫嘉津江(大九、二、生)二男勝司長女、同博(同一〇、一、一、生)同長男、同文江(同一三、八、生)同二女、同美惠子(昭二、一、一、生)同三女、同光二(同四、四、生)同二男、あり二女

たい(明三七、二生、九段特高女出身)は埼玉縣人小林治作長男健次に嫁せりA一九一五(東京市神田區花房町二電下谷三六五二)

山崎 一保

東洋棉花株式會社取締役、南北棉花中央紡織各社取締役、上海紡織總局調査役、天津紡織總局相模役、京都府在籍

妻 幸 二女、一、生、東京、竹村本五郎
 男 一 雄 明四四、三三
 女 宣子 明四五、七三
 女 麗子 大七、一二生

君は京都府人山崎一保の三男にして明治十五年五月を以て生れ同四十一年家督を相續す現時東洋棉花株式會社取締役の外前記各會社の重役たり兼に大阪商工會議所議員に擧げらるる家族は尙二男嘉一(六一〇、一二生)ありA一〇七七六(大阪府住吉區松崎町一ノ五一電天寺一〇一八)

山崎 覺次郎

正三位勳二等、法學博士、帝國學士院會員、東京帝國大學名譽教授、靜岡縣在籍

妻 千代 二女、一、生、故法學博士桑田一夫叔母、日本女大國文學部出身、明三二、八生、川崎第百銀行員、經濟學士
 男 和一 明四〇、五三、長男和一妻、茨城縣多額納稅者、平右衛門二女
 男 隆三 明四〇、六三、第一生命保險會社勤務、經濟學士
 男 正 大元、七三、三男隆三妻、堤長連長女
 男 英吉 明四三、七三
 男 恒夫 大三、一三

君は靜岡縣人山崎覺次郎の長男にして明治元年六月を以て生れ同三十年分れて一家を創立す同二十二年帝國大學法政學部を卒業し更に同院に入り同二十四年經濟學研究の爲獨逸に留學し歸朝後東京高等商業學校教授東京帝國大學法政學部等に歴任し現時東京帝國大學名譽教授にして帝國學士院會員たり同三十八年法學博士の學位を受く經濟學に關する著書多し「經濟學原論」最も知らるる家族は尙六男徳郎(大六、五三)

七男孝治(同七、七生、孫清子(昭三、一、生、長男和一長女)同過一(同五、三三、同長男)同連二(同七、二生)同二男(同過一長女)明三五、八生、東洋棉花株式會社工學士法學士鈴木健二に二女藤(同四一、一、二生、東京府立第二女高出身)は長野縣士族小平保藏二男經濟學士澤に嫁せり(東京市小石川區原町一ノ二六電大塚一二六)

山崎 覺太郎

西武鐵道、武藏製粉各社取締役、製茶業、埼玉縣在籍

妻 とめ 二女、一、生、埼玉、渡邊與吉
 男 喜一 明四一、五三
 男 文治 明四三、三三
 男 正治 明四三、三三

君は埼玉縣人山崎覺太郎の長男にして明治十三年二月一日を以て生れ大正六年家督を相續し前名衛門を改め明治三十四年東京高等商業學校を卒業し製茶業を營み現時前記各會社の重役たり父傳之(安政元、九生)繼母シウ(明元、一、二生、神奈川、桑原武彦長女)は共に分家し弟房治(同三、一、一、生)も亦分家せり(川越市川越一六一七電四六)

山崎 勝喜

從五位勳五等、判事、山口市地方裁判所判事、熊本縣在籍

妻 マツエ 明二四、四生、現戸主
 男 大藏 安政四、一二生、現戸主
 男 喜美 大五、九生

君は熊本縣人山崎大藏の二男にして明治十六年九月を以て生る大正二年東京帝國大學法政學部法政學科を卒業し同四年判事に任じ爾來熊本縣地方裁判所各區各古屋區兼同地方裁判所地方裁判所各區各裁判所判事及び地方裁判所部長廣島控訴院判事等に歴補し現山口地方裁判所判事たる家族は尙二男勝彦(大一一、五三)あり(山口地方裁判所内)

御嶽登山鐵道社長、多摩川水力電氣取締役、時計貴金屬商、東京府在籍

山崎 龜吉

妻 くわ 三女、一、生、東京、吉川仙太郎
 男 一三、七三、東京、吉川仙太郎

君は東京府人山崎龜吉の長男にして明治三年一月二日を以て生れ後先代かんの養子となり家督を相續す時計貴金屬商を營み前記各會社の重役たり兼に貴族院議員に互選せられ又東京商業會議所議員東京市會議員等に推される大正十二年國際労働會議に資本家側代表として渡歐せり養子敏子(明四〇、二生)は男山根健男に嫁せり(東京市大森區田園調布町一ノ一〇五一電田園調布二五二)

山崎 龜之助

三井物産シドニー支店長、和歌山縣在籍

妻 千代 明三六、一二生、鹿兒島、迫水周吉妹
 男 喜作 明四〇、四生
 男 静子 長男喜作妻、埼玉、清水伊三郎長女
 女 ちよ 大四、一〇生

君は和歌山縣人山崎清右衛門の二男にして明治二十三年七月を以て生れ昭和四年分れて一家を創立す先是大正二年東京高等商業學校を卒業し同二年三井物産會社に入り香港支店金物掛主任同業貨掛主任同支店長代理同廣東出張所長兼生絲部廣東支店長等を経て現時前記現職にあり(シドニー三井物産會社支店內)

山崎 喜藏

家主、東京府在籍

妻 くら 明一五、一二生、埼玉、若山彦次郎二女
 男 喜作 明四〇、四生
 男 静子 長男喜作妻、埼玉、清水伊三郎長女
 女 ちよ 大四、一〇生

君は埼玉縣人山崎喜藏の二男にして明治十六年二月十五日を以て生れ分れて一家を創立す家主たり家族は尙孫照子(昭九、一、生、長男喜作長女)あり長女でん(明三八、九生)は分家せりA六七八(東京市向島區吾嬬町四ノ四五)

山崎 吉次郎

三井信託取締役、鹿兒島縣在籍

妻 トマ 明一、二生、新潟、白井勝太郎
 男 秀夫 明四四、九生

君は鹿兒島縣人山崎吉次郎の四男にして明治六年一月一日を以て生れ同三十一年兄一郎方より分れて一家を創立す同三十年慶應義塾理財科を卒業し三井銀行に入り累進して廣島大阪神戸各支店長を歴任し現時三井信託會社取締役にして兼に三井銀行取締役たりし事あり長女トキ(明三二、四生、大阪ウイイレミナ女學校出身)は農林省蠶絲局長井野碩哉に二女清子(同四二、七生、聖心女學院出身)は住友會社社員竹山健に嫁せり(神奈川県足利郡下郡小田原町十字三ノ五四八電六三六)

山崎 久吉

東京電機工場主、鐵金業、東京府在籍

妻 カネ 明一七、九生、東京、瀨田熊吉妹
 男 豐 明二六、二生
 男 光子 明三八、一、生、長男豊妻、長野縣友一郎長女
 男 巖 明三七、三三
 男 明三、一、生、二男巖妻、東京
 女 麗美子 瀨田綱吉四女
 女 麗子 大二、三三
 女 實 明三八、七三、生母、東京、松本
 妻 知恵子 明四〇、二生、庶子實妻、東京、石井前造長女
 庶子 百合子 明四三、一、生、生母、東京、松本
 孫 彌壽子 大五、一、生、長男豊長女
 孫 彌壽子 大五、一、生、長男豊長女

君は靜岡縣人山崎清助の三男にして文久三年二月を以て生れ先代キタの養子となり明治十四年家督を相續す東洋電機工場主にして鐵金業を營む家族は尙二男謙(大六、二生)四男俊(同八、三三)三女和子(同二、一、五生)四女昌子(同三、一〇生)孫威(同七、三三)同二男(同四、同五)同三男(同四、同五)同四男(同五、四生)同二女(同二女)同甫(大一一、八生、庶子實長男)同要(昭二〇七七)

山崎 清

日本ビルディング、大北火災海上運送保險、日本商事各社取締役、東京府在籍

妻 タツ 明一三、三三、東京、加藤慶藏妻
 男 泰雄 明三二、八生、日本火災保險會社
 男 君代 明三七、七三、長男泰雄妻、東京
 男 調三 明三六、三三、大學院在學、理學士

君は茨城縣人宮部初之允の二男にして明治八年十一月六日を以て生れ先代みつの養子となり同二十四年家督を相續す同三十五年日本火災保險會社に入り營業部長支配人を經て當務取締役に擧げられ大正十一年歐米諸國を視察すること一年有餘歸朝以來主として日本火災保險會社の業務に熱心し後帝國火災保險會社社長に就任し現時之を辭して前記會社の重役たり三男隆平(明四四、一、生)は分家し養子ノブ(同二一、八、四生、東京、篠崎銀之助長女)は東京府人安田實に嫁せりA二二六八(東京市大森區新井宿二ノ一七二二電大森三四五)

山崎 今朝彌

自由法曹團代表者、辯護士、東京府在籍

妻 さい 明一九、四生、青森、山形太郎九郎三女、女子學院出身
 男 堅吉 大四、六三、成城高校在學

君は長野縣人山崎勝左衛門の三男にして明治十年九月を以て生れ同四年兄米三郎方より分れて一家を創立す同三十四年明治法律學校を卒業し文官高等試驗辯護士試驗及格検定試驗に及第して司法官となりしが後之を辭して米國に遊學し學位と百萬の富を得て歸朝後辯護士を開業自由法曹團代表者無産黨並に労働團體顧問として知らるる又解放社を經營し社會問題に關する書籍雜誌及著書を刊行す多藝にしてスポーツ團體ダンス、曲藝、棋等皆其堂に入る家族は尙二女弘子(大一一、九生)あり(東京市芝區新橋田町一九電銀座二〇七七)

山崎 五郎

兵庫縣多額納稅者、山崎商店、寶商、兵庫縣在籍

妻 きみ子 明治三九、一、生、兵庫、萩野良作長女
 男 道夫 昭二、三三

君は兵庫縣人山崎次貞の二男にして明治三十五年三月二十九日を以て生れ後分れて一家を創立す山崎商店と稱し質商を營み直接國稅七百三十四圓を納め兵庫縣多額納稅者に列す(神戸市葺合區布引町四ノ八〇電葺合三三二)

山崎 權治郎

池田屋、油商、滋賀縣在籍

妻 セイ 明一七、一、生、東京、西山徳之助長女
 男 多一郎 明四一、七三
 男 夫妙子 大二年生、長男多一郎妻、東京、西岡勲二弟妹
 男 利次 明四三、一二生
 男 益三 大二、四生

君は滋賀縣人山崎五郎左衛門の二男にして明治十三年二月を以て生れ先代善四郎の養子となり同二十四年家督を相續す池田屋と稱し油商を營む家族は尙四男桂四郎(大一一、三三)ありA三四四(東京市芝區二本榎町一ノ六電高嶺四二八)

山崎 作次郎

山作商店代表社員、洋反物商、大阪府在籍

妻 はる 明二四、五三、京都、目下郡新右衛門二女
 女 養子 光三 明四〇、三三、長女千代夫、奈良
 女 千代 明四二、一二生、養子光三妻、樟高女出身

君は京都府人山崎彌三郎の三男にして明治十四年七月を以て生れ同十四年兄馬次郎方より分れて一家を創立す洋反物商を營み山作商店代表社員たりA六七二八(大阪府東區備後町三ノ一八電本町九八四)

山崎 定義

正五位勳二等功五級、陸軍中將、富山縣士族

母 トキ 文久三、八生、富山、士、蟹江蟻妹

ヤ之部 山崎

(※印は姻族関係)

ヤ九〇

妻 千代 明二五、七生、東京、士、大場多
男 晴弘 大三、九生
女 貴代 大七、一生
君は富山縣土族山崎定孝の長男にして明治十六年二月
を以て生れ七十七年家督を相続す同三十六年陸軍士官
學校を卒業し翌年歩兵少尉に任ぜらるゝや直ちに第三
軍に屬して日露戰役に従軍し昭和五年中將に累進す其
間陸軍大學校を卒業し陸軍士官學校本教習步兵第五
十七聯隊長に補任され昭和九年豫備役被仰
付家族は尚二女恵以(大一二、七生)あり姉ミチ(明一
〇、四生)は富山縣人故陸軍歩兵大佐竹丸豊次郎に同
ミチヲ(同一四、一生)は同縣土族故文學博士江義丸
に嫁し叔父捨吉(同六、八生、元大審院書記長)同妻チ
カ(同一二、八生、千葉、吉田勝五郎長女)は共に分家
せり(仙臺市第二師團司令部附)

山崎 四朗 江ノ島電氣鐵道事務取寄役、旭
電工學部、東京府在籍
妻 春枝 明一九、五生、滋賀、小笠原長女
男 春雄 明四一、三生、石川島自動車工業
會社、工學士

山崎 信一 日本増殖鐵道建設營業部長、京
濱電氣鐵道監査役、栃木縣在籍
妻 ゆき 明一五、二生、京都、吉水茂助孫
男 一雄 明三九、七生
男 二郎 明四二、八生
女 信子 明四七、七生
君は栃木縣人山崎義一の長男にして明治八年八月を以
て生れ同四十五年家督を相続す夙に東京高等學校に學
び第三銀行に入り後日本増殖鐵道に轉じ大阪出張所主
任たりしが明治四十年本店となり累進して其取締役
に擧げられ營業部長を兼ね傍ら前記會社の重役たり家
族は尚三男三彌(大六、一〇生)あり長女てる(明三七、
一生、龜町高女出身)は高根縣人木村康一郎に嫁せりA
九七八(東京市赤坂區青山南町一ノ三五電青山五四九)

山崎 新太郎 資産家
東京府在籍
妻 弘化 明三三、三三、東京、宇田川文左
衛門三女
女 キン 明三五、四生、東京、宇田川増太
郎長女
君は東京府人山崎金藏の長男にして明治三十一年十月
十三日を以て生れ大正七年家督を相続す資産家たり家
族は尚二男敏男(明四、五生)長女賀子(同七、一生)二
女純子(同九、四生)弟榮司(明三九、四生)同妻富岡
四〇、六生、新潟、後藤虎吉(二女)及其一子同常吉(同
四一、四生)あり同文治(同三四、四生)同幹造(同三六
六生)叔父虎吉(同一二、一〇生)同妻いよ(同一六、三
六生、東京、石井七五郎長女)は其六子女を伴ひ各分家
せりA四八〇(東京市花原區戸越町一〇七)

山崎 清一 有精堂書籍店主
福井縣在籍
妻 菊枝 明三一、三三
男 清 大九、三三、府立一中在學
君は福井縣人にして明治二十五年四月を以て生る福井

身校同上)は奈良縣人工學士植柳陽太郎に嫁せり(東京
市麻布區本村町一ノ六電高輪一八九六)

山崎 次郎 從四位勳三等、持命全權公使、ア
ルセルチン國駐劄兼パラグアイ國
ウルグアイ國駐劄、東京府在籍
妻 いそ 明三〇、一一生、静岡、下位順平妹
男 坦 大八、一生
君は静岡縣土族會田和保の二男にして明治十六年一月
を以て生れ後山崎金重の養子となり大正十一年分れて
一家を創立す明治三十九年東京帝國大學法科大學佛法
科を卒業し同四十年外交官領事官試驗に合格す次で領
事官補外交官補大使館三等書記官公使館二等書記官
兼領事官一等書記官等に歷任し廣西西班牙佛米亞爾然
丁各國に在勤す後歸朝して外務書記官兼農商務書記官
となり通商局總務課長大臣官房會計課長等に補せられ
大使館參事官ソウイェット聯邦並伯刺西爾國在勤を經
て現時前記の職に在り(在アルゼンチン國日本公使館
「留守宅」東京市世田谷區太子堂町一二二電世田谷二三
七九)

山崎 主計 神戸有馬電氣鐵道、山田電燈各務
代表取締役、宇治川電氣鐵道事務取
寄役、關西共同火力新築土地
建物各務監査役、東京府在籍
妻 幾代 慶應三、三三、山崎孝之長女
男 八重子 明二一、九生、養父兵四郎三女
女 宜子 明三九、七生、男健一妻
君は石川縣土族越山彌吉の二男にして明治十四年九月
を以て生れ先代兵四郎の養子となり同四十二年家督を
相続す同三十九年東京高等商業學校を卒業し大阪商船
會社に入り神戸支店長に進みしが後之を辭し現時前記
諸會社の重役にして養に推されて神戸商業會社特別
議員となりし外神戶自動車明石土地建物三光燃料特別
自動車各會社重役たりことあり養姉初喜(明一八、
四生)東京府土族前川益以に嫁せり(兵庫縣武庫郡住
吉村山下六一八電御影三三〇)
參照||前川益以の項

山崎 精一 從四位勳三等、東北金屬工業會取
締役、東京府在籍
妻 たか 明二一、六生、東京、深尾敏妹
男 寬 明四三、一生
女 アキ子 大元、八生
君は東京府土族山崎重の長男にして明治十四年九月
を以て生れ同四十二年家督を相続す同三十八年東京帝
國大學工學部機械工學科を卒業し同四十二年帝國鐵
道技術師に任ぜられ大正七年歐米各國及南洋弗利加へ
留學を命ぜられ同十二年鐵道局技術師に任ぜられ同十
六年を以て昭和四年大阪鐵道局運輸課長となりしも同六
年之を辭し現時前記の職にあり家族は尚三男與夫(大
四、一〇生)弟堅(明三四、七生)あり同旨達(同一六、
一生)は東京府土族田村光顯の養子となれり(大阪住
吉區旭町一ノ二八電戎五一七五)
參照||田村光顯田村光顯の項

山崎 善太郎 兵庫縣多額納稅者、山善、履物商
兵庫縣在籍
妻 ひさ 明一〇、一一生、祖父善太郎長女
女 ウノ 明三六、一一生、兵庫、大橋清藏長女
君は兵庫縣人山崎福太郎の長男にして明治三十二年十
一月を以て生れ大正九年祖父善太郎の後を相続し前
名義種を改め山善と稱す山善と稱す山下の多
額納稅者にして直接國稅二千三百九十圓を納む家族は
尚長女千榮子(大一二、九生)二女眞知子(明六、一〇
生)三女芳子(同九、四生)あり叔母たね(明一九、一〇
生)同夫傳治良(同一二、四生、滋賀、小倉清右衛門三
男)は其一女を伴ひ分家せり(神戸市港區上三條町一〇
二ノ二電湊川四三三七)

山崎 順七 熊本縣多額納稅者、中國稻荷村索
鐵道運取寄役、天草石村工學部監
査役、農業者、熊本縣在籍
妻 慎七 大一〇、九生
男 順子 明四四、二生
女 之 明四四、二生
君は無本縣人櫻井勝九郎の長男にして池田泰親の兄な
り明治二年四月を以て生れ先代ユラの養子となり同十
九年家督を相続す農を業とし縣下の大地主にして曾て
縣會議員たる事三回なり前記會社の重役にして直接國
稅八百二十二圓を納め縣下の多額納稅者たり家族は尚五
女浩(大一二、二生)あり長女幾子(明四〇、三三)は
熊本縣人同本縣に養子トヨカ(同二五、一〇生)は
熊本、長島正之長女)は同縣人櫻井守貴に嫁せり(熊本市
大江町)
參照||池田泰親長島正之の項

山崎 小三 神奈川縣會議員、神奈川縣多額納
稅者、上信銀行事務取寄役、地
主、神奈川縣在籍
妻 彌之助 明三六、二生
男 彌之助 明三九、二生
女 小三 明四五、三三
君は神奈川縣人山崎彌五郎の長男にして明治八年三月
三日を以て生れ同三十八年家督を相続す地主にして傍
ら上信銀行の常務取締役を兼ね直接國稅千六百五十八
圓を納め縣下の多額納稅者に列し神奈川縣會議員に擧
げられ兼に昭和五年十一月同縣會議員に推されしこと
あり紫紅と號し數種の劇作及演劇評論あり長女次代

山崎 太一 從五位勳五等、地方技師、山口縣
警察部衛生課長、富山縣土族
妻 幸 明一七、七生
男 一 明三三、一〇生、法政大學法學部
出身
女 幸枝 大八、一〇生、山口高女出身
君は富山縣人にして明治十六年十二月二十九日を以て
生れ大正十三年家督を相続す先是明治四十一年金澤醫
學專門學校を卒業し同四十四年熊本縣警察醫となり爾
來富山縣警察醫富山縣技術師新潟縣技術師學校衛生技師等
に歷任し大正十三年地方技師に任じ埼玉縣技師に補せ
られ衛生課長拜命昭和三年静岡縣衛生課長に轉じ現時
山口縣警察部衛生課長たり諸曲に趣味を有す(山口市
茶畑町六六電四二四)

山崎 丈夫 十六銀行常務取締役、岐阜五新
縣監査役、岐阜縣在籍
妻 一 明四〇、四生、金城女子專門學校出身
女 紀代子 大四、二生、金城女子專門學校出身
君は宮津の海山崎義之の三男にして明治十五年六月
を以て生れ昭和五年分れて一家を創立す現時十六銀行
常務取締役に於て岐阜五新縣監査役たり父義之は監
査界の先覺者として知らる長女道子(明四二、七生、岐
阜縣立高女出身)は岐阜縣八三原種姓に嫁せり(岐阜市
菅原町三ノ五八四電七三)

ヤ之部 山崎

(※印は姻族関係)

ヤ九一

(※印は姻族関係)

山崎 武重 土地建物資出資社員、質商 東京府在籍

山崎 猛 從五位、衆議院議員(茨城縣選出) 茨城縣在籍

山崎 達之輔 正四位勳二等、衆議院議員(福岡縣選出) 福岡縣在籍

山崎 種二 東京米穀商品取引所取引員 群馬縣在籍

山崎 忠藏 東京府在籍

山崎 傳之助 和歌山日々新聞社社長 和歌山縣在籍

山崎 恒吉 東京府在籍

山崎 朝雲 帝國美術院會員、日本美術協會理事 東京府在籍

山崎 勤 東京府在籍

山崎 博平 東京府在籍

山崎 治敏 東京府在籍

山崎 傳七 大同肥料社取締役、矢作工業 茨城縣在籍

山崎 傳三 三重縣在籍

山崎 信興 丸善社社長、東京書籍社監査役 東京府在籍

山崎 富三郎 山崎鐵工所、山崎醬油各社社長、 山崎信興社長

山崎 治 東京府在籍

山崎 治敏 東京府在籍

ヤ之部 山崎

(※印は姻族関係)

山崎 富三郎 山崎鐵工所、山崎醬油各社社長、 山崎信興社長

山崎 信興 丸善社社長、東京書籍社監査役 東京府在籍

山崎 傳三 三重縣在籍

山崎 治敏 東京府在籍

(※印は姻族関係)

月二十日以後に生れ後家督を相続し前名を改め名譽子地主にして山路合名社無任社員たり...

山路 鎮夫 從五位勳六等、大藏書記官、預金部監理課長、東京府在籍...

山路 兼吉 地主 東京府在籍 妻 明二六、三三、三三、東京、加藤半兵衛...

山下龜三郎 勳三等、山下汽船、阪神築港各務社長、渡川電力電氣代表取締役...

山下規矩次 山下酒造總代表取締役 福岡縣在籍...

山下巍八郎 從三位勳二等功四級、海軍中將 東京府在籍...

山下源之助 實業家 京都府在籍...

山下喜兵衛 鹿兒島縣多額納稅者、明治屋、吳服商、鹿兒島縣在籍...

山下經治 川島屋商店事務取締役、遠山借成取締役、東京府在籍...

山下重久 愛媛縣多額納稅者、土地經營業 愛媛縣在籍...

當家は先代甚兵衛祖父藤右衛門方より分れて一家を創立せるに創まる其兵衛氏に吳服商を創め刻苦産を成し...

君は埼玉縣人山下三郎右衛門の四男にして明治十九年四月を以て生れ大正六年兄三郎方より分れて一家を創立す...

當家は愛媛縣北宇和郡喜佐方村土着の豪農として知らる山下汽船會社々長山下龜三郎の宗家にして龜三郎の弟又故代議士古谷久綱元伯國公使古谷重綱の從弟に當る...

販賣組合長に就任翌十年村長となる次で吉田商業銀行頭取に就任...

山下 繁造

從五位勳五等、臺灣總督府交通局長、高橋繁造出張所長

山下 信太郎

濱松市議員、濱松商工會議所所長、濱松市商會副会長

山下 友治郎

寫眞師及同材料師、京都府在籍、京都府木村九右衛門

(昭二、八生)あり庶子春平(昭三七、二生)は分家し弟國太郎(同一八、六生)は静岡縣人鈴木民藏の養子となれり

山下 誠太郎

從五位勳六等、横濱高等工業學校教授、愛知縣士族

山下 太郎

山下汽船代表取締役、滿洲海陸運輸、東洋海運、阪神船渠、昭和興業、興業各社取締役、山下

山下 谷次

衆議院議員(香川縣選出)、東京商工學校校長、山下學園長、神田商業

山下 寅次

從四位勳三等、廣島文理科大學教授、廣島高等師範學校教授

山下 仁兵衛

高津土地建物代表取締役、質商大阪府在籍

山下 博敏

從四位勳四等、專賣局理事、東京地方專賣局長、富山縣在籍

山下 秀隆

壽製所取締役、東京府士族

山下 恒雄

明治生命保險取締役、東京府在籍

山下 壽郎

東京帝國大學工學部講師、山下壽郎建築事務所、建築士

君は香川縣人山下重五郎の四男にして明治五年二月二十日を生れ...

山田吉太郎

長崎商工會議所常議員、長崎縣多額納稅者、山一モーター、藤取精安政四、一〇生、長崎、泉屋茂三、長女、明一、七生、長崎、永田寛太郎

山田清

從五位勳四等、海軍機關大佐、吳海軍工廠電氣部長、山田雅雄長女、福井高女出身、明三、二生、福井、山本雅雄長女、福井高女出身、大九、一〇生、成城中學在學

山田金作

正八位、家主、兵部省在籍、嘉永三、三生、兵庫、藤茂兵衛二女、明一〇、九生、兵庫、立花龜之助、明三七、七生、大阪、阪口善次郎、明四、七生

山田金作

正八位、家主、兵部省在籍、嘉永三、三生、兵庫、藤茂兵衛二女、明一〇、九生、兵庫、立花龜之助、明三七、七生、大阪、阪口善次郎、明四、七生

山田金次郎

東奥日報社社長兼主筆、青森縣在籍、明三、一〇生、青森、佐々木元市、明三、一〇生

山田銀太郎

大阪府會議員、山根殖産工業株式會社社長、山根殖産代表取締役、豊崎信用組合理事長、硝子商、大坂府在籍、明一五、四生、愛知、青木惣右衛門、明一五、四生

山田九藏

京都商工會議所常議員、丸居商店(京都)取締役、丹波百貨店、藤原吉商店、西陣織物製造業、京都府在籍、明一五、四生、愛知、青木惣右衛門、明一五、四生

山田桂輔

正五位勳四等、工學博士、地方技師、神奈川縣勤務、新潟縣在籍、萬延元、八生、新潟、鷺尾法憲長女、明二七、一〇生、新潟、宮川文平二女

山田五郎

會社社員、大阪府在籍、明三五、一〇生、大阪、長野藤吉、明三五、一〇生、大阪、長野藤吉、明三五、一〇生

山田五郎助

丸岡屋、酒類商、京都府在籍、明一、一〇生、現戸主、明一、一〇生、現戸主、明一、一〇生

山田三郎

京都府多額納稅者、家主、京都府在籍、明二七、八生、滋賀、山中安太郎、明二七、八生、滋賀、山中安太郎

山田孝太郎

益田素道、若松冷蔵、大津土地、旭水産各取締役、大同商、朝日商、高橋油、高橋油、山口縣在籍、船部各取締役、山口縣在籍

山田啓之助

大日本製氷、運副社長、鹿児島製氷、丸共製氷、玉水酒造、池津製氷、丸共製氷、丸共製氷、丸共製氷

山田敬亮

共立企業、日本硫黄、自動車製造、各種取締役、中央火災、傷害、日本産業、日本産業、日本産業、日本産業

山田五三郎

大阪府在籍、明三、三〇生、大阪、覺道作右衛門、明三、三〇生、大阪、覺道作右衛門

山田五三郎

大阪府人山田市藏の二男にして明治二十八年十一月を以て生れ同四十二年父五三郎の跡を相續し前名三郎を改め五三郎とす先代五兵衛は幕末美濃國より出て材木商を営み家業次第に隆盛に赴き現在に至る君其後を繼承す家族は尙長女千鶴子(六一、二、六生)あり

山田五三郎

大阪府人山田市藏の二男にして明治二十八年十一月を以て生れ同四十二年父五三郎の跡を相續し前名三郎を改め五三郎とす先代五兵衛は幕末美濃國より出て材木商を営み家業次第に隆盛に赴き現在に至る君其後を繼承す家族は尙長女千鶴子(六一、二、六生)あり

山田 信一 山田式整頓事務所所長
 男 久夫 山田式整頓事務所所長
 女 たま子 明四三、一一生

山田 眞吉 横濱工作所主任、大東塗料採取
 男 コト 横濱工作所主任、大東塗料採取
 女 七三子 明四三、一一生、雙葉高女及日本女

山田 昌吉 高崎商工會議所所長、高崎倉庫
 男 新三 高崎商工會議所所長、高崎倉庫
 女 エツ 高崎商工會議所所長、高崎倉庫

山田 昌作 日本海電氣、小松電氣、黒部川電
 男 昌 日本海電氣、小松電氣、黒部川電
 女 益子 日本海電氣、小松電氣、黒部川電

山田 新一郎 從四位勳三等、官幣大祝賀別當
 男 勝 從四位勳三等、官幣大祝賀別當
 女 次郎 從四位勳三等、官幣大祝賀別當

山田 新之助 山田商店社長
 男 新三 山田商店社長
 女 千代子 山田商店社長

山田 省三 從五位、三等、海軍大佐、水師部
 男 文子 從五位、三等、海軍大佐、水師部
 女 明子 從五位、三等、海軍大佐、水師部

山田 甚一 兵庫縣多額納税者、兵庫大同信託
 男 浩司 兵庫縣多額納税者、兵庫大同信託
 女 明子 兵庫縣多額納税者、兵庫大同信託

山田 新十郎 從五位勳六等、鐵道書記官、運輸
 男 千代子 從五位勳六等、鐵道書記官、運輸
 女 明子 從五位勳六等、鐵道書記官、運輸

山田 新 旭川商工會議所議員、山田屋商會
 男 八千代 旭川商工會議所議員、山田屋商會
 女 明子 旭川商工會議所議員、山田屋商會

山田 新一郎 從四位勳三等、官幣大祝賀別當
 男 勝 從四位勳三等、官幣大祝賀別當
 女 次郎 從四位勳三等、官幣大祝賀別當

山田 甚一 兵庫縣多額納税者、兵庫大同信託
 男 浩司 兵庫縣多額納税者、兵庫大同信託
 女 明子 兵庫縣多額納税者、兵庫大同信託

君は兵庫縣人先代其右衛門の長男にして明治十九年三月三十日を以て生れ後家督を相続す現時前記會社の重役にして縣下の多額納税者に列し直接國稅三千二百五十四圓を納む家族は尙長女光子(大一一、二生)あり(神戸市神戶區中山手通三一)七電筆合三三三三〇)

山田助作 衆議院議員(新潟縣選出)、新潟縣多額納税者、新潟新聞社社長、新潟電氣鐵道取締役、農業、新潟縣在籍

山田進 東京製綢總監督、東京府在籍

山田清太郎 大阪三品取引所取引員、大阪府在籍

山田清太郎 東京市麻布區會議員、東京府在籍

山田清太郎 愛知縣多額納税者、河内屋、吳服商、愛知縣在籍

山田仙之助 福井縣會議員、福井縣多額納税者、福井縣在籍

山田善次 山田兄弟商會、羅紗商、大阪府在籍

山田惣太郎 製藥業、大阪府在籍

山田總一郎 氣球製作所社長、和歌山縣在籍

山田隆二 從四位勳四等、鐵道省研究所長、德島縣在籍

山田多計治 大阪機械製作所專務取締役、瀨田工廠、長岡鐵工各取締役、新潟縣在籍

山田隆昭 辯護士、東京府在籍

山田鷹治 長崎商工會議所副會頭、長崎縣在籍

山田竹治 勳八等、東京府會議員、東京市本所區會議員、東京府在籍

山田鷹治 長崎商工會議所副會頭、長崎縣在籍

山田鷹治 長崎商工會議所副會頭、長崎縣在籍

山田竹治 勳八等、東京府會議員、東京市本所區會議員、東京府在籍

を以て生れ先代重太郎の養子となり大正六年家督を相...

山田 正 川崎百銀行事務部各店係主任...

山田 辰治 新潟縣多額納稅者 農業...

山田 辰治 新潟縣多額納稅者 農業...

山田 珠樹 從五位、東京帝國大學助教授、文...

山田 龍雄 正五位勳六等、大藏書記官、主計...

山田 龍雄 正五位勳六等、大藏書記官、主計...

山田 龍雄 正五位勳六等、大藏書記官、主計...

山田 爲榮 實業家 東京府士族...

山田 足穂 北海道多額納稅者、土木建築請負...

山田 忠次 正五位勳五等、通信書記官、經理...

山田 常徳 愛知縣在籍...

東京帝國大學法科大學獨法科を卒業同年文官高等試験...

山田長右衛門 地主主 東京府在籍...

山田長左衛門 京都府多額納稅者、丸岡屋山田長...

山田 常吉 酒造業 京都府在籍...

山田 恒壽 名古屋自動車製作所専務社長...

山田 眞策 相屬千禧代表取締役、全南殖産、...

山田 鐵之助 從五位勳六等、大藏書記官、警務...

山田 鐵郎 山田廣院院長、醫師...

文雄 明三二、二生、從七位、東大教授
明三 明三三、一〇生、二男文雄妻、子
明三 明三三、一〇生、二男文雄妻、子
明三 明三三、一〇生、二男文雄妻、子
明三 明三三、一〇生、二男文雄妻、子

山田 忍三 正六位勳六等、陸軍歩兵少佐、東
 京市商工會議所議員、白木屋敷歌
 取取役、自動車投資取締役、
明二 明二四、一〇生、養父隆一長女
明四 明四五、五生、山口、山田實作姪
明五 明四五、五生、山口、山田實作姪

山田 縫次郎 材木薪炭商
明八 明八一、一〇生、養父義右衛門長女
明三 明三九、六生、三男弘妻、京都石
明四 明四〇、一〇生、正辰次郎五女

山田 信昌 十二銀行、第三信託各取締役、
 富山縣士族、富山、加藤直道三女
明二 明二二、〇生、富山、加藤直道三女
明三 明二三、〇生、富山、加藤直道三女
明四 明二四、〇生、富山、加藤直道三女

山田 仁兵衛 玩具商
 大阪府在籍
元治 元治元、一生、祖父仁兵衛長女
明二 明二二、〇生、大阪、中川恒松長女
明三 明二三、〇生、大阪、中川恒松長女

山田 半次郎 陶器商
 東京府在籍
長女 長女、二生、東京、尾崎治助
明一 明一九、九生、東京、尾崎治助
明二 明二〇、〇生、東京、尾崎治助

山田 初治 玩具商
 東京府在籍
高 高、明一三、二生、愛知、山田清太郎
明三 明三二、〇生、愛知、山田清太郎
明四 明三四、〇生、愛知、山田清太郎

山田 英夫 從三位勳三等功五級、伯爵、陸軍
 步兵中佐、東京府華族
明二 明二〇、〇生、子爵柳澤光治姪
明三 明二一、〇生、子爵柳澤光治姪
明四 明二二、〇生、子爵柳澤光治姪

山田 治司 建築請負業
 兵庫縣士族
安政 安政五、六生、佐賀、三浦儀兵衛
明二 明二六、一〇生、佐賀、今泉半六
明三 明二七、一〇生、佐賀、今泉半六

山田 春通 正五位勳四等、檢事、下妻區裁判
 所兼水戸地方裁判所下妻支部檢事
明一 明一八、四生、山口、土、梨羽清
明二 明一九、五生、山口、土、梨羽清
明三 明二〇、六生、山口、土、梨羽清

山田 彦八 正三位勳一等功三級、海軍中將、
 東京府士族
慶應 慶應元、一生、鹿兒島、士、種子
明二 明二二、〇生、鹿兒島、士、種子
明三 明二三、〇生、鹿兒島、士、種子

山田 彦八 正三位勳一等功三級、海軍中將、
 東京府士族
慶應 慶應元、一生、鹿兒島、士、種子
明二 明二二、〇生、鹿兒島、士、種子
明三 明二三、〇生、鹿兒島、士、種子

山田 彦八 正三位勳一等功三級、海軍中將、
 東京府士族
慶應 慶應元、一生、鹿兒島、士、種子
明二 明二二、〇生、鹿兒島、士、種子
明三 明二三、〇生、鹿兒島、士、種子

山田 彦八 正三位勳一等功三級、海軍中將、
 東京府士族
慶應 慶應元、一生、鹿兒島、士、種子
明二 明二二、〇生、鹿兒島、士、種子
明三 明二三、〇生、鹿兒島、士、種子

山田 彦八 正三位勳一等功三級、海軍中將、
 東京府士族
慶應 慶應元、一生、鹿兒島、士、種子
明二 明二二、〇生、鹿兒島、士、種子
明三 明二三、〇生、鹿兒島、士、種子

山田 彦八 正三位勳一等功三級、海軍中將、
 東京府士族
慶應 慶應元、一生、鹿兒島、士、種子
明二 明二二、〇生、鹿兒島、士、種子
明三 明二三、〇生、鹿兒島、士、種子

山田 彦八 正三位勳一等功三級、海軍中將、
 東京府士族
慶應 慶應元、一生、鹿兒島、士、種子
明二 明二二、〇生、鹿兒島、士、種子
明三 明二三、〇生、鹿兒島、士、種子

山田 彦八 正三位勳一等功三級、海軍中將、
 東京府士族
慶應 慶應元、一生、鹿兒島、士、種子
明二 明二二、〇生、鹿兒島、士、種子
明三 明二三、〇生、鹿兒島、士、種子

山田 弘倫 從三位勳二等功四級、醫學博士、陸軍少將、日本赤十字社常務員、岡山縣士族

山田 廣太郎 毛織物商

山田 復之助 工學博士、東京帝國大學工學部講師、鐵山技術顧問、東京府士族

山田 文慈 元北澤太石油取締役、新潟縣士族

山田 房次郎 愛知縣在籍

山田 文慈 元北澤太石油取締役、新潟縣士族

山田 政二郎 大阪府在籍

山田 平吉 山田代表社員、地主

山田 文七 愛知縣在籍

山田 平吉 山田代表社員、地主

山田 平次郎 東京府在籍

山田 又治郎 山田代表社員、清水商店取締役

山田 正隆 從四位勳四等、九州土地興業、九州電氣軌道、各務取締役、和歌山縣在籍

山田 又司 衆議院議員(新潟縣選出)、長岡商工會議所顧問、日本金業銀行社長、北越製紙社、北越産業、長岡鐵道機械製作所各取締役、新潟縣在籍

山田 又司 衆議院議員(新潟縣選出)、長岡商工會議所顧問、日本金業銀行社長、北越製紙社、北越産業、長岡鐵道機械製作所各取締役、新潟縣在籍

山田 松次郎 友仙染業

謀議軍大校校長教育留守第十二師團參謀長東宮武官... 伊賀町二四電四谷五二〇二

山田良之助

從三位勳二等功五級、陸軍中將、賀陽宮附別當、和歌山縣士族... 山田良之助

山手宗一

兵庫縣多額納稅者、神戸取引所取組員、兵庫縣在籍... 山手宗一

山名勝重

宮崎銀行取締役、眼科山名病院院長、醫師、宮崎縣士族... 山名勝重

山名清吉

大阪府在籍、家主、美母ヤエ、明二〇、二生、大阪、山名カル姉... 山名清吉

山中義一

獨逸科名社員、兵庫縣在籍、妻 ちよ、明四一、一生、兵庫、菊池義... 山中義一

山中義高

武蔵野鐵道代表取締役、駿豆鐵道常務取締役、日本温泉土地、多摩湖鐵道監査役、埼玉縣在籍... 山中義高

山中榮三郎

浪曲製紙取締役、柏原洋紙店監査役、東京府在籍... 山中榮三郎

弟背三郎(同九、九生)は分家せり(東京市四谷區北... 伊賀町二四電四谷五二〇二

山田六松

醫師、兵庫縣在籍、妻 はる、明九、五生、東京、野村貞一母... 山田六松

山中嘉兵衛

柳行李壘表商、大阪府在籍、母 ます、明一四、八生、大阪、岡橋兵衛姉... 山中嘉兵衛

山中榮太郎

ラヂオ商、東京府在籍、父 孝太郎、明三、九生、埼玉、富田常太郎... 山中榮太郎

山中鎌造

三田演藝場取締役社長、東京活劇寫眞監査役、滋賀縣在籍、妻 登水子、大八、二生... 山中鎌造

山中紀三郎

廣島縣在籍、妻 フサノ、明一三、一生、美父忠利長女... 山中紀三郎

山中義一

廣島縣人門田保太郎の三男にして明治八年十月... 山中義一

山中義高

武蔵野鐵道代表取締役、駿豆鐵道常務取締役、日本温泉土地、多摩湖鐵道監査役、埼玉縣在籍... 山中義高

山中榮三郎

浪曲製紙取締役、柏原洋紙店監査役、東京府在籍... 山中榮三郎

山西源三郎 三共商會、土木建築請負及機械器具販賣業、東京府在籍
 妻 品子 明三九、三三、大阪、眞田植之助妹
 君は愛媛縣人杉田八重門の男にして明治二十六年五月を以て生れ同三十三年同縣人山西源之助の養子となり同三十八年家督を相続す三共商會と稱し土木建築請負及機械器具販賣業を營む(東京市京橋區銀座四ノ四電氣橋一三五二)

山西定吉 米穀問屋業、大阪府在籍
 妻 美母 はる 安政四、二生、養祖父平助長女
 男 由雄 明三三、一一生、養母はるの二女
 女 千代子 明四一、二生、長男由雄妻、大阪、辻井佐吉四女
 女 光之助 大五、九生
 女 伊之助 大八、二生

山西定之進 伊那合同銀行取締役、農業、和歌山縣在籍
 妻 ミツ 文久二、九生、養父三郎長女
 男 一慶 明一八、三三、京都府立醫大出身
 男 幸子 明二七、一一生、長男一慶妻、和歌山、宮本良太郎長女
 孫 荒太郎 大八、二生、長男一慶長男
 孫 喜美子 大八、二生、長男一慶長女

山根馬之丈 日本コロム工業専務取締役、大阪府在籍
 妻 トフ 明三、一一生、鳥根、宮本久六妹
 女 子規 明四〇、六生

山根銀藏 地家主、鳥取縣在籍
 妻 三代 明一四、一〇生、鳥取、早川牛之助長女
 男 銀一 明三五、三三
 男 銀二 明三九、一一生
 男 銀三 明四四、一一生
 男 銀四 明四一、一一生
 男 銀五 明四四、一一生
 男 銀六 明三三、五生

山根宗太郎 千切家、旅館業、京都府在籍
 妻 久美 萬延元、六生、京都、内田治助長女
 男 宗一郎 明三九、七生
 女 千代子 明四二、三三、長男宗一郎妻、京都、柴田嘉三郎長女
 女 千代子 大元、一〇生
 女 千代子 大六、一一生

山根健男 正五位、男爵、貴族院議員、東京府在籍
 妻 敏子 明四〇、二生、東京、山崎龜吉養子
 子 明四〇、二生、東京、山崎龜吉養子

山根眞治郎 日本新聞協會附屬新聞學院長、山口縣在籍
 妻 ケン 文久三、一一生、山口、土、山本眞彦養子
 女 子規 明二六、七生、東京、木崎虎吉長女
 女 子規 明二六、七生、東京、木崎虎吉長女

山根眞次 從四位勳四等、九州帝國大學教授、鳥根縣在籍
 妻 スミ 明二六、六生、鹿兒島、土、有馬明介五女
 男 淳平 大九、七生、山根茂樹長男
 君は鳥根縣人にして明治十八年六月十九日を以て生れ昭和六年家督を相続す明治四十三年東京帝國大學理學部地質科を卒業し同四十五年農商務技師に任じ大正六年臨時産業調査局技師兼農商務技師を経て昭和四年帝國大學教授に任ぜられ今日に至る同八年歐米各九州に出張す(福岡市谷上ノ町五五五四一九八)

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根直雄 三菱倉庫神戸支店員、兵庫縣在籍
 妻 安那 明三三、九生、兵庫、久村郁子姉
 母 いた 明八、六生、兵庫、鳥田彦兵衛二女

山根眞治郎 日本新聞協會附屬新聞學院長、山口縣在籍
 妻 ケン 文久三、一一生、山口、土、山本眞彦養子
 女 子規 明二六、七生、東京、木崎虎吉長女
 女 子規 明二六、七生、東京、木崎虎吉長女

山根眞次 從四位勳四等、九州帝國大學教授、鳥根縣在籍
 妻 スミ 明二六、六生、鹿兒島、土、有馬明介五女
 男 淳平 大九、七生、山根茂樹長男
 君は鳥根縣人にして明治十八年六月十九日を以て生れ昭和六年家督を相続す明治四十三年東京帝國大學理學部地質科を卒業し同四十五年農商務技師に任じ大正六年臨時産業調査局技師兼農商務技師を経て昭和四年帝國大學教授に任ぜられ今日に至る同八年歐米各九州に出張す(福岡市谷上ノ町五五五四一九八)

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

山根眞一 正五位、農商務省官、札幌通信局長、東京府在籍
 妻 とみ 慶應三、一一生、東京、土、大橋長意女
 男 眞一 元治元、八生、東京、土、遠藤徳次郎長女
 男 眞二 大八、一一生

ヤ之部 山村

山村久右衛門 兵庫縣在籍
妻 しげ 明二、六生、兵庫、坂本多十郎
男 兼之助 明三三、一一生

山村敬一 正五位勳五等、松山高専學校教授
妻 キヲ 女、熊本尚烟高女出身

山村爲助 十二銀行取締役検査部長
妻 コト 明一〇、九生、富山、士、長枝吉治妹

山村徳太郎 兵庫縣多額納税者、製糖業
妻 とよ 文久元、二生、兵庫、藤原丑松妹

山村豊次郎 衆議院議員(愛媛縣選出)辯護士
妻 カ 明四、一二生、愛媛、士、村山本

山村正雄 醫學博士、山村病院院長、醫師
妻 い 明一九、二生、山梨、三枝龍雄妹

ヤ之部 山村

山村作次郎 大阪府在籍
父 愼 兄 安政二、九生、大阪、金子榮次郎

山村四郎兵衛 兵庫縣在籍
妻 つた 文久元、一一生、兵庫、益田佐市

山村正夫 前釜山信託事務取締役
妻 ヤニ 明二五、九生、廣島、濱根峯吉三女

山村安右衛門 兵庫縣在籍
妻 こ 明六、四生、兵庫、中村市松妹

山村安平 神戸市参事會員
妻 つる 明一七、九生、兵庫、岩見萬吉四

山村安右衛門 兵庫縣在籍
妻 こ 明六、四生、兵庫、中村市松妹

ヤ之部 山村

山村庄藏 東京府在籍
妻 キン 明一九、六生、東京、川村鑄太郎妹

山村太左衛門 兵庫縣多額納税者、地主
妻 ぬい 明一、七生、兵庫、緒川平太郎妹

山村安右衛門 兵庫縣在籍
妻 こ 明六、四生、兵庫、中村市松妹

山村安平 神戸市参事會員
妻 つる 明一七、九生、兵庫、岩見萬吉四

山村安右衛門 兵庫縣在籍
妻 こ 明六、四生、兵庫、中村市松妹

山村安平 神戸市参事會員
妻 つる 明一七、九生、兵庫、岩見萬吉四

ヤ之部 山村

山本吉治

特務製造業 京都府在籍

一生、石川、士、由良虎男二女、女子専門学校出身。東京府小野澤鷹之助二男、治にせり。A一〇六(東京市瀧野川區西ヶ原八七二小石川三五一四)

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本吉太郎

山本商店、白毛染君が代 本舖、東京府在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本久右衛門

大阪府在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本慶治

大阪府在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本慶治郎

兵庫縣在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本健治

兵庫縣在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本憲介

兵庫縣在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本久三郎

帝都劇場事務長、日本自動車會社取締役、交詢社幹事

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本清

東四位勲四等、伯爵、海軍中佐

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本研二郎

京都府在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本健吉

京都府在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本健治

兵庫縣在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

山本憲介

兵庫縣在籍

妻 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎
男 善次郎 明四、一〇生、長男善四郎
女 善久枝 明四、一〇生、長男善四郎

ヤ之部 山(本)

(※印は姻族関係)

ヤ之部 山本

養母 靜尼 女 明一八、四生、廣島、藤本友平二... 妻 邦子 長女 明三八、一〇生、兵庫、櫻井三治...

山本 顯 日本ノト學用品專務取締役 大阪府在籍... 妻 ツル 女 明三四、六生、大阪、山中清七長...

山本 元三 山本商店取締役、山下汽船監... 妻 光枝 明四〇、八生、大阪、山本藤助妹...

東京府人小川清次郎二男三女伊彌子(同四二、一〇... 妻 小冬 同二二、一〇生、亡姉シヨウ長女、會津高女出...

山本 源兵衛 地主、大阪府在籍... 妻 重子 明三八、六生、大阪、稻村重兵衛...

山本 小四郎 湯淺蓄電池製造專務取締役、大昭... 妻 幸 二女、東京、士、八幡實秋...

君は舊本藩士山本信重の長男にして明治三十四年... 妻 節子 藤竹信之長女 明四一、二生、養子敏夫妻、藤本...

(※印は姻族關係)

參照 茂原虎雄、西垣次郎、山本藤助、の項... 山本 元三郎 滋賀縣在籍 綿布加工師...

山本 源吉 山本商店社長 大阪府在籍... 妻 弘一 明三三、八生、長男弘一妻、宮崎...

君は廣島縣人山本富助の弟にして同利吉の兄なり慶應... 妻 貞乃 元田福輝 明三九、四生、長男弘一妻、宮崎...

愛知縣人木村孝則二男法學士鴻池信託會社東京支店員... 山本 願彌太 綿布商在籍 兵庫縣在籍...

君は兵庫縣人山本博一の弟にして明治十九年一月を以... 妻 文代 明二五、五生、東京、金田芳太郎...

君は福岡縣士族見與の五男にして明治十一年二月を以... 山本 五郎 大阪北港商工取締役、富島組監査...

君は海上海火災保險神戶支店長... 妻 初枝 明四五、三三、大五、六生、島森赤太...

ヤ一五二

山本 源吉 西宮銀行支店配人 兵庫縣在籍... 妻 つる 女 明二一、三三、兵庫、俱利伽羅長...

君は兵庫縣人先代源吉の二男にして明治九年十月を以... 山本 源太 西武鐵道取締役、茅沼炭礦取締役...

君は舊會津藩士山本道珍の長男にして明治元年十二月... 妻 忠 明三三、一〇生、經濟學士...

君は兵庫縣人山本有衛門の二男にして明治十九年五月... 山本 芳枝 大七、六生...

君は群馬縣士族山本周太郎の二男にして嘉永元年一月... 山本 香 高引商店專務取締役、東京株式...

君は長野縣人平澤義章の三男にして明治十四年五月二... 山本 厚三 正五位、陸軍三等主計、衆議院議...

君は長野縣人平澤義章の三男にして明治十四年五月二... 妻 信三 大三、一〇、生、渡邊保三郎長女...

ヤ之部 山本

(※印は姻族關係)

山本 茂

資産家 東京府在籍 明五、七生、東京、上田總吉三女

稱し質商を營む家族は尙三女敷子(大、二、九)あり A三九五五(一九一)東京市京橋區木札町七ノ二ノ五(電 鐘三二七六)

山本 繁吉

度量衡器商 東京府在籍 明一、六生、東京、田草川萬兵

君は三重縣人山本源左衛門の三男にして明治十二年五 月を以て生れ同三十四年兄鐵松方より分れて一家を創 立す漁網製造物製造及漁業を營む兼に三重縣會議員 桑名町會議員所得税調査員三重縣工場理事桑名商工 會長桑名物産組合長日本アイロン工場理事桑名商工 工場理事等長等を勤めまた山本式編網機の發明により 帝國發明協會々長阪谷芳郎男より表彰され更に東久通 宮珍彦王殿下の製晶御台覽と献上及伏見宮博恭王殿下 より産業貿易功勞者として表彰状を御親授の光榮に浴 したり現時中央度量衡會社社長たるの外前記諸會社の重 役に於て縣下の多額納税者に列しA一九八〇B五六二 (三重縣桑名郡桑名町電話四一三四)

山本 重治郎

三重縣多額納税者、中央度量衡器 長、伊賀農商銀行、桑名土地建物 桑名電氣省事務取締役、漁業漁網製 造業、物製製造業、三重縣在籍

君は三重縣人山本重治郎の三男にして明治十二年五 月を以て生れ同三十四年兄鐵松方より分れて一家を創 立す漁網製造物製造及漁業を營む兼に三重縣會議員 桑名町會議員所得税調査員三重縣工場理事桑名商工 會長桑名物産組合長日本アイロン工場理事桑名商工 工場理事等長等を勤めまた山本式編網機の發明により 帝國發明協會々長阪谷芳郎男より表彰され更に東久通 宮珍彦王殿下の製晶御台覽と献上及伏見宮博恭王殿下 より産業貿易功勞者として表彰状を御親授の光榮に浴 したり現時中央度量衡會社社長たるの外前記諸會社の重 役に於て縣下の多額納税者に列しA一九八〇B五六二 (三重縣桑名郡桑名町電話四一三四)

山本 純吉

前横濱正金銀行銀行長崎支店支配人 東京府在籍 明一、二生、東京、現戸主

君は和歌山縣人山本重治郎の長男にして明治二十七年八 月を以て生れ大正三年帝國大學法政科を卒業し兼に 横河橋製糖所取締役兼大阪工場長にして現時同東京 工場長たりA二六三(東京市大森區田園調布四ノ二二 九電田園調布二四四)

山本 繁松

熊本電氣軌道、朝鮮鐵道各取締 役、朝鮮合同自動車監査役 東京府在籍

君は山形縣人山本清一郎の弟にして明治十二年三 月を以て生れ同四十二年分家して一家を創立す同四十 一年東京帝國大學法政學科を卒業し又同四十四年 事務所に入りて其の手腕を認められ現時前記諸會社の 重役たり家族は尙三男公夫(大、一、七)四男道夫 (同、一、四、一〇)生ありA一六〇三(東京市濠洲區瀬 野川町六〇五電小石川五三〇六)

山本 周五郎

許屋、質商 東京府在籍 明四、五生

君は神奈川縣人山本要次郎の弟にして明治九年五月十 九日を以て生れ同三十七年分れて一家を創立す許屋と 稱す

山本 重藏

大阪三品取引所取引員 棉花商、大阪府在籍

君は兵庫縣人山本重藏の二男にして明治四十年七月三 日を以て生れ昭和六年家督を相繼し前名重太郎を改め 兼名同七年早稲田大學經濟部卒業現時家業を繼承し 棉花商を營む大阪三品取引所取引員にして新進の實 業家たり趣味は長項弓道にあり家族は尙妹宜子(大、三、 二)生あり姉勝代(明三、九、一)生は大阪府人駒井伊 八長男清次郎に嫁し妹綾子(同、四、二)生は同府人小 森健次郎に嫁し弟共其の家督に入る(大阪 市住吉區橋本町六一電天下茶屋JIONHID) 参照池田梅藏、駒井伊八、山本大次郎、大崎利一 (三)

山本 純吉

前横濱正金銀行銀行長崎支店支配人 東京府在籍 明一、二生、東京、現戸主

君は和歌山縣人山本重治郎の長男にして明治二十七年八 月を以て生れ大正三年帝國大學法政科を卒業し兼に 横河橋製糖所取締役兼大阪工場長にして現時同東京 工場長たりA二六三(東京市大森區田園調布四ノ二二 九電田園調布二四四)

山本 常石

正五位勳四等、判事、若菜區裁判 所監督判事兼支部長、大阪府在籍 明一、二、七生、鹿兒島、松山彪

君は山縣人山本秋の二男にして明治十三年一月を以 て生れ大正十四年兄貞方より分れて一家を創立す明 治三十九年東京帝國大學法政科を卒業し同四十 一年判事に任じ和歌山大阪各地方高知區各裁判所判 事大坂地裁判事等に歷補し横河橋製糖所判事兼大 阪地方裁判所判事を經て現時若菜區裁判所監督判事兼 支部長たり家族は尙二女す(大、九、五)生あり(福島 縣若松市榮町二〇、留守宅)大阪府南河内郡大草村大字 大美野三ノ三)

山本 祥吉

從五位勳六等、農林省水産試験場 技師、廣島縣在籍 明三、一、廣島、平木圭二

君は廣島縣人山本象六の長男にして明治十九年十月 を以て生れ大正七年家督を相繼し同四十三年水産講習 所水産製造科を卒業し水産講習所助手同技術を経て大 正十四年同職に任ぜられ在外研究員として米國紐育 コロムビア大學に留學し歐洲を經て昭和三年歸朝し同 四年水産試験場技師に任じ今日及ぶ食味化學に關する 造詣深く之に關する著述多しA三〇六(東京市本郷 區駒込千駄木町五〇)

山本 庄太郎

帝國醫務專務取締役 東京府在籍 明三、一、東京、小林三智四

君は大阪府人山本庄太郎の二男にして現戸主第一の弟な り明治十五年三月を以て生れ同三十九年東京帝國大學 醫科大學、卒業し同大學助教授となり大正二年大阪府 に醫學博士の學位を受く家族は尙三男孝二(大、九、 八)生(長女子)同二、二生ありA四四九(大阪府 東區北、太郎町二、二四電船場七四九) 参照今村幸男、山本宗一、今村資男 ※武藤虎太郎山正信の項

山本 博二

醫學博士、醫師 大阪府在籍 明二、七、五生、奈良、今村幸男

君は大阪府人山本博二の二男にして現戸主第一の弟な り明治十五年三月を以て生れ同三十九年東京帝國大學 醫科大學、卒業し同大學助教授となり大正二年大阪府 に醫學博士の學位を受く家族は尙三男孝二(大、九、 八)生(長女子)同二、二生ありA四四九(大阪府 東區北、太郎町二、二四電船場七四九) 参照今村幸男、山本宗一、今村資男 ※武藤虎太郎山正信の項

山本 常石

正五位勳四等、判事、若菜區裁判 所監督判事兼支部長、大阪府在籍 明一、二、七生、鹿兒島、松山彪

君は山縣人山本秋の二男にして明治十三年一月を以 て生れ大正十四年兄貞方より分れて一家を創立す明 治三十九年東京帝國大學法政科を卒業し同四十 一年判事に任じ和歌山大阪各地方高知區各裁判所判 事大坂地裁判事等に歷補し横河橋製糖所判事兼大 阪地方裁判所判事を經て現時若菜區裁判所監督判事兼 支部長たり家族は尙二女す(大、九、五)生あり(福島 縣若松市榮町二〇、留守宅)大阪府南河内郡大草村大字 大美野三ノ三)

山本省三 山本洋酒工場代表社員、莫大小 母、嘉興、明二、六生、岡山、小柴嘉吉 君は大正十五年家督を相繼す風に明星商業學校 を以て生れ大正十五年家督を相繼す風に明星商業學校

山本丈之助 京都府多額納税者、有價證券買賣 業、京都府在籍 明一、五、六生、京都、竹井宇兵衛 君は京都府人山本丈之助の三男にして明治二年六月を 以て生れ同二十年家督を相繼す風に京都府立第一中學 校を卒業し京都府小學校訓導となり次で大阪府として 大阪府關に奉職する事三年轉じて實業界に入り大阪堂 島米穀取引所取引員となる後同取引員たり賞兄安次 郎を扶けて其業を擔當し傍ら社會事業に盡し又東洋 食料研究所取締役に深草町會議員同務委員京都 府方面委員同府同天泉會各理事府政黨評議員等に 推され財團法人一徳會理事たりしが現時有價證券買賣

山本 常石 正五位勳四等、判事、若菜區裁判 所監督判事兼支部長、大阪府在籍 明一、二、七生、鹿兒島、松山彪 君は山縣人山本秋の二男にして明治十三年一月を以 て生れ大正十四年兄貞方より分れて一家を創立す明 治三十九年東京帝國大學法政科を卒業し同四十 一年判事に任じ和歌山大阪各地方高知區各裁判所判 事大坂地裁判事等に歷補し横河橋製糖所判事兼大 阪地方裁判所判事を經て現時若菜區裁判所監督判事兼 支部長たり家族は尙二女す(大、九、五)生あり(福島 縣若松市榮町二〇、留守宅)大阪府南河内郡大草村大字 大美野三ノ三)

山本信次郎

平井長布、染物業
東京府在籍
母 ちか 明六、三三、千葉、吉橋市五郎妹
妻 たま 明三、三三、東京、高橋傳吉二女

君は東京府人山本樹太郎の長男にして明治三十八年一月三日を以て生れ昭和七年家督を相続す平井長布と稱し染物業を營む家族は尙長女しづ(大一一、一三)二女テル子(同一五、九生)妹はな(明三八、八生)あり弟金次郎(同四一、九生)は分家せりA一九一B一〇〇(東京市江川區平井四ノ一六八三電墨田二三八七)

山本信次郎

正四位勳二等功五級、海軍少將、
宮内省御用掛、神奈川縣在籍
妻 千代 明一、七、七生、東京、士、吉原重成妹

君は神奈川縣人山本太郎の二男にして明治十年十二月を以て生れ同三十六年兄百太郎方より分れて一家を創立す夙に海軍兵學校を卒業し同三十三年海軍少尉に任じ累進して海軍少將となる其間海軍大學校を卒業し日露戦役中に三笠分隊長として出征し日本海に於ける露艦隊降伏事件海軍休戦條約締結等に執事し爾東郷安副官伊太利大使館附武官海軍軍令部參謀副官副官東郷副官等に歷補し大正八年講和全權委員附として巴里に出張し時南洋群島宣教師問題に關し羅馬法王座に差遣せらる後東郷副官御用掛東宮御用掛等を拜命皇太子殿下の御爲め主として佛蘭西語御教授並に御通譯に任じ同十年閣下海外御遊に際し佛奉御付られ歸朝後宮内省御用掛となり引續き御遊並に佛語御研究御相手奉仕等今専ら皇太子殿下御遊御記編纂に従事すA二六五(東京市牛込區下谷田町三ノ二五電牛込二二三〇)

山本新太郎

資産家
兵庫縣在籍
君は兵庫縣人山本清三郎の長男にして明治四十三年一月二十九日を以て生れ昭和八年家督を相続す資産家たり家族は弟四郎(大五、二生)同清一(一、三三)あり妹美子(同八、三三)同節子(同一二、七生)は生母山本ぢやうの家籍に入れりA四二〇(西宮市今津浦風五八電七七〇)

君は長野縣人山本仁左衛門の二男にして明治九年一月を以て生れ同三十三年家督を相続す同三十四年早稻田大學政治経済科を卒業し棲楓寮に入り長野新聞新聞日報各主筆及社長に就任し現時長野新聞社長にして前選許會社の重役を兼ね大正十三年以來衆議院議員に當選すること三回立憲文友會所屬たり義に鹿曲川水力電氣會社の取締役長野縣會議員同參事會に擧げらる又縣の囃詔により再度南滿及滿洲を視察し更に歐美各國を巡遊す(時局下現代思想)其他の著あり長女えい(明三六、二生)は長野縣人山本方正の二女とす(同三八、一二生)は同縣人宇都宮利春に亡叔父遺作妻す(慶應二、四生)長野酒井井並重長女)は其一女を伴ひ分家し従弟義一(明一九、一一生)は東京府人中津彦吉の養子となれり(長野縣東郷郡荷山町一〇一八電稻荷山二五六)
參照 中澤義一の項

山本慎平

衆議院議員(長野縣選出)長野新聞社社長、帝國法政出版監査役
長野縣在籍
妻 あき 女 明四、四生
男 さだ 明四、一二生

山本助三郎

地主
大阪府士族
妻 きぬへ 明一六、九生、大阪、富田貞藏長女
養子 大元、〇生 三重、植村由藏二女

君は三重縣人植村仁左衛門の長男にして明治九年十二月を以て生れ先代才藏の養子となり同三十三年家督を相続す夙に大阪に出て袋物商を營む現に土地家屋の經營に従事し地主として知らる義に大阪府多額納稅者に列せりA三〇五九(大阪府天王寺區細工谷町二七電南二六六)

山本清三郎

實商
大阪府在籍
妻 こりん 女 明三〇、九生、兵庫、高瀬藤吉三女
男 泰一 大一一、一一生

君は大阪府人山本仙三郎の二男にして明治十七年一月十日を以て生れ後戶主長藏方より分れて一家を創立す實商を營む家族は尙三女しづ(明九、一一生)ありA四九八B一八四(大阪市西淀川區浦江北二ノ一五九電土佐堀六六一二)
參照 山本清三郎の項

山本清次

正四位勳三等功四級、陸軍中將
岡山縣在籍
妻 榮 次郎長女
男 廉 明四一、一〇生
女 雪子 大三、三三

君は岡山縣人山本治三郎の三男にして明治六年六月三日を以て生れ同三十七年兄平太方より分れて一家を創立す同三十年陸軍少尉に任じ昭和二年陸軍中將に累進す其間歩兵第十五旅團長第九師團司令部附等に歴補し昭和二年陸軍中將に擧げらる家族は尙五男義雄(大五、七生)六男光義(同七、二生)七男正男(同九、一一生)三女澄枝(同一、二生)八男清亮(同一三、一〇生)あり(東京市杉並區西田町一ノ七〇〇)

山本善四郎

中島金融協社長
石川縣在籍
妻 かつさ 文久二、二生、石川、淺井慶秀姉
母 かす 明一、二、二生、石川、三枝二平長女
妻 千里 明四〇、九生、石川、河合松太郎長女

君は石川縣人先代善四郎の長男にして明治三十四年三月を以て生れ同四十五年家督を相続し前名善一を改め號名す現時中島金融協社長たり義に中島商業銀行頭取たりしことあり家族は尙長女芳子(大一一、三三)三女甲枝(附五、五生)あり妹るい子(明三六、一一生)は同縣人淺井慶秀二男慶昭と同ゆり子同三六、一一生)は同縣人金田金雄に嫁せり(石川縣鹿島郡中島村)
參照 山本善四郎の項

山本宗一

醫師
大阪府在籍
妻 ぶめ 明一七、三三、徳島、筒井種吉妹
男 東平 明三三、一一生
男 廣吉 明四二、五五
男 宗吉 明四四、四四
男 隆造 大三、二生

君は大阪府人山本洪輔の長男にして同淳二の兄なり明治六年十月を以て生れ同三十二年家督を相続す同二十八年岡山醫學專門學校を卒業し醫學士となり大正八年神病院長たりA四六二(大阪府天王寺區逢坂上之町一〇電天王寺四三)
參照 山本淳二の項

山本宗三郎

富國火災海上保險事務取締役、
大安生保保監査役
京都府在籍
妻 廣吉 明四二、五五

君は京都府人山本兵衛の長男にして明治九年二月を以て生れ同十九年母むめの後を受け家督を相続す同三十二年京都商業會議所書記となり次いで日本酒造明治火災保險會社事務を経て現時富國火災海上保險會社事務取締役たる外前記會社の重役たり、家族は尙六男仁三(同五、一七)七男吉三(同九、二生)ありA一六一(東京市澁谷區永住町五〇電高輪五二六〇)
參照 山本淳二の項

山本莊一郎

衆議院議員(長野縣選出)信濃銀行代表取締役、長野縣在籍
父 兼太郎 嘉永三、七生

山本惣治

日産自動車常務取締役
東京府在籍
妻 トク 女 明二六、一一生、新潟、伊藤一隆三女

君は新潟縣人山本明治郎の五男にして明治二十一年十月を以て生れ昭和三年兄惣平方より分れて一家を創立す明治四十五年東京外國語學校を卒業し大正八年米國に留學し現時日産自動車常務取締役たり趣味とし讀書を好む家族は尙二男隆明(大八、一〇生)三男敏明(同一〇、四生)長女正子(同一二、一一生)二女春子(同一三、四生)四男英明(同一五、三三)六男泰明(同一五、九生)あり(東京市大森區田園調布三ノ三二電田園調布五七二)

山本憲治

衆議院議員(長野縣選出)長野新聞社長、帝國法政出版監査役
長野縣在籍
妻 さだ 明四、四生

君は長野縣人山本仁左衛門の二男にして明治九年一月を以て生れ同三十三年家督を相続す同三十四年早稻田大學政治経済科を卒業し棲楓寮に入り長野新聞新聞日報各主筆及社長に就任し現時長野新聞社長にして前選許會社の重役を兼ね大正十三年以來衆議院議員に當選すること三回立憲文友會所屬たり義に鹿曲川水力電氣會社の取締役長野縣會議員同參事會に擧げらる又縣の囃詔により再度南滿及滿洲を視察し更に歐美各國を巡遊す(時局下現代思想)其他の著あり長女えい(明三六、二生)は長野縣人山本方正の二女とす(同三八、一二生)は同縣人宇都宮利春に亡叔父遺作妻す(慶應二、四生)長野酒井井並重長女)は其一女を伴ひ分家し従弟義一(明一九、一一生)は東京府人中津彦吉の養子となれり(長野縣東郷郡荷山町一〇一八電稻荷山二五六)
參照 中澤義一の項

山本憲治

衆議院議員(長野縣選出)長野新聞社長、帝國法政出版監査役
長野縣在籍
妻 さだ 明四、四生

君は長野縣人山本仁左衛門の二男にして明治九年一月を以て生れ同三十三年家督を相続す同三十四年早稻田大學政治経済科を卒業し棲楓寮に入り長野新聞新聞日報各主筆及社長に就任し現時長野新聞社長にして前選許會社の重役を兼ね大正十三年以來衆議院議員に當選すること三回立憲文友會所屬たり義に鹿曲川水力電氣會社の取締役長野縣會議員同參事會に擧げらる又縣の囃詔により再度南滿及滿洲を視察し更に歐美各國を巡遊す(時局下現代思想)其他の著あり長女えい(明三六、二生)は長野縣人山本方正の二女とす(同三八、一二生)は同縣人宇都宮利春に亡叔父遺作妻す(慶應二、四生)長野酒井井並重長女)は其一女を伴ひ分家し従弟義一(明一九、一一生)は東京府人中津彦吉の養子となれり(長野縣東郷郡荷山町一〇一八電稻荷山二五六)
參照 中澤義一の項

山本泰造

奈良縣多額納稅者、南都銀行、大和銀行各取締役、林業
奈良縣在籍
妻 ユク 明二四、七生、奈良、各芳三郎妹
男 健一 明四三、九生
女 品 明四五、七生
女 秀 大三、五生

山本武雄

從五位勳五等、判事、大阪控訴院判事、滋賀縣在籍
妻 芳子 明二七、七生、東京高等女學校出身
女 久子 學 大八、四生、東京府立第八高女在學

君は滋賀縣人山本熊太郎の弟にして明治十四年六月十二日を以て生れ同三十七年明治大學法律科を卒業し大正四年判事任用試験に合格司法官となり同六年判事に任じ爾來滋賀縣本各地方高瀬長瀬各區區長地方御坊姫路各區裁判所判事に補せられ今日に至る(大阪府市北區大阪控訴院內)
參照 山本米三の項

山本武藏

正四位勳三等、工學博士、東京帝國大學教授、工學部勤務
東京府在籍
妻 うめ 慶應二、五生、静岡、士、林稻吉長女
男 房子 明二九、一一生、東京、士、田中義成三女
男 實 大一一、九生

當家は累代甲府に住し醫を業としたる舊家なり君は先代故海軍大將關山山本保代の長男にして明治十八年八月を以て生れ大正十五年家督を相続す明治四十二年東京帝國大學工學科大學造船學科を卒業し翌年同大學助教に任じ大正六年造船學科研究の爲歐米に留學し歸朝後同大學教授に就み工學部に勤務し以て今日に及ぶ同九年工學博士の學位を授けらる家族は尙二男眞(大一一、三三)三男武(附三、三三)姉いし(明一五、一二生)あり(東京市四谷區大番町三〇電四谷七〇五七)
參照 山本米三の項

山本忠興

工學博士、早稲田大學教授、同業... 妻 忠 文久二、一、一、現戶主、山田文治妹

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠治

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠秀

四國銀行取締役、日本勸業銀行... 妻 忠 明四、一、一、現戶主、山田文治妹

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本忠則

山口縣多額納稅者、農業者... 妻 ツヤ子 明三三、七、廣島、津島勳三女

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

山本為治郎

東京府在籍... 妻 明三三、二、東京、橋本豊三郎

ヤ之部 山本

山本鶴一 従三位勳一等功四級、陸軍中將、東京府在籍。妻、ナ、明七、四生、青森、士、奥田正忠長女。男、高行、明四〇、二生、商工事務官、法學士。

山本梯二郎 正三位勳二等、衆議院議員（新潟縣選出）、新潟縣在籍。妻、ヨ、明四、五生、京都、近藤幸正妻。子、義次、明二、四生、新潟、石塚惣助二男。

山本得二郎 日本商家、家主。大正府在籍。妻、ま、明三、二生、大阪、兵忠、芝居茶屋、推木エノ庶子。長男、道雄、學校在學。君は大阪府人伊用市松の二男にして明治二十八年三月十八日を以て生れ大伯父先代榮助の養子となり大正七年家督を相続す兵忠と稱し芝居茶屋を営みしは後年の妻に委ね日本畫に志し星海と號す帝展二回日本美術院展に連年入選し同院の院友たり趣味は南宗畫及諸曲にあり家族は尙長女養子(大、四生)ありA二九(大阪市南區西橋町三七電番八八七)参照。注：阪信次郎の項。

山本傳兵衛 福井縣多額納税者、教養中央會館社長、長瀬銀行、農業、福井縣在籍。妻、ふく、明三、一生、滋賀、村田虎次郎。子、良、明三、四生、立命館大學出身。子、英、明四、二生、長男良妻、大阪小野市兵衛長女。男、忠、明三、六生、一一生。女、俊、明四、一、五生。

山本東作 山本製糖所主、鐵鋼商。大阪府在籍。妻、マ、明二、一生。子、敏、明二、九生、大阪、揚井權藏二女、大正、一〇生。女、東、明四、一〇生。女、マ、明五、六生。

山本敏一 南興會館主事、和歌山縣在籍。妻、カメ、明二、一、二生、和歌山、森岡萬子。子、敏、明二、九生、大阪、揚井權藏二女、大正、一〇生。女、東、明四、一〇生。女、マ、明五、六生。

(兼印は姻族關係)

山本藤助 山本製糖所主、山本汽船各務社長、大阪製糖取締役、帝京山學院理事長、家主、大阪府在籍。妻、文子、明四、三、二生、大阪、貴志彌右衛門長女。男、安、明一、一〇生、東京、太田新藏長。

山本虎之助 山本製糖代表社員、土木建築請負業者、京都府在籍。妻、みよ、明九、一〇生、滋賀、中野龜吉妹。子、俊、明四、三、一〇生。

ヤ之部 山本

山本得二郎 日本商家、家主。大正府在籍。妻、ま、明三、二生、大阪、兵忠、芝居茶屋、推木エノ庶子。長男、道雄、學校在學。君は大阪府人伊用市松の二男にして明治二十八年三月十八日を以て生れ大伯父先代榮助の養子となり大正七年家督を相続す兵忠と稱し芝居茶屋を営みしは後年の妻に委ね日本畫に志し星海と號す帝展二回日本美術院展に連年入選し同院の院友たり趣味は南宗畫及諸曲にあり家族は尙長女養子(大、四生)ありA二九(大阪市南區西橋町三七電番八八七)参照。注：阪信次郎の項。

山本德治郎 東京府多額納税者、海苔商。東京府在籍。妻、ナ、明三、一〇生、養叔父保三郎長女。子、繁太郎、大二、四生。女、繁美子、大四、九生。君は東京府人田中久太郎の弟にして明治十七年四月十三日を以て生れ先代德治郎の養子となり大正六年家督を相続し前名庄之助を改め繁美子古より海苔商を営み斯業の老舗にして東京府多額納税者たり家族は尙二男長治郎(大、四生)三男徳(同、八、一)生)三女美代子(同、一、五、一)生)養弟泰介(明二、二、四生、福岡、西原藤次郎三男)同妻ふて(同三、一〇生、東京、桑原州治妹)の外亡養叔父保三郎の子女ありA九二六九B一、二三(東京市日本橋區室町一ノ六ノ四電番日本橋二六)参照。注：田中久太郎、西原雄次郎の項。

山本篤一郎 安田銀行藤門司支店長、和歌山縣在籍。妻、イト、明二、五、三、三、大阪、小島喜三郎。子、彌太郎、大元、八生、大阪高校在學。女、マ、明三、七、三、小倉高女在學。君は和歌山縣人山本登の長男にして明治十三年十二月二十八日を以て生れ先代與八の養子となり同二十年家督を相続す凡に神戸高等商業學校を卒業し五十八銀行に入り百三十銀行會館支店長を経て安田銀行島取支店長となり昭和五年小倉支店に轉し現時藤門司支店長たり門司市本町安田銀行支店内電番三三三九九九)参照。注：小島喜三郎、渡邊喜多助の項。

山本留次 東京商工會館所議員、東京紙商會日本組各務社長、寫眞化學研究所、ビエリエル映畫製作所、東京商會各務取締役會會長、北越製紙日本フエルト、富谷製藥所、博文。

(兼印は姻族關係)